

1880（明治13）年「石川県鳳至・珠洲二郡教育協議会日誌」

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/42750

1880(明治13)年

「石川県鳳至・珠洲二郡教育協議会日誌」

2015年3月

大久保 英 哲（金沢大学）

1880 (明治 13) 年「石川県鳳至・珠洲二郡教育協議会日誌」

大久保英哲 (金沢大学)

はじめに

本稿は、大久保英哲、斉藤由華、田辺圭子、山口真史「教育令期小学校教員たちのカリキュラム論議 (1) : 1880 (明治 13) 年『石川県鳳至・珠洲二郡教育協議会日誌』(その 1)」、金沢大学人間社会学域学校教育学類紀要、6 号、69-89 頁、2014 の続編というべき論稿である。しかし続編として紀要に掲載するにはあまりに分量が多く、(その 2) (その 3) とさらに分割せざるを得ないことが判明した。そのため、(その 1) の修正も含めて、ここに「1880 (明治 13) 年『石川県鳳至・珠洲二郡教育協議会日誌』」としてまとめて刊行したものである。

1. 教育令改正と石川県小学校模範教則

1879 (明治 12) 年 9 月 27 日、学制の中央集権的、強制的政策の行き詰まりを打破し、また高揚する自由民権運動対策の意味合いもあって、自由主義的傾向を持つとされる教育令が公布された (日本近代教育史事典編集委員会『近代教育史事典』、平凡社、1972、p. 5)。この教育令を受けて 1880 (明治 13) 年 4 月 30 日、石川県小学校模範教則 (以下「模範教則」と略す：筆者) が制定された教育内容の改善をはかり、また福井・富山両県を併合して大県となった石川県が管内教育の一元化をめざしたもので、金沢にあった第一師範学校 (石川県師範学校) 練習部 (附属小学校) で実施した教則を模範として、漸次県下に普及させようと意図したものであった。したがって、この「模範教則」は福井県、富山県にも適用されたわけであり、その影響は極めて大きかった。

この「模範教則」では満 6 歳から 11 歳まで、第五級から第一級に至る 5 つの学年段階を設け、1 つの級 (学年) を前期・後期の 2 期に分け、

期末に試業を経て進級させる一般教科のほか、第三級以上の女子には「裁縫」と「容儀」を、高等小学科を希望する者は第二級を卒業すれば進めるものとした。また男子には本人の希望と土地の状況により農工商のうちの 1 科を受けるなどが規定されていた。教育令の公布によって、各学校・地域では文部省の認可を得れば自主的に教則を編成できる可能性があり、各郡区で審議された形跡が見られる。石川県下では錦城小学校 (現加賀市) や宇出津小学校 (現鳳珠郡能登町) で独自の編成がなされたと伝えられている (石川県教育史編纂委員会『石川県教育史第一巻』1974、pp. 226-229)。今回取り上げる石川県鳳至・珠洲郡もそのひとつである。

2. 史料「鳳至・珠洲二郡教育協議会日誌」

本研究で用いた、「能登輪島住吉神社」所蔵になる「鳳至・珠洲二郡教育協議会日誌」は、1880 (明治 13) 年 7 月 10 日から 8 月 1 日までの 20 日間、現在輪島市に位置する鼻訓小学校の階上で開催された「模範教則」を審議する鳳至・珠洲二郡の協議会の模様を伝える毛筆日誌体の議事録である。

両郡の小学校教員約 30 名 (日によって一部入れ替えあり) を会員に、教則内容と説明書を審議し、両郡としての採択の是非を議論した。酷暑の中、延々 20 日間にわたる質疑討論の様子は詳細に記録され、連日数十名の傍聴者が詰めかけたこと、議事規則が制定されて、合理的な議事運営がなされていたことなどが注目される。また自由民権運動の影響を受けて、議事の進め方をはじめ、一つ一つの議論が極めて白熱していることも特色である。なお、発言記録には会員番号 (原文漢数字) と共に姓名が付されている。番外とあるのは原案説明者の石川県師範学

校教員（県学務委員）である。原文は漢字カタカナによる毛筆の速記体の文章と記録者の要約文または補足説明文、それらの訂正や削除線などが混在し、誤字略字等も多数見られる。（写真1参照）

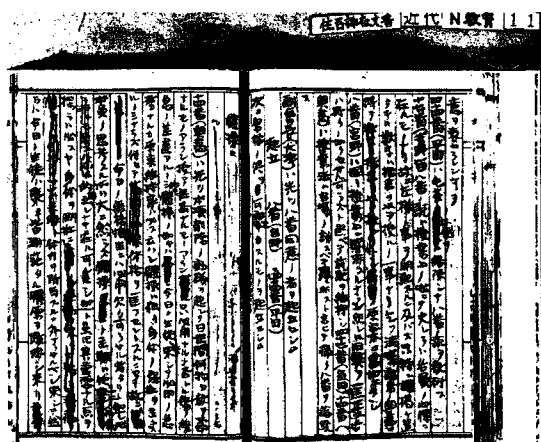


写真1 「鳳至・珠洲二郡教育協議会日誌」

この「鳳至・珠洲二郡教育協議会日誌」の存在は、『輪島町史』、1984、p. 243、『輪島市史』四近代補遺資料・第三章教育史料第二節に取り上げられ、7月13日と15日の議論の一部が収録されている。また前述『石川県教育史第一巻』pp. 399-400にも取り上げられている。教育令期教育会の会議録研究には、湯川嘉津美「教育令期における九州各県聯合教育会の開催とその意義」（『地方教育史研究』33、2012、pp. 21-42）が見られるが、これは1883（明治16）年のものであり、カリキュラム論議としては、この「鳳至・珠洲二郡教育協議会日誌」が早くまた詳細である点で、当時の教育実態や教師の教科についての理解度を知る上で、教育史上きわめて史料価値が高いと思われる。しかし本史料を用いた研究としては大久保英哲「教育令期小学校教員たちの体操科理解：1880（明治13）年石川県鳳至・珠洲二郡教育協議会日誌から」、体育学研究 36-1、2013 があるのみである。このように貴重な一次史料であるにもかかわらず、

研究が進んでいないのは本史料の活字化がなされていないためであると思われる。

そこで本稿では、輪島市教育委員会（『平成二年～三年度古文書等緊急調査書 能登輪島住吉神社文書目録』（二）近代 N教育 にある通り、輪島市教育委員会文化課保管のマイクロフィルムからプリントアウトしたものである。今回収録したのは、184 枚であるが、第3・6・17・18・21号は資料には含まれていない（この理由については現在確認中である）。また原文には頁や帳合番号が付されていないため、本資料で用いている頁番号は便宜的に1～184まで順に付したものである。

- 第1号（明治13年7月10日 土）
- 第2号（明治13年7月11日 日）
- 第3号（明治13年7月12日 月）欠号
- 第4号（明治13年7月13日 火）
- 第5号（明治13年7月15日 木）
- 第6号（明治13年7月16日 金）欠号
- 第7号（明治13年7月17日 土）
- 第8号（明治13年7月18日 日）
- 第9号（明治13年7月19日 月）
- 第10号（明治13年7月20日 火）
- 第11号（明治13年7月22日 木）
- 第12号（明治13年7月23日 金）
- 第13号（明治13年7月24日 土）
- 第14号（明治13年7月25日 日）
- 第15号（明治13年7月26日 月）
- 第16号（明治13年7月28日 火）
- 第17号（明治13年7月29日 水？）欠号
- 第18号（明治13年7月30日 金？）欠号
- 第19号（明治13年7月31日 土）
- 第20号（明治13年8月1日 日）欠号

3. 凡例

- 一 一文字が解読不明な部分については「●」と表記している。
- 一 数文字、一文、数行に渡って判読不能な部分については「・・・・」と表記している。この部分はほとんどが紙折込の中央部で、撮影

が不鮮明な部分である。

- 一 「曰」の後ろは一マス空けている。
- 一 「フ」は「コト」としている。
- 一 原本の一行ごとに「／」を入れている。
- 一 【 】は文中にある説明文である。
- 一 日誌の日付ごとに段落をつけている。
- 一 原本のページごとにp1、p2・・・と表記している。

4. 資料

p1

珠洲鳳至郡教育協議會日誌第老号

明治十三年七月十日午前十時開議／

未着 二番 五番 六番 七番 十一番／十二番 十三番 十六番 十九番 二十番／二十三番 二十四番 二十六番 三十三番 三十七番／三十九番 四十二番 四十三番 四十四番 四十五番／四十六番 四十九番／

午前十時柝鳴り會員一同昇堂ス此時学務係郡書記勝山修／蔵臨會ス／十一番組合惣代會員新井曰 先ツ會長ヲ撰挙セシ／十三番組合惣代會員大津曰 然リ依テハ會長撰挙マデ／仮ニ瀬川氏へ依頼シテ如何／十三番組合惣代會員瀬川曰 仮會長ハ勝山郡書記へ依頼シタシ／同組合惣代會員生熊曰 瀬川氏ノ説ニ同意原来會長撰挙／前ノ仮會長ハ會員外ニテ説ルヲ可トス然ラサレハ／

p2

會長ト撰挙ノ時ニ際シ或ハ云フ可ラサルノ弊害アランカ／終／ニ全會一致之レニ可決ス依テ會員惣代トシテ十三番組合惣代会／員瀬川之レヲ勝山郡書記ニ要請ス／勝山郡書記曰 會場ハ片時モ會長ナカル可ラス 而シテ各員ノ要／請モ事實止ヲ得ザル次第且ハ例拠モ少ナカラサル訳ナレハ會長撰／定マテハ敢テ各員ノ望ニ應セン／爰ニ於テ勝山郡書記起テ會長ノ欠席ニ着キ即チ曰 各員ノ／要メニ由リ暫ク本席ヲ汚ス／ト畢テ衆員ニ番号ノ抽籤ヲナサシム其番号左ノ如シ／

壱番 壱番組合惣代 坂田 清慎

三番	十二番	松岡 春
四番	六番	石川 ●●
八番	十番組合惣代	宮野 支三
九番	八番	生島 鍋吉
十番	十一番	荒井 太郎吉
十四番	十四番	奥高 芳遂
十五番	六番	小竹 虎一
十七番	七番	芳野 廣太郎
十八番	四番	山下 忠本
二十一番	十三番	大津 豊宝
二十二番	十二番	花岡 綱栄
二十五番	十三番	生熊 金作
二十七番	三番	林 典栄
二十八番	十四番	木村 業海
二十九番	十八番	四柳 十寸雄

p3

三十番	一番	徳木 義太郎
三十一番	十三番	瀬川 富太
三十二番	七番	茶谷 傳右衛門
三十四番	十一番	仲上 松太郎
三十五番	二番	瀬戸 与三郎
三十六番	二十二番	飯森 正則
三十八番	十六番	神村 松太郎
四十番	二番	河合 余所太郎
四十一番	三番	大島 周造
四十七番	十四番	室田 勵聴
四十八番	四番	永井 崇人
五十番	十番	殿江 勝太郎

合計 二十八名

仮會長（勝山）曰 之レヨリ正副會長撰挙スヘシ／四十七番（室田）曰 先ツ議事規則等ヲ決シ而後會長ノ撰挙／ニ及ハン之レ初對面ノ人ヲク為メニ撰挙ヲ誤ランコト／ヲ恐ルレバナリ故ニ少々ニテモ後トヘ延バシタシ此段献議ス／八番（宮野）曰 四十七番ニ同意願クハ献議御採用ノ上本日ダケ／ハ御苦勞ナカラ勤メラレンコトヲ切望ス／三番（松岡）十四番（奥高）之レニ同意ス／仮會長（勝山）曰 只今四十七番ヨリ會長撰挙ノ儀ニ付献議／アリー應尤ノ儀トモ思考スルニ付之レヲ當場ノ問題トシ／各員ノ意

見／ヲ起立ニ問ハン依テ議事規則等決定後會長ニ撰挙／スルヲ可トスルモノハ起立アレ／起立全員／

p 4

仮會長（勝山）曰 全會一致ニ付會長ノ撰挙ヲ後刻ヘ延バサン／依テハ之レヨリ議事規則ヲ決定スベシ／十八番（山下） 献議曰 議事規則討議前本會開場ノ儀ニ付／一言シタシ今ヤ鳳珠兩郡教則取極メノ為メ爰ニ本會ヲ開設／シ本日ヲ以テ當驛訓小学校ノ樓上ニ於テ各員ト相會／スルヲ得タリ何ノ幸慶カ之レニ若カン豈祝セサル可ンヤ然ル／ニ本會ニ於テハ未タ開場式舉行ノ儀ヲ聞カズ実ニ遺憾ト云／フ可シ依テハ幸ヒ明日ハ日曜事ナレハ二三十分ノ時間ヲ以テ／開場ノ式典ヲ簡略ニ執行シタシ此段會長マテ献／議ス／仮會長（勝山）曰 十八番ノ献議ハ一應各員ノ意見ヲ問フベキ／モノト認ルニ付之レヲ採用セン就テハ各員ノ所見ヲ發言アリ／タシ／四十八番（永井）曰 開場式執行ヲ可トス／二十五番（生熊）曰 開場式舉行ニ及バズ何トナレハ本會ハ模範／教則取極等ノ為メ臨時相會セン者ニテ敢テ祝スルニ足ラズト／考フ若シ将来ヘ繼續スベキ教育會ノ開設ニ遭ハバ其時コソ本員ハ／欣喜雀躍謹テ之ヲ祝賀セン／三十二番（茶谷）曰 二十五番ヲ賛成ス／十番（荒井）曰 十八番ニ同意一時ノ事ナレバトテ豈喜ブベキヲ／祝セサルノ理アラシヤ／四十七番（室田）曰 二十五番ヲ賛成ス其主旨タル開場式ハ虚飾ナリ／執行スルト否トハ議決ノ良否ニ影響セス故ニ本員ハ実益ヲ主／眼トシテ執行ヲ贅事ト思フ／四十八番（永井）曰 開場式ハ虚飾ニ非ス本會ヲ貴重スルノ礼節ナリ／教育者タルモノノ集會ニシテ豈礼節ヲ欠テ可ナランヤ一應／

p 5

四十七番ノ説ヲ駁ス／二十一番（大津）曰 虚飾ニ非ルノ説ハ四十八番ニ同意然ト雖モ結末ニ／至テハ二十五番ヲ賛成スルナリ何トナレハ本員ハ孜孜勉勵／寸時モ徒過ヲ恐ルレハナリ十四番（奥高）曰 本員ノ將サニ言ントスル所ハ業已ニ二十一番ヨリ殘／ラス陳述セリ此上ハ敢テ

多弁セズ二十五番ノ説ニ同意／四番（石川）曰 本員ハ十番ト同意ニシテ十八番ノ開場式執行／ノ献議ヲ賛成スルナリ独リ怪ム二十五番賛成ノ各員ハ本會／ノ開設ヲ喜バザルカ／仮會長ハ論議既ニ分ルハヲ見テ將サニ決ヲ取ラン／トス二十五番起テ會長ト呼ブ仮會長ハ之レニ對シテ前／説主張カト問フ二十五番然リト答テ止ム爰ニ於テ仮會長ハ／先ツ十八番ノ献議明日開場式執行ノ説ニ同意ノ者ヲ起立セ／シム／起立 十三名／次ニ二十五番ノ説開場式執行ニ及バズ云々／トノ議ニ同意ノ者ヲ起立セシム／起立 十五名／仮會長ハ過半数ニ付未タ議事規則ハ決定セサレトモ／普通ノ定則ニ依リ二十五番ノ説ニ決スル旨ヲ演術ス／仮會長（勝山）曰 之ヨリ議事規則ニ取掛ラン付テハ只今御／渡シ申タル議事則ハ現時十三十四兩組合聯合教員集會ニ／行レ居ル規則ナリ本法ニ拠レハ本會員中ヨリ立案委員ヲ撰定／シ規則編成ノ后チ各員ノ討議ヲ要スル式ノ手續キナレドモ夫レニテハ貴重ノ時間ヲ費シ為メニ費用高増ノ恐レアリ故ニ大抵議／変規則ナルモノハ何レモ大同小異敢テ格別ノ差違モ無之訳ナレバ／

p 6

便宜十三十四兩組合ノ議事則ヲ参考ノ為メ各員御／渡シ申タリ依テハ之レヨリ本則逐條ノ質問會ニ取掛リ／然ル后チ此僣用テ可ナルカ將タ別ニ編成セサル可ラサルカ／ノ意見ヲ承ラン然シ其意見タル見込ノ異ナルヨリ此法／ヨリハ斯クスレハ一層善美ナラン杯トノ御説ハ願クハ御見／合セ相成只此僣實施シテハ如斯弊害アリト御見認メノ分／ノミ御發議致シ度切ニ會長ニ希望スル所ナリト畢テ／書記ヲシテ左ノ議事規則ヲ朗讀セシム／

○議事規則

第一條／凡ソ會議時間ハ五時間ヲ以テ目安トシ其開閉ハ會長ノ／指揮ニ依ル／
第二條／會員着席ノ順次ハ預メ抽籤ヲ以テ之ヲ定メ／每會席ニ着クモノトス／
第三條／議案ノ可決ハ通常三次會ヲ經テ決定スルモノトス／其順次左ノ如シ／

○第一次會 総体論

第一項 會員ハ先書記ヲシテ議案ヲ朗読セシメ而後其主旨要領ヲ立案者ニノ

p7

説明セシムノ

第二項 議案ノ旨趣ニ付質問ス可キ事アラハノ會員ハ會長ノ許可ヲ得テ其弁明ヲノ求ムルヲ得而テ立案者ハ必會長ニ向テノ之ヲ説明スベシノ

第三項 質問既ニ終レハ會員ハ議案総体ニ付ノ可否ノ討論ヲナスヘシノ

第四項 総体論ノ終リニ於テ議案ノ趣旨ノヲ可決スル時ハ會長ハ第二次會ヲ開キテノ逐條ヲ議可セシム可シ若総体論ノ終リニ於テ議案ノ旨趣ヲ可トスルモ其方法ノヲ改良セサル可ラスト議決スル時ハ會長ノ之ヲ委員ニ交附シテ修正議案ヲ作ラシメ更ニ通常ノ手續ヲ以テ第一次會ヲノ開ク可シ若又総体論ノ終リニ於テ議案ノヲ可トセサル時ハ第二次會ハ無論開カサル可シノ

○第二次會 逐條議

第五項 會長ハ前會ニ於テ総体ヲ可決シタルノ議案ヲ逐條討議セシメンカヲ為メ書記ヲノシテ更ニ毎條ヲ朗読セシメ會員ヲシテノ審ニ討議セシメ其條ノ可否ヲ決シテ後ノ次條ニ及ハレム可シ但議案ノ性質議ノ事ノ都合ニヨリテハ或ハ數項ヲ聯絡シノ或ハ一條ヲ數節トシ又ハ修正動議ノ諸節ノヲ分別シテ之ヲ討議議決セシムルヲ得ノ

第六項 逐條ヲ議スルニ当リテ建議ノ端各過半ノ

p8

數ニ至ラサルトキハ小會議ニ附シテ之ヲ議シ更ニ本會ニ復シテ決定ス可シ其修正委員ノヲ撰定スルト否トハ小會議ノ決スル所ニノヨルノ

第七項 逐條議ノ終リニ於テ會長ハ書記ヲシテノ修正諸説ノ可決セシ者ヲ輯録セシメ之ヲノ修正案トナシ原案ト共ニ第三次會ノ議ノ案トス若此修正案若クハ原案ニ向テノ章句文字ノ更正ヲ要スル事アラハ會員中ノヨリ三名ノ修正委員

ヲ投票シテ之ヲ修ノ正セシメ然リ后小會議ニ付シテ修正文字ノノ当否ヲ決セシムノ

○第三次會 確定議

第八項 會長ハ書記ヲシテ議案即修正案ヲ毎條ニノ朗読セシメ其可否ヲ問テ議決ヲ確定スノ

第九項 確定議ニ於テハ一旦第二次會ニ議決セル修ノ正案ヲ廢棄スルトキハ會長ハ仍ホ原案ニノ付シテ可否ヲ議決セシム可シノ

第十項 確定議ハ可否ノ決議ナレハ更ニ動議若クハノ修正意見ヲ出スコトヲ得スト雖モ若不得止ノヨリ發言ヲ求メサル可ラスト思惟スルノノ會員アラハ則第二次會ノ手續ニ拠リ意ノ見ヲ陳述スベシ但シ此意見ハ五名以上ノノ賛成者アルニアラサレハ動議タルヲ得スノ然レトモ一度動議トナリシ上ハ會長ハ更ニ可ノ否ヲ問フテ議決ヲ確定スベシノ

p9

第四條ノ

會長ハ討議中會員ヲ制シテ規律ヲ守ラシメノ如何ナル場合ニ於テモ發言ヲ止ルヲ必要ト見認ル時ハ之ヲ止ルヲ得ノ

第五條ノ

會員ハ説明或ハ答弁ニアラサレハ一議題ニ再度ノノ陳述ヲ許サズノ后陳述ノ要請ニ付他ノ譯義ヲ解釈センカノ為メ若クハ当説非ナルヲ悟リ不得止之ヲノ元ニ歸シテ更ニ意見ヲ述ン等ハ此限ニアラズノ

第六條ノ

會議中發言セント欲スル會員ハ先ツ起チテ會長ノ某番ト呼ビ發言セント欲スルコトヲ知ラシム會長ハノ其會員ノ番号ヲ呼ビ其會員ヲシテ發言先ノ何ノ番タルヲ分ラシム尚同時ニ二人以上起立スル時ハ會ノ長其一人ヲシテ發言セシム討議問答ト雖モ必會長ニノ向テ演述スヘシ相互ニ応答スルハ許サスノ

第七條ノ

会場ニ於テハ會長ノ名ヲ呼ハスシテ會長ト呼フ可クノ又會長會員ヲ呼ビ或ハ一會員他ノ會員ノ事ヲ言ハンノトスル時モ其名ヲ呼ハスシテ番号ヲ呼フ可シノ

第八条／

會員發言中ハ他ノ會員靜默シテ其發言ヲ／満場ニ調達セシムルヲ要ス／

第九条／

凡一事件未タ終ラサルニ他ノ事件ニ發言ス可ラス／

p 10

第十条／

議案ノ総体或其一条ノ會長發言セント欲スル／時ハ書記ノ朗読ノ後ニ於テ裝其事ヲ述ヘ副會長／ニ席ヲ讓ル可シ副會長亦發言セント欲スルヲ以テ／其席に在ルコト辞スル時ハ會長ハ會員中ニ一員ヲ／指名シ己ニ代ラシメ自ラ會員席ニ着テ發言ス／ルヘシ其総体或ハ其一条ヲ議決シタル后ヲ待テ會／長ハ再ビ本席ニ復ス最モ會員席ニ列スル間ハ／權限他ノ會員ト異ナルナシ／

第十一条／

正副會長其疾病事故ニヨリテ出席セサル時ハ更ニ仮會長を撰挙スヘシ／

第十二条／

但●●●●●各會員ヲシテ選挙或ハ起立／セシムル等ヲ以テ之ヲ表スルハ時宣ニ從テ會長之レヲ／指揮スヘシ／

第十三条／

緊求性ナキ動議ハ間議ヲ開キ決ス／

第十四条／

議案朗読ノ後凡五分時間誰レモ發言ナキトキハ／會長ハ會員認可ト見做シテ次案ヲ朗読セシ／ムルヲ得／

第十五条／

會員ハ持説ヲ伸ブ事独リナルノ場合タリトモ／議決ノ後ニオテ参考ノ為メ意見書案／ヲ作り書記ヲシテ保存セシムルヲ得／

p 11

第十六条／會場ニ於テハ幕謹齋肅ナル可シ私語又ハ／喫烟スルヲ禁ス尤會長ノ許可ヲ得ズシテ／席ヲ離ルルハ少間禁タル可シ／

第十七条／

記事ノ始終ハ撃析ヲ以テ之ヲ發ス／

第十八条／

此議事規則に附追スルノ建議アリテ會／長之ヲ必要ナリトセハ通常ノ手續ヲ以テ／之ヲ議決スヘシ／畢テ仮會長演述シテ曰 本則ハ曾テ十三番組合ノ或ル学／校ヘ拙者在勤中立案セシ者ナレハ別ニ答弁者ヲ設ケサルニ付各／員不審ノ廉ハ直ニ會長ヘ質問アリタシト爰ニ於テ第一條ヨ／リ逐條質問アリ仮會長逐一之レニ答ヘ而シテ漸次第六條ニ及／ブ于時限器鏘然トシテ十二時ヲ報ズ依テ仮會長ハ午／食ヲ命シ衆員退場ス／午后壹時再開議／未着午前ノ如シ／午后壹時撃柝ノ報道ニ依リ仮會長及會員各其席ニ着／キ仮會長ハ起テ午前ノ續キニ取掛ル旨ヲ演述シ夫レヨリ／各員午前ノ通り交互質問仮會長一々之レニ應答ス畢／テ仮會長ハ各員ヘ發言ヲ命ス／十番（荒井）曰 逐條會長ノ質問ニテ至当ノ則タルヲ／

p 12

了解シタル此促ニ実施シタシ／二十一番（大津）十四番（奥高）十五番（小竹）三十六番（飯森）各十／番ニ同意ノ旨ヲ發言ス依テ仮會長ハ念ノ為メ／十番ニ同意ノ者ヲ起立セシム／起立／全員／仮會長ハ全會一致ニ付之レニ決定セシ旨ヲ告ケ併セテ只今ヨリ／直ニ実施スル趣ヲ陳述ス／三十二番（茶谷）献議シテ曰 議事規則第一條ニ拠レハ會議時間ハ五／時間云々トアリ而シテ會長ノ説明ニテハ純然タル議事ノ時／間ニテ即チ八時開會ナラハ二時閉會九時開會ナラハ三時閉會ノ主旨ノ由／夫レニテハ随分各員モ疲労スル事ト考ルニ付適宜休憩ノ／時間ヲ加ヘタシ／仮會長（勝山）曰 三十二番献議ハ各員ノ意見ヲ問フテ／然ルベク思考スルニ付之レ●會場ノ問題トスヘシ依テハ各員ニ／於テ可否ノ意見ヲ陳述アリタシ／八番（宮野）曰 午食時間ノ中間ニ在ルトキハ敢テ休憩時間ヲ其他ニ／設ルニ及バズ只七時開會ノ十二時閉會トカー一時開會ノ六時閉會／トカノ五時間議シ續キノ節ハ中ニ暫時／ノ休憩時間ナクテハ各員ノ疲労モ甚シカラン依テ此辺ハ臨／機ノ処置ヲ會長ヘ依頼シ別ニ規則上ヘハ明文ヲ追加スルニ及バ／ズト考フ尤明文云々ノ議ハ三十二番ノ献議中ニナシト雖

モ一言意／見申シ置ク／四十七番(室田)曰 休憩ハ無用ナリ貴重ノ議事時間ヲ費ス／ハ本員ノ屑シトセサル所且ハ我輩ノ本分ニ非スト考フ／三十一番(瀬川) 十四番(奥高) 八番ヲ賛成ス／仮會長(勝山) 曰之レヨリ動議ヲ取調ベシ四十七番ノ説ニ賛成者／

p 13

之依テ規則ニ拠テ之ヲ廢案ス依／テハ八番ノ説ニ同意ノ者ハ起立スベシ／起立 二十五名／仮會長ハ過半数ニ依リ之レニ決スル旨ヲ陳ベ且曰ク今ヨリ正副會／長ノ撰挙ニ取掛ルベシ就テハ投票ニ種々ノ例アリテ同時ニ／正會長ハ誰副會長ハ誰ト區別ノ上兩名ヲ投票スルアリ先ツ會／長ヲ撰挙シ然ル後チ副會長ノ撰挙ニ及ブアリ正トナリ副／トナリ同時ニ會長兩名ヲ投票シ其最も多数ヲ得ル／モノヲ會長トシ次点者ヲ以テ副會長トスルアリ今本會／ハ三例中何レヲ標準トスベキヤ會長ニ於テ第三例ノ手續／キヲ可認スレドモ併シ會長撰挙ハ會中ノ大事件ニ付／鄭重第二例ニ拠ルヘキヤ各員ノ意見ヲ問フ／四十七番(室田) 三十二番(茶谷) 二十五番(生熊) 各第三例ニ準ルヲ／可トス依テ同時ニ二名ヲ投票スベキ旨ヲ陳述ス此時四十七番／會員等ヨリ組合ヲ定メ幹事ヲ設ケ諸傳達ヲ掌ラシムベキ献議／出テ終ニ會場ノ可決スル処トナリシヲ以テ更ニ仮會長ハ十／番毎ヲ一組合トシ幹事ヲ組中ヨリ撰挙スベキヲ命ス尤／出會員数過半数ニ至ラサル組合ハ他日俟テ撰挙スベキ旨／ヲ陳ベ畢テ書記ヲシテ正副會長撰挙点数ヲ調査セシム／其数左如シ／

十四点 三十一番 會員 瀬川 富太／
十一点 二十一番 會員 大津豊憲／
八 点 四十七番 〃 室田勵聴／
五 点 廿五番 〃 生熊金作／
合 十番 〃 荒井太郎吉／
四 点 十八番 〃 山下忠本／

p 14

二 点 十四番 〃 奥高芳逐／
合 十七番 〃 芳野廣太郎／
一 点 四十一番 〃 大島周造／

合 四番 〃 石川露吉／
合 八番 〃 宮野友三／
合 三十番 〃 徳木義太郎／
合 不詳／

依テ會長ハ三十一番副會長ハ二十一番兩會員ノ当撰者タル／ヲ仮會長ヨリ報道シ各承諾ヲ得タリ次ニ組幹事当／撰人ヲ調査ス其人名等左ノ如シ／

第一組幹事当撰 十番會員 荒井太郎吉／
第三組 〃 〃 〃 〃 廿五番 〃 〃 生熊金作／
第四組 〃 〃 〃 〃 三十二番 〃 〃 茶谷傳右エ門／

右畢テ各承認ノ旨ヲ仮會長ヨリ報道シ之レニテ本日ノ會ヲ閉ヂ衆員退散ス時ニ三時四十分／本日傍聴人 午前午後 四十三名／

p 15

珠洲郡教育協議會日誌第貳号

明治十三年七月十一日午前十時開議／

欠席 二十五番 五十番／
未着 二番 五番 六番 七番 十一番 十六番／十九番 二十四番 二十六番 三十三番／三十七番 三十九番 四十一番 四十三番／四十五番 四十六番 四十九番／

午前十時撃柝ノ報道ニ依リ會長會員及勝山郡書記等各昇／堂其席ニ着席一同正礼ス畢テ書記起テ新来ノ會員ヲ各員ヘ／紹介シ抽籤ヲ以テ番早ノヲ定ル左ノ如シ／

十二番 十二番 組合惣代 泉口高壽／
十三番 二十二番 組合惣代 橋本政次／
二十番 十七番 組合惣代 慶塚賢證／
二十三番 十五番 組合惣代 宮川直吉／
四十四番 十番 組合惣代 平田壽方／

p 16

次ニ會長(瀬川) 演述シテ曰 本刻ヨリ称々模範教則ニ取掛ルベシ就キテハ／立案者ノ未タ臨會ナキヲ以テ仮ニ説明書ヲ議題ト見做シ審議スル方議／事ノ都合宜シキヤト考ルニ付便宜説明書ヲ以テ當場ノ間／題トスベシト書記起テ議案ヲ朗讀ス／二十一番(大津) 曰 議題ニ答弁者

ナキハ不都合ナリ／故ニ各會員互ニ見解セシ所見ヲ陳述シ最モ／妥当ト認ルモノヲ仮リニ立案ノ精神ト見做シ而后議事ニ／取掛テ述ルベク此段献議ス／二十二番（花岡）曰 教則ノ説明書ナルヲ先ツ之レヲ議スルトハ不可ニ／アラズヤ／會長（瀬川）曰 説明書ハ立案者ノ精神ナリ／故ニ立案ノ精神ヲ知ラズシテ編制セシ教則ヲ議スルハ事ノ／宜キヲ得タリト云フベカラス之レ説明書ヲ先ニセン所以ナリ／二十二番（花岡）曰 了解セリ／三十二番（茶谷）四十七番（室田）二十一番ノ説ヲ敷衍シ會長ヘ献議ノ採用ヲ／要メ十五番（小竹）ハ説明書ナキニ議事ニ取／掛ルハ不都合ト述ブ爰ニ於テ會長ハ／前ノ演述ヲ取消シ更ニ模範教則ヲ議題トスルヤ否ノ／発言ヲ命ズ／四十七番（室田）曰 模範教則ヲ本會ノ議題トシ説明書ヨリ逐／條討議シタシ／

p 17

二十一番（大津）ハ之レヲ賛成シ而シテ他ニ發議ナシ依テ會／長ハ議事規則ニ依リ全會認可ト見做シ／説明書ヨリ討議スヘキ旨ヲ演述ス次ニ二十一番（大／津）ハ前献議ヲ再演シ四十七番（室田）四十一番（大島）十四番（奥／高）十七番（芳野）各之レヲ賛成シ會長ヘ献議ノ採用ヲ要／請ス／依テ會長（瀬川）ハ二十一番ノ献議ヲ採用シ／テ各員ノ所見ヲ陳述アリタシト演述ス爰ニ於テ論議百出／殆ト拾収ス可ラス終ニ午後ニ議ルベキニ評決シ各員退場ス時ニ零時二十分／午后壹時三十分再開議／未着欠席午前ノ如シ／

午後壹時三十分會長及會員等各其席ニ着キ一同正礼ス／次ニ會長ハ午前二十一番ノ献議ハ控所ニ於テ廢棄ノ／議ニ決シタレハ之レヨリ説明書緒言ノ審議ニ取掛ルベシト陳／述シ書記起テ左ノ緒言ヲ朗讀ス／此説明書ハ今回制定シタル教則課程ノ組織及ヒ用書ノ／撰定等從來行ハレシ教則ニ異リタル旨趣ヲ開陳スルモノナ／リ然レトモ其重要ノ者ノミヲ挙ケテ詳細ニ及バズ／十八番（山下）曰 説明書ノ義ニ付キ午前二十一番ヨリ献議アリテ當場ノ／問題トナレリ右ハ如何決セシカ敢テ會長ヘ質ス／會長（瀬川）曰 先

刻演述セシ通り廢棄トナレリ／十八番（山下）曰 廢棄トハ何ゾ午前ニハ中止トナリ午後ニハ直ニ本／

p 18

題ニ取掛レリ會長ノ演ベラルハ所ノ如キハ本員ノ甚タ惑フ所／ナリ／會長（瀬川）曰 休憩時間ニ小會議ヲ開キ即チ廢棄トナレリ／現ニ之レヲノ手續ハ十八番ノ熟知セシ所ナラズヤ／十八番（山下）曰 尤知レリ然レトモ右ハ當ニ廢棄スレハ「善カロー」ト打／合セシノミ決シテ廢棄ニ決セシニ非ス抑モ小會議ニ決スルノ權／ナキヤ／各員ノ了知スル所然ルニ會長ニ於テハ飽マテ決定／ノ旨ヲ固執セラルハ議事規則ニ抵触セサルカ／會長（瀬川）曰 決シテ抵触セス小會議ト雖トモ事柄ニ依リテハ／決定スルノ權アリ尚ホ熟考アリタシ／十八番（山下）曰 熟考セヨトナラハ暫ク黙止スベシ／二十一番（大津）曰 本條ヲ削除シタシ／十番（荒井）之レヲ賛成ス／十七番（芳野）曰 原案ヲ可トス／四十七番（室田）曰 二十一番ニ同意併シ削除ニ及バズ後ト廻シニシタシ／十八番（山下）四十一番（大島）八番（宮野）二十二番（花岡）之レヲ賛成／シ十七番（芳野）マタ前説ヲ取消シテ四十七番ヲ賛成ス／十四番（奥高）曰 二十一番ハ緒言ハ不用ト認メテノ削除カ將タ別／ニ見込アリテノ吏カ／二十一番（大津）曰 本員ノ所見ハ不用ト認ム／十番（荒井）曰 本員ハ先刻二十一番ヲ賛成センカ只今二十一番ノ／弁明ヲ聞クニ大ニ本員ノ精神ト異ナリ依テ本員ハ之レ／

p 19

ヲ取消スベシ／二十一番（大津）ハ起テ前説ヲ主張シ四十七番（室田）モ亦自説ヲ維持ス／爰ニ於テ會長ハ四十七番ニ同意ノ者ヲ起立セシム／起立 二十八名／過半数ニ付四十七番ノ説ニ決ス次ニ會長ハ之レヨリ次條ニ取／掛ル旨ヲ演述シ書記起テ議案ヲ朗讀ス／尋常小学教則／一凡兒童ハ云々／二十二番（花岡）曰 学期ヲ四年トシタシ／十七番（芳野）十四番（奥高）四十一番（大島）之レヲ賛成シ四番（石川）／三

十二番（茶谷）八番（宮野）二十一番（大津）十八番（山下）四十七番（室田）／各二十二番等ヲ駁シテ原案ヲ維持シ四十一番（大島）モ亦前説ヲ取／消シテ原案ヲ可トス／會長（瀬川）曰 最早論議モ分レタレハ之レニテ決ヲ取ルベシト陳／ベ先ツ二十二番ニ同意ノ者ヲ起立セシム／起立 七名／小数ニ付消滅次ニ會長ハ原案ヲ可トスル者ヲ起立セシム／起立 二十四名／過半数ニ付原案ニ決ス次ニ會長ハ書記ヲシテ次項ヲ朗讀／セシム／一 女子ハ云々／四十一番（大島）曰 容儀トハ何等ノコトカ各員ノ明解ヲ乞フ／十番（荒井）曰 容儀ハ即チ行儀ナリ例セハ配膳方等全テ起チ居／振舞ニ関スル礼儀ニテ男子ノ体操ニ代ヘシモノ／ト考フ／十七番（芳野）曰 容儀モ試験スルノ精神ナルカ四十一番ノ例ニ拠リ／

p 20

謹テ各員ノ示教ヲ乞フ／三十二番（茶谷）曰 必ス試験スルノ精神ナラン／十八番（山下）曰 三十二番ト同意／十番（荒井）曰 先刻モ申セン通り女子ノ容儀ハ男子ノ体操／ニ代ヘシ者ナリ然スレハ試験ハ無論成サザルモノト考フ／四十一番（大島）曰 容儀ヲ訓スレハ「カタチノノリ」ナリ然ルニ十番會／員ハ体操同様ニ言ハルヽハ了解シカタシ／十番（荒井）曰 成程容儀ハ「カタチノノリ」ナリ故ニ体操其物ノ性／質ト容儀其物ノ性質ヲ論セバ固ヨリ同様ニアラス然レトモ身／体ヲ運動セシメ体力ヲ養フノ一点ニ至テハ同一ノ目的ナリ／同一ノ精神ナリ／之レ本員ノ同様ト云ヒシ所依テ前説ノ不足ヲ補フ／四十七番（室田）曰 試験不要ノ一点ハ十番ニ同意ト述ブ／十七番（芳野）曰 容儀体操云々ハ十番會員ノ説明ニテ／略ホ了解セリ然レトモ体操ハ各級同一ニシテ独リ容儀ハ級別／ニ差異アルハ如何／二十一番（大津）献議シテ曰 先刻ヨリ各員ノ討論ヲ承ルニ往／々試験ノ有無ニ論及スルアリ右ハ議題ニ関係ナキ事ナレハ會長／ニ於テ差止メラレンコトヲ切望ス／四十七番（室田）曰 本員ハ十七番ノ質疑ニ答ヘン容儀ヲ級毎トニ／區別センハ生徒ノ脳力ト支柄／

ノ難易ニ應センモノト思考ス／四十一番（大嶋）曰 本員ハ男子ニモ容儀ヲ課シタシ／十七番（芳野）曰 先刻二十一番會員ノ献議モアリシカ末タ御採用／モ無レハ敢テ一弁セン本員ハ到底試験ノ有無ニ依テ所見／ヲ異ニスレハ是非試験ヲスルト否トノ決議ヲ承リタシ／

p 21

三十二番（茶谷）曰 試験ノ有無ニ関セズ本項ヲ議シテ可ナリ／八番（宮野）之レヲ賛成ス／十四番（奥高）曰 容儀ハ到底實際ニ行レカタシ本員ハ削除ス／ルヲ可トス／四十七番（室田）曰 本員ハ原案ヲ可トス／三十二番（茶谷）曰 本員ハ適宜ニ授ルトシタシ／二十一番（大津）曰 本項ハ市街ニ必用ニシテ村落ニハ不用ナリ／依テ村落ニハ行ハサル事ト致シタシ／十番（荒井）八番（宮野）三十五番（瀬戸）十七番（芳野）各三十一番ヲ駁シテ原案／ヲ維持シ四番（石川）ハ二十一番ヲ駁撃シテ三十二番ノ説ヲ敷衍／ス／十四番（奥高）曰 本員ハ飽マテ削除ノ精神ナレトモ現勢ニテ／ハ底到行レサレハ遺憾ナカラ前説ヲ取消シテ三十二番ノ説／ニ同意ス／二十二番（花岡）曰 二十一番ノ説ハ多数ノ反体者ノ考メニ殆ト撃破／シ尽サレントス実ニ惜ムヘシ故ニ本員ハ之レヲ賛成／ス／爰ニ於テ十四番（奥高）十八番（山下）ハ持説ヲ主張シテ二十一番ヲ／駁シ二十一番（大津）ハカヲ尽シテ前説ヲ維持ス會長ハ議論／較ヤ尽ルヲ見テ起立ヲ命スルニ左ノ如シ／二十一番ノ説ヲ可トスル者 八名／三十二番ノ説ヲ可トスル者 九名／原案ヲ可トスル者 十四名／會長ハ各說過半数ニ至ラサルニ付小會議ニ附スベ／キ旨ヲ演述シ畢テ第二組ノ幹事ヲ撰挙セシム其当／

p 22

撰人左ノ通／第二組幹事当撰 十五番會員 小竹虎一／之レニテ本日ノ會ヲ閉ツ于時午后四時三十分各員退場ス／本日傍聴人午前午后共六十名／

珠洲郡教育協議会日誌第四号

明治十三年七月十三日午前第十時十分開会／
欠席 壺番 五十番／未着 五番 六番 十
六番 十九番 二十四番／二十六番 三十七番
三十九番 四十二番／四十三番 四十六番 四
十九番／

午前十時十分會長會員及勝山郡書記等各昇堂其
席ニ着キ／一同正礼ス畢テ書記起テ九番組合惣
代中村道隆ヲ各員ヘ紹／介シ而シテ抽籤ヲ以テ
四十五番ノ席ニ着カシム次ニ會長其席ニ／起立
シ演述シテ曰ク之レヨリ昨日ノ續キ算術説明ノ
項ニ取掛／ラン／二十五番（生熊） 献議シテ曰
開會以來指ヲ屈スレハ日タル三日而シテ其議／
了セシ所ヲ反省スレハ僅々容儀ノ一項ニ過キス
／由是觀之本會全ク結了ニ至ルノ日ハ前途／

p 23

漠遠豫メ期スル能ハズ実ニ大患ノ至ナリ依テ拙
員ハ深く思フ焦／シ辛フシ／テ計ヲ按出セリ
其方法タル敢テ新奇ノ各説ニ非ス／單ニ説明書
ノ討議ヲ廢スル是レナリ其理由如何ト云フニ／
説明書ハ立案者其人ノ教則組織ノ精神ヲ説キ明
カセシ／者ナレハ尋常小学教則トアル凡例ヨリ
討議スルトキハ勢ヒ説／明書ヘ連及スルヤ必然
ナリ果シテ然ラハ今ニシテ之レヲ議ス／ルハ贅
中ノ贅事恐クハ坤輿無用のノ親／玉ナラン故ニ
切ニ望ム各員余力献議ニ同意シ一刻モ早ク／尋
常小学教則ヨリ審議センコトヲ／三十二番（茶
谷） 四十七番（室田） 七番（館谷） 四十一番（大
島）ノ各員續／々二十五番ノ献議ヲ採用アリタ
シト發言ス／會長（瀨川）曰 二十五番ノ献議
ヲ可トスル者ハ起立アレ／六名外 惣起立／會
長（瀨川）曰 多数ノ求メニ依リ本場ノ問題ト
スベシ各／員乞フ意見ヲ發言アリタシ／十四番
（奥高）曰 二十五番ノ献立ハ余程尤ラシク聞
ユレトモ／議論ノ骨髓タル時處位ノ材料ヲ具ヘ
サルノ説ナリ何ト／ナレハ本會ノ如キハ議案ノ
趣旨ヲ解釋ス／ベキ番外其人ヲ欠キ加ルニ會員
幼稚ニシテ議叟ニ熟セズ／此時ニ際シテ説明書
ヲ討議セズ通常ノ手續キヲ／以テ小学教則ヘ向
テ議論ヲ下サバ或ハ恐ル論説ノ正鵠ヲ／失ヒ為
メニ議事ノ混雜ヲ生センコトヲ故ニ本員ハ二十

五番／會員献議ノ精神ヲ賛成シ其方法タル説明
書ノ討議ヲ／中止スルヲ不可トス

十番（荒井）之レヲ賛成シテ曰ク十四番ノ説眞
ニ本員ノ心ヲ／

p 24

得タリ依テ今一言ヲ展テ之レカ勢力ヲ助ケン原
来課程ハ／教則ヨリ出テ教則ハ説明書ヨリ生出
ス然ルニ之レカ生母タ／ル説明書ヲ説明者ノ不
在ニモ拘ラズ一概ニ傍棚ニ擱束シ置カ
ントハ豈順序ノ宜キヲ得タリト言フ可シヤ騎尾
ニ附シテ／言ヲ申置ク／四十一番（大島）曰
本員ハ稟性甚タ訥弁ナレハ單ニ所見ヲ／述ベン
十四番／十番ノ説ハ重複ニ付飽マデ二十五番ノ
説ヲ可トス／十七番（芳野）ハ二十五番ヲ賛成
シ四番（石川）ハ／二十五番ノ説ヲ駁ス／二十
五番（生熊）曰 先刻ヨリ反体論者ハ順序々々
ト一概ニ拘泥アレ／トモ教則ヲ議スルニハ發明
ヲ考照スルハ固リナシ反体／論者少ナクモ猛省
スル所アレ／十番（荒井）曰 二十五番ハ頻リ
ニ雄弁ヲ以テ説明書ヲ議スルニ／及バストアレ
トモ例セハ議案ト説明トハ尚ホ議事ノ可否説ト
其所以トヲ／陳述スルカ如シ會員諸君ニシテ／
其可タル否タルノ所以ヲ陳述セズ單ニ／原案ヲ
可トストカ否トストカト而已ノ發言ニテ豈諸君
心中ニ於／テ満足アラシヤ／二十一番（大津）
ハ十番ヲ可トシ二十二番（花岡）ハ二十五番ヲ
可トス／三十二番（茶谷）曰 會員諸君ノ顛倒
説ニ本員ハ先刻ヨリ一驚／ヲ喫セリ各員試ニ思
ヘ教則アリテ始テ説明ノアルモノ／ナリ而ルヲ
説明ハ基礎トカ根本トカ種々勝手ノ名称ヲ附／
シ先ツ之レヲ討議セントハ顛倒モ亦甚シカラズ
ヤ／四十七番（室田）ハ二十五番ノ説ヲ助ケ四
番（石川）ハ之レヲ駁シ／

p 25

テ十四番ノ説ヲ敷衍ス二十五番（生熊） 十四番
（奥／高）各奮テ持説ヲ主張シ論勢鋒銳烈ヲ
極ム爰ニ於テ／十七番（芳野） 献議シテ曰論議
激烈為メニ聴／衆社會ヨリ痛快ノ喝采ヲ博スル
モ時間ノ経過ヲ如何セ／ンヤ而シテ其論点タル
二十五番ノ献議ヲ採用スルト否トノ／二点ニア

リテ甚タ決議ニ困難セス乞フ起立ヲ命セラレン
コト／ヲ／會長（瀬川）曰 十七番ノ献議至当
ト雖トモ會長ニ於テモ一／言ヲ陳ベタケレハ會
員諸君特許ヲ得テ敢テ／鄙見ヲ發言シタシ依テ
副會長ニハ暫シ代理アランコト／ヲ乞フ／副會
長ハ意見アリトテ之レヲ辞ス依テ十番（荒井）
十七番／（芳野）三十二番（茶谷）へ逐次會長
ノ代理ヲ指命／スレトモ各員挙ク所見ヲ主張シ
タシトテ之レヲ固辞ス依テ／副會長已ヲ得ズ自
説主張ヲ投棄シ會長ノ命ニ應ズベシトテ會長ノ
席／ニ着ク／三十一番（瀬川）曰 本員ハ十四
番及十番ト大同小異ナリ依テ自／説ヲ伸パス能
ハズンハ枉テ十番ニ同意セン大同トハ何ソ／先
ツ説明書ヲ議スル之レナリ小異トハ何ゾ之レニ
本會ノ名／ヲ以セズ小會議ノ各称ヲ付スルナリ
切ニ望ム十番同意ノ諸／君更メテ本員ヲ賛成セ
ンコトヲ／八番（宮野）ハ至極ノ名説トシテ之
レヲ賛成シ十番／（荒井）十四番（奥高）四番
（石川）ハ前説ヲ枉テ三十一番ニ／同意シ三番
（松岡）三十二番（茶谷）四十七番（室田）二
十五番（生熊）ハ各自説ヲ敷行シテ三十一番ノ
説ヲ駁撃ス／副會長（大津）曰 本項ハ各員ノ
求メニ應シ充分ノ／

p 26

討論ヲ許シタレハ最早決ヲ取ラレ三十一番ノ説
ニ同意ノ／者ハ起立スベシ／起立 十名／次ニ
二十五番ノ献議ヲ可トスル者ハ起立スベシ／起
立 十五名／過半数ニ付二十五番ノ説即チ説明
書ヲ議セサル事ニ決／ス時二零時十分依テ副會
長ハ午食ヲ命シ各員退／場ス／午后壹時三十五
分再開議／

欠席／未着 午前ノ如シ／

午后壹時三十五分激析ノ報道ニ依リ會長會員及
勝山郡書／記等各其席ニ着キ一同正礼ス畢テ會
長ハ之レヨリ尋常ノ小学校教則トアル凡例ノ所
ヨリ議スベキカ將タ之レヲ後ニシ五級ノ前期ト
アル課程ヨリ議スベキカ各員ノ意見ヲ承リタシ
ト／陳述ス／三十二番（茶谷）曰 石川縣尋常
小学教則トアル所ヨリ議スルヲ／可トス／十八
番（山下）三十五番（生熊）四十一番（大島）

十番（荒井）八番（宮野）／各之レヲ可トス／
四十七番（室田）曰 第五級前期トアル課程ノ
処ヲ先キニ議シタシ／三十二番（茶谷）曰 敢
テ四十七番會員ノ過程ヲ先／ニスルノ理由ヲ承
リタシ／四十七番（室田）曰 三十二番ノ求メ
ニ應ゼシ教則トアル所ハ前体ノ／主意書ナリ然
ルヲ全体ノ過程ヲ議ゼズシテ先ツ主意／書ヲ議
スルトキハ議決ノ如何ニ依テ再ヒ主意書ヲ改議
セザル／

p 27

可ラサルニ至ルモ亦知ルベカラス豈不可ノ説
ナラズヤ／二十二番（花岡）曰 本員ハ三十二
番ノ賛成者ナリ四十七番ノ説ノ如キハ目シテ自
家撞着トセザル可ラズ／教則トアル所前体ノ主
意書タルハ四十七番自ラ明言／セリ而シテ前体
ノ主意ヲ議定セズシテ先ツ内輪ノ課／程ヲ議セ
ントハ夫レコソ不可ノ説ナリ謹テ不可ノ三
字ヲ／返呈ス／十七番（芳野）十四番（奥高）
各四十七番ヲ駁シ／テ三十二番ノ説ヲ助ク／會
長（瀬川）曰 四十七番ノ説ニハ賛成者モ無レ
ハ之レ／ヲ排棄シ三十二番ノ説ニ決スル旨ヲ演
べ書記ヲシテ議／案ヲ朗讀セシム／

○石川縣尋常小学教則

此教則ハ云々／一教科ノ之ヲ五級ニ分チ云々／
八番（宮野）曰 石川縣鳳至珠洲郡尋常小学教
則ト修正シ此教則／ハ云々トアル一／項ヲ削除シ
一教科ハ云々ノ項ニ／一日五時間ノ修業トア
ルヲ五級ニ限リ四時間ノ修業ト修正シタシ／十
番（荒井）曰 石川縣尋常小学教則ノ九文字并
ニ此教則ハ云々／ノ一／項ヲ全ク削除シ一教科ハ
云々ノ中チノ但止ムヲ得ザル／事故アリテ以下
ヲ削リタシ／十四番（奥高）十八番（山下）之
レヲ賛成ス／十七番（芳野）曰 「教科ハ之レ
ヲ五級ニ分チ毎級分チテ前後ノ二期／トス」ト
アルヲ「教科ハ之レヲ八級ニ分チ」ト修正シ一
級ハ温習科ト／カ何トカ適當ノ名称ヲ以テ別ニ
設ケタシ徒ニ新奇ノ／

p 28

前期トカ後期トカノ名称を用ヒテ俚俗ノ耳ヲ驚
カスハ／本員ハ其害ヲ見テ其利ヲ知ラサルナリ

餘ハ八番ノヲ賛成スノ二十一番（大津）曰 議事少ク混雜セリ願クハ数節ニ分テ論ノ議セシメラレタシ此段献議スノ會長（瀬川）曰 二十一番ノ献議ヲ採用スヘシ就テハ石川縣云々ヨリノ設ル所ナリ迄ニ付意見ヲ發言スベシノ八番（宮野）曰 石川縣ノ下ヘ「鳳至珠洲郡」ノ五文字ヲ挿入シ此教則ノハ云々ノ項ヲ削除シタシノ二十一番（大津）曰 本項ハ此後ト廻シトシタシノ十番（荒井）三十二番（茶谷）十五番（小竹）四十七番（室田）ハ二十一番ニ同意シ十四番（奥高）四十五番（中村）ハ八番ヲ賛成スノ會長（瀬川）曰 八番ニ同意ノ者ヲ起立セシムノ起立 六名ノ次ニ會長ハ二十一番ノ説ヲ可トスル者ハ起立アレト演述スノ六名ノ外 惣起立ノ過半数ニ付二十一番ノ説ニ決ス次ニ會長ハ一教科ハト云フ所ヨリノ卒業スルヲ得ベシトノ一節ニ付意見ヲ述ベラレタシト演ブノ三十二番（茶谷）曰 原案ヲ可トスノ十七番（芳野）曰 教科ヲ八級ニ區別シ一級前期後期ヲ別科トシタシノ今ヤ新奇ノ名称ヲ設ケ之レヲ分チテ四級トシ前期後期トスルモノ果シテ何等ノ益カアラン寧ロ旧ニ依リテ愚鈍者ヲ驚カサザルノヲ可トス且ツヤ一級ナルモノハ二級以下ト固ヨリ教科ノ性質ヲ異ニスレハ之レヲ別科ニ設ケ而シテ二級ヨリ高等ニ入ルトスルト一級ヨリ高等ニ入ルトスルト何レカ穩当ナル乞フ各員熟按アノリタシノ

p 29

七番（館谷）四十一番（大島）深ク十七番ノ説ヲ可トスノ四十七番（室田）曰 教科ハ之ヲ五級ニ分チタルヲ四級ニ分チトシノ滿十一年ニシテトアルヲ滿十年ト修正シタシ一級ヲ別科ニスルハノ十七番ニ同意ノ四十八番（永井）ハ四十七番ヲ賛成シ十番（荒井）二十番（慶塚）ノ十四番（奥高）ハ十七番ヲ賛成シ二十一番（大津）ハ原案ヲ可トスノ會長（瀬川）曰 最早決ヲ取ルベシ先ツ四十七番ノ説ノニ同意ノ者ハ起立スベシノ三十番（徳木）四十七番（室田）四十八番（永井）ノ次ニ十七番ノ説ヲ可トスル者ハ起立スベシノ起立 十五名ノ次ニ原案ヲ可ト

スル者ハ起立スベシノ起立 十六名ノ各說過半数ニ至ラサルニ付小會議ニ付スベキ旨ヲ演ベ第一ノ但書ニ付意見ヲ發言アリタシト述ブノ十番（荒井）曰 但止ムヲ得サル云々ヲ削リタシノ十七番（芳野）二十一番（大津）之レヲ可トシ十八番（山下）四十七番（室田）ノ八番（宮野）二十二番（花岡）二十番（慶塚）四十一番（大島）ハ原案ノヲ賛成スノ三十五番（瀬戸）曰 原案賛成ノ勢力余程烈シ然レトモ思フニノ本郡ノ如キハ嚴ニ五時間ノ制度ヲ断行セサル可ラス然ラズンノバ或ハ不締ノ区域ニ陥ラン決シテ立白ノ両山々間ノ村落ト同一視スベカラス飽マテ削除ヲ可トスノ四十一番（大島）曰 成ル程三十五番ノ説味ヒアリ本員ハ前説ヲノ取消シ三十五番ニ同意スノ四十七番（室田）十番（荒井）二十一番（慶塚）十七番ノ

p 30

（芳野）三十二番（茶谷）等或ハ駁シ或ハ弁シ甲論乙議ノ殆ト究極ナシ教育令ヲ引証スルアリ管理心得ヲ説明ノスルアリ規則ニ拠ルアリ情実ヲ説クアリ満場騒然依テノ會長ハ急ニ發言ヲ止メ先ツ十番ノ削除説ニ同意ノ者ヲ起立セシムノ起立 十四名ノ次ニ原案ヲ可トスル者起立セシムノ起立 二十名ノ過半数ニ付原案ニ可決ス之レニテ一先本會ヲ閉チ更メテノ小會議ヲ開キ午後四時五十分本會ニ復シテ「一教ノ科ハ云々ノ項ヲ再議スノ四十七番（室田）曰 到底本員ノ説ハ本會ニ行レ難ケレバ更メテ十ノ七番ヲ賛成スベシノ二十一番（大津）八番（宮野）四番（石川）三十二番（茶谷）ハ原案ヲ可トシ十四番（奥高）二十二番（花岡）七番（館谷）四十一番（大島）三番ノ（松岡）二十番（慶塚）十番（荒井）三十四番（仲上）三十番（徳木）ハ十ノ七番ヲ賛成スノ會長（瀬川）曰 最早決議ノ調査ニ取掛ラン先ツ原案ヲノ可トスルモノハ起立スベシノ起立 十二名ノ會長ハ次ニ十七番ノ説ニ同意ノ者ヲ起立セシムノ起立 二十二名ノ過半数ニ付十七番ノ修正説ニ可決シ是レニテ本日ノ會ヲノ閉ゾ干時午後五時五十分各員退場ノ本日傍聴人午前ノ午後共三十二名ノ

p 31

鳳至珠洲郡教育協議會日誌第五号

明治十三年七月十五日午前九時開會／

欠席 壱番 五十番／

未着 五番 六番 十六番 十九番 二十四番／二十六番 二十七番 四十二番 四十三番／四十九番／

午前九時會長會員及勝山郡書記等各其席ニ着ク此時本縣十六等／出仕兼第一師範学校監事上村要次郎模範教則説明ノ為メ出／張即チ番外へ着席シー同正礼ス畢テ書記起テ新来ノ會／員ヲ各員へ紹介シ抽籤ヲ以テ番号ヲ定ル左ノ如シ／三十九番 八番組合惣代 出野音次郎／四十六番 二十二番組合惣代 関 佐次馬／次ニ會長（瀬川）演述シテ曰 昨日第一師範学校ヨリ教則説明ノ／為メ態々ト上村教諭ノ出張アリ現ニ本日ヨリ／番外へ着席アリタレハ之レヨリ昨日ノ續キ即チ逐条討／

p 32

議ヲ中止シ更ニ本刻ヨリ質問會ヲ開クベシ／各員乞フ不審ヲ質サレ／タシ／番外（上村）曰 先ツ大体ヲ説明スベシ抑モ模範教則発行ノ趣／意タルヤ本縣従前ノ教則ハ加能ニノミ施行スルモノ／ニシテ爾来兩越ヲ合併セシヨリ為メニ教則区々ニ陟リ其ノ鍼路一ニ歸セズ故ヲ以テ従前ノ教則ヲ改正シー様ニ歸スル／ノ趣旨ニテ縣廳ヨリ教則編制ノ上御下問ノ更モ有之又師範／学校ニ於テモ教則改正案ヲ起セシ事モ屢アリシカドモ皆行／ハレズ尋テ準則ノ発行アレドモ充分ノ信向ヲ得ズ且爾来教育／ノ進歩ニ應ジ到底改正セザルヲ得ザルニ際シ教育令ノ／領布アル有テ教育ノ体面モ大ニ改リ彼是ニ就キ改正ヲ要セシ／所以ナリ加旃従前ノ教授方法ハ素東京師範学校ノ体裁／ニ倣ヒ来タレトモ実験ヲ經テ漸ク發明セシ処モ多クアレバ以後ハ／是迄ノ如ク徒ニ畫一ノ体裁ヲ求メズ教授者ノ意見如何ニ拠／リ廣ク授業方法ノ活用ヲ求メ一層精密以テ益々進歩ヲ／計ランコトヲ冀望スルニ至レリ是亦改正ヲ要スル以所ナリ／又学科ノ組立タル主トシテ

教／育令ノ旨趣ニ基キシモノト雖トモ又他ノ理論上ヨリ出ツルモノモ／無之ニアラズ然リ而シテ尋常小学ノ学期ヲ下等小学ヨリ／伸バセシハ縣下ノ情態ヲ察シ高等小学ヲ受ル能ハサルモノハ／為メニ二期即チ壱ヶ年ヲ伸ハシ修業科ノ不足ヲ補ヒ以テ／普通壱般ノ更ヲ知ラシメ実地應用ノ途ヲ開カンカ為メニ置／クモノニシテ固ヨリ高等小学科ハ受ケザルモ可ナリト云フニア／ラズ目下ノ実況ニヨリ止ムヲ得ズ此方法ヲ設ケシ更ハ説明書／ニモ出タリ尤モ此模範教則ハ三師範学校打合セノ上将来縣／

p 33

下教則ノ標準ヲ示サンカ為メニシタル者ナレハ向フ拾餘年間／ハ必ス改正ヲ加ヘサルノ見据ヲ以テ定メタルナリ乞フ各員／此意ヲ諒セラレタシ／會長（瀬川）曰 之レヨリ逐条ノ質問アリタシ願クハ一條ノ質問／全ク了ラサル中ハ他條ノ質問ヲ見合スベシ／十番（荒井）曰 教科ヲ五級ニ分チ前後ノ二期ニ改メラレンハ如／何ノ御趣意ナルヤ／番外（上村）答曰 尋常小学ニ於テ壱年ノ学期ヲ増セシニ依ル如／何トナレハ壱年ヲ増セハ則チ学期ハ二期ヲ増スハ勿論然ルヲ従前／ノ通り一期一級ノ制トシテハ為メニ十級トセサルベカラス果シテ十／級ト區別シテハ名称上何トナク生徒ノ厭倦ヲ来タスノ憂／ヘ之レ無キトモ申シ難ク且前期後期ノ名称ハ本縣ニテハ始メテ／ノ更ニテ耳新ラシキコトナレトモ他縣ニテハ従前ヨリ往々此ノ／名称ヲ用ヒ居レリ之レ改称ノ主旨ナリ／十七番（芳野）曰 但止ムヲ得ザル更故アリテ一日ノ修業五時／間ニ滿タサルトキハ随ヒテ学期ヲ延フヘシトアルハ仮ニ例セハ我カ／鳳珠兩郡ノ実況ハ到底四時間ヨリ行レサル者ト見認ルトキハ／六ヶ月ノ予定ヲ八ヶ月トカニ予定シ置クノ都合カ／番外（上村）答曰 然リ生徒ノ進歩ニ應ジ予定スル可／四十七番（室田）曰 止ムヲ得ザルトハ二名ノ生徒ガ病氣等更故ニヨ／リ全ク授業シ能ハサル者モ尚ホ之レニ当ルカ／番外（上村）答曰 一二名ノ生徒ニ拘ルニ非ズ全体ニ就テノ更ナリ／十八番（山下）曰 每期六ヶ月ノ修業ト定ルト

雖トモ生徒ノ進捗ニ／應シ之ヲ伸縮スルハ教員ノ意ニ任スヘシトハ譬ヘハ二級生ノ十名アリ内三名ハ學業優等者進歩ノ

p 34

セシトキハ何時ニ／テモ学期ヲ縮メ該三名ニ限り試験ヲ行フモ差支ヘサルカ

番外（上村）答曰 生徒ノ優劣ハ稟性ノ鈍鋭ニテモ差ノ違アル訳ナレハ敢テ一概ニ学期ニ拘泥スルハ／好マシカラズ故ニ優等生臨時ノ試験ヲ行フハ固ヨリ可ナリ然レトモ本日ハ三人来月ハ五人又翌月ハ二人杯ト云フ様ノニ相成テハ却テ不都合ヲ生ス／ベシ故ニ此所ハ一席ノ生徒惣体ニ對シテ同一ヲ欲スル精神ノナリノ四十六番

（関）曰 容儀ハ女子ニ限り授ルノ精神ハ如何ナル御趣旨ノカ承リタシノ番外（上村）答曰 容儀ハ形容ヲ付スルヲ主旨ノトス固リ礼節ヲ授ルトハ大ニ其目的ヲ異ニスルナリ故ニ女子ノ容姿ヲシテ●●タラ●ムルハ大ニ可ナリ男子ヲシテ之レヲ擬セシムルハ／不可ナリト思フ之レ女子ニ限り授ルトスルノ精神ナリノ四十一番（大島）曰 男児ハ本人ノ望ミ云々トアリ若シ望ミ人ナキ時ハ農ノ工商ノ科ハ設ケザルモ可ナルカノ番外（上村）答曰 農工商ノ内一科ハ必ズ授ケザルヲ得ザルモノノナリ果シテ一科モ望マザルモノアラハ其人コソ必ズ高等ヘ／入ルベキノ人ナランノ十四番（奥高）曰 一組中甲ハ農乙ハ商丙ハ工ト皆々望ミ異ニセシトキハ如何ニ教授スベキヤノ番外（上村）答曰 農工商ノ三科ヲ各自ノ望ニ應シテ授ルハ教ノ則上ニ固リ望マシキ更ノナリ然レトモ市街村落ノ區別ニテ大率ネ農商ノ

p 35

專業ノ分別モアレハ／土情ニヨリ農トカ工トカ定ルトハ博ク土情ニモ本人ニモ／係ハル意ナリノ四十八番（永井）曰 一般人民ハ先ツ理ニ於テ農工商ノ一科ハ必ズ望ムベシノト雖トモ僧医ノ子弟ハ如何シテ宜シキヤノ番外（上村）答曰 僧医ノ業ヲ繼カントスルニハ多少ノ學識ヲ要スルハ勿論ナリ依テ夫レハ高等ヘ入ラシメテ可ナリノ三十二番（茶谷）曰 本員ノ疑フ所ハ

四十八番會員ノ問答ニテ略ノボ了セリ就テハ目下郡内ノ実況ニテハ早ク退學ヲ欲スルノノ念慮ヨリ或ハ僧医トナルヲ口実トシテ退學ヲ出願スルモノノ百三哉モ計ラレス然ル時ハ如何スベキヤノ番外（上村）答曰 僧タリ医タルヲ欲スルニハ多少ノ學力ヲ要スルノニ付キ是非高等ヘ入ルベキ旨ヲ説諭シテ然ルベシノ三十二番（茶谷）曰 説諭服スルトキハ敢テ憂ル足ラサレトモ原トノヨリ之レヲ口実トスル程ノ者ハ必ズ教員ノ説諭ハ無効ト信ノセリ故ニ其際ノ知恵ヲ豫メ番外ヨリ借用シタシノ番外（上村）答曰 三十二番ノ質問ハ教則編成ノ説明者カ答弁ノシ能フル限りニ非ズ左様ノ所ハ別途ニ規則等モアランカノ四十七番（室田）曰 口授ニ係ル教科ハ教員ニ於テ題目ト主旨トヲ記録シノ置キ云々トアレトモ口授ニ係ルモノハ必ズ題目ト主旨トヲ併有スルノモノト一概ニ云ヒ難シ例セハ父兄ノ姓名等ヲ口授スルカ如キハ題目アリテノ主旨ノ無キモノナリ是レハ如何スルノ御見込ナルカノ番外（上村）答曰 御尤ノ御尋ネ成ル程父兄姓名等ノ如キハ題目アリテ主ノ旨ノ無キ様ナレトモ原案ノ主トシテ掲ケ置クベキコトハ空氣ノ腐敗空氣ノ成立空氣ノ功用等ヲ口授シ置キ后日空氣ノ性質ト題目ヲ与ヘタルトキ其性質ヲ説クニ當リ以上ノ三行ヲノ

p 36

参考ニ供セシメン為メノ手續ナレハ右様ノ節ハ教員ニ於テノ簡短ニ該題目該主旨ヲ手扣ニ記録シ置カシムルノ意ナリノ四番（石川）曰 高等小学ハ筆算ヲ授クル處ナルニ之レカ必用タル算用數字ヲ教ユルノ明文ナキハ如何ノ番外（上村）答曰 筆算ヲ用ルニハ先ツ數字ヲ知ラサレハ到底能シ得サルハ諸君ノ明知スル所ノ故ニ筆算ヲ用ル處ニテハ是非數字ノヲ授ケサル可ラス之レ教則上特ニ明記ノセサル所以ナリノ二十一番（大津）曰 四番會員ノ質問ハ甚ク順序ヲ誤リシニ非ズヤノ乞フ會長ニ於テ差止メラレンコトヲ會長（瀨川）曰 會長ニ於テ少ク見込アリ故ニ特許セシナリ依テ獻議ハノ採用セズノ三十二番（茶谷）曰 數字トアル中ニハ亜拉比

亜数字ハ含入セザルヤ／番外（上村）答曰 尋常科ハ類算ニ止ルヲ以テ無論数字トアル中ニハ／亜拉比亜数字ハ含入セズ然シ實際ハト云ハバ必ス高等ニ至ル迄／ニハ亜拉比亜数字位ハ自ラ記得スルナラン又教師ヨリ必用ト認ル／ニ於テハ之ヲ教ルモ妨ケナシト信ズ／十八番（山下）曰 尋常小学ニ止ルモノハ必ス壹級ヘ入レシムルノ精神／トアリ然スレハ一級ナルモノハ高等ヲ縮束シテ其要ヲノミ摘ミシ／カ如キ性質ノ者カ將タ温習ノ為メナルカ／番外（上村）答曰 壹級ハ二級迄ノ塗上ケナレハ高等ニハ拘ラズ／又温習ノ為メノミニモ非ザルナリ／十四番（奥高）曰 七週間以上ノ温習云々トハ七週間ヲ十二ヶ月ニ配当シテ／温習セシムルノ意カ將タ都合ニ依リ七週間連續セシムルノ意カ／番外（上村）答曰 七週間ヲ十二ヶ月ニ配当スルノ連續セシムルノト云／

p37

フコトハ原案ノ主旨ニ非ズ畢竟其暇々ニナサシムルモノナ／レハ例ヘハ農ナラハ雪中商工ナラハ營業ノ餘暇ヲ指スノ精／神ナリ／十三番（橋本）曰 温習ハ老人ノ為ニモ一科ヲ設クベキモノカ／番外（上村）答曰 老人而已ニテモ拾人ニテモ便宜時節ヲ計リテ復／習セシムルナリ時節トハ全弁明ノ通り農ナレハ冬ナドヲ指ス／ノ意ナリ／四十八番（永井）曰 實際ヲ申サバ村落杯ハ學齡外ノ者ハ温／習ニ出ルモノ稀ナリ之レハ如何シテ可ナルヤ／番外（上村）答曰 温習セシムル項學齡外ニナリシモノト雖トモ尋／常科ノミニテ卒リシモノハ温習サセタシ然レトモ學齡／同様ニハ責ル能ハサルベシ齡外ト齡内トノ扱ヒ方ハ無論差違／アル叟ト存ズ／四十四番（平田）曰 温習七週間以上ニ定メラレタルハ必ズヤ讀書ハ／何時習字ハ幾時ト見込アリテヨリ出シコトカ／番外（上村）答曰 然ラズ右様綿密ノ計算上ヨリ割出セシモノ／ニ非ズ温習ヲ設ケ置ケバ家居平常ト雖トモ幾分カ感覺スル／所アリテ復習スルアルベシト思ハル併シ少クモ七週間以上ノ温習／ヲナサシメズンハ到底其甲斐ナシ之レ立案ノ主旨ナリ／八番（宮野）曰

第五級假名綴リトハ前期鍋トカ釜トカ云フ名詞タケヲ指ス坎又ハ筆／ハ物ヲ書ク具ナリトカ云フ様ナ簡短ノ章句モ書綴ラシムルノ意モ込／アルカ／番外（上村）答曰 最初ハ鍋 釜 茶碗等ノ名詞ヲ授ケ逐次／生徒ノ進歩ニ応シテ短簡ノ句章ヲ書綴ラ／シムルノ意ナリ只注意ヲ要シタ／キハ「チャワン」ヲ「チ」「ヤ」「ワ」「ン」ト讀ス様致シタ／シ

p38

十番（荒井）曰 假名綴ニ平假名ヲ用ヒテ片假名ヲ用ヒサ／ル精神ヲ承リタシ／番外（上村）答曰 平假名ニテ十分ニ綴リ得ラルレバ自ラ片假／名ニモ綴リ得ラルルモノナリ尤平假名ノ本ナ／ル事ハ説明書ニモアル通りナリ／十八番（山下）曰 平假名ノ本タルトハ授ケ方ノ順序ヲ云フ／カ／番外（上村）答曰 平假名ヲ以テ字ヲ教ヘ五十音ヲ以テ音調ヲ／正スハ大ニ順序ノ宜キヲ得ルナリ因テ平假名ヲ先ニス／四十一番（大島）曰 変体假名ハ授ルノ見込カ／番外（上村）答曰 固リ授ルノ都合ナリ／四十七番（室田）曰 日用什器製造品及ヒ云々トアリ然スレバ日用／什器ト製造品トノ區別ハ如何心得ベキヤ／番外（上村）答曰 成程御尤ノ御不審ニツキ原案ノ主旨ハ橋トカ／組トカ火鉢トカノ手近キ道具ヲ日用什器ト云ヒ羅紗ハ毛／ヲ以テ作ルトカ靴ハ皮ヲ以テ製造スルトカノ類ヲ製／造品ト云フナリ故ニ製造品ト云ヘハ製造セシ物品ニ限ルト雖／トモ日用什器ハ製造品タルト否トニ拘ラズ總テ手近キ道／具ヲ云フナリ／八番（宮野）曰 庶物指数ノ授ケ方ニ級別ナキノ精神ヲ承リタシ／番外（上村）答曰 級別セサルハ授業上ノ便宜ヲ斟酌セシナリ要／スルニ從來單語図ヲ授シ如キ粗漏且究屈ニ涉ラズシ／生徒ノ能力ヲ發達セシムルヲ主眼トシテ授ケタシ／四十四番（平田）曰 動植礦物等ヲ教フトアルハ如何シテ授ルモノカ／愚考ニ拠レハ動物ハ馬植物ハ松トカト教ルハ容易ナレトモ礦物ニ至／テハ漸ク六才位ノ生徒ニハ殆ト困難ナラズヤ敢テ立案ノ／

p39

御主意ヲ承リタシ／番外（上村）答曰 動物ハ／馬植物ハ松トカ申シテ授ルナラハ礦物モ亦金トカ鉄トカ／ト教テ可ナリ渾テ科目ノ難易ハ概ネ授ケ方説キ方／ニ依ルモノト御了知相成タシ／十四番（奥高）曰 徳義行トアルハ徳行義行ト二ツノ主意カ／番外（上村）答曰 然リ即チ徳ノ義ノ行ヒト云フコトナリ／四十七番（室田）曰 礼儀トハ礼ト義カ／番外（上村）答曰 然ラズ一熟語ナリ義ハ儀ノ誤リ／二十二番（花岡）曰 飲食ニ関スルト特書アルハ児童ハ果実ヲ好／ンテ食スルヨリ斯克特書セラレシモノカ／番外（上村）答曰 養生ニ種々アレトモ小児ハ兎角飲食ヲ貪ルノ／性アリ故ニ飲食ヨリ先ニ詳論スルナリ嗜好ト否トニ関ラズ／其度ト毒トテ云ヒ聞カスナリ／四十七番（室田）曰 二三ノ飲食物相合シテ毒トナルコトアリ之レヲノ旨／モ授ルノ意カ／番外（上村）答曰 飲食ニ関スルトスレハ至テ廣シ故ニ往々ハ消食器／呼吸器等ニ及フコトモ間々之レ有ルベシ然シ当級ニハ左様ナル高尚ノ／叟柄ハ授ケサルノ主意ナレハ四十七番ノ御質問ノ／如キモ生徒ノ腦力ニ應シテ授業相成然ルベシ／十三番（橋本）曰 生徒ノ住所父兄ノ姓名トハ生徒各自ニ付テノ叟カ／教員各自受持生徒ニ付テノ叟カ／番外（上村）答曰 生徒各自ノ住所生徒各自ノ父兄姓名ナリ／會長（瀬川）曰 最早定刻時限ニ付一先ツ休會午食スベシト各／員退場ス于時零時拾分ナリ／午后壹時三十分再開議／

p 40

欠席未着午前ノ如シ／午后壹時三十分撃柝ノ報道ニ依リ會長會員及番外上村十六等出仕／并ニ勝／山郡書記等各其席ニ着キ一同正／礼ス畢テ會長ハ之レヨリ午前ノ續キ即チ質問會ニ／取掛ル旨ヲ演述ス／四十八番（永井）曰 算術科ニ於テ数目及ヒ命位トアルハ如何ノ叟ナルヤ／番外（上村）答曰 顆算授業法ニアル数目及ヒ命位ナリ詳細ハ／該法ヲ参看アリタシ／三十番（徳木）曰 諸種ノ嬉戯トアルハ如何ナル遊具ヲ用ユベキヤ独／樂杯ノ外ニ何ノ珍具モ之レナキカ練習部実施ノ景状ヲ承リ／タシ／番外（上

村）答曰 別ニ珍ラシキ器具モナシ并シ独樂ノ如キハ／動モスレハ害ナキニモ非レバ成ルベク男児ナラハ打毬トカ女児ナラバ／羽子突等ノ無害物ヲ用ヒタシ／二十一番（大津）曰 習字科中ニ数字ノ類トアリ此「類」トハ如何ナル／モノヲ暗ニ指称スルノ意カ／番外（上村）答曰 支千若クハ東西南北ノ文字杯ヲ指スナリ／

○第五級後期

四十八番（永井）曰 文学科中ニ又短簡ノ句ヲ作ラシメ間々コレニ眞／字ヲ加フトハ如何／番外（上村）答曰 例ヘハ最初ハ「いぬがはしる」ト云フ事ヲ綴／ラシメ稍之レニ熟スレハ「犬がはしる」又「犬が奔る」等ノ如ク間々之／レニ眞字ヲ加ヘ授ケ専ラ活用セシムルヲ主トスルナリ通例ノ書取又／ハ填字ト決シテ混視スルナカラコトヲ望ム／

p 41

番外（上村）答曰 否ラス従前ノ懸図ハ洋算ノ為メニ用ルモノ／ナレハ顆算ノ授業ニハ適セズ故ニ小学指教図ヲ用ル積リ減乗／除ノ呼声モ亦然リ／

○第四級前期

十四番（奥高）曰 書中ノ語ヲ変化スルトハ如何／番外（上村）答曰 例セバ「菊ハ秋ニ至テ咲ク」ト／アルヲ「菊ノ花ハ秋ニ至ラサレハ開カズ」ト云フ様ニ語句ヲ変化スルコト／ヲナリ尤菊ヲ梅トシ植物ヲ動物ニ変化スル等ハ固リ好マシキ叟／ニテ成ルダケ博ク変化セシムルヲ良シトス是レ活用カヲ附与／スル為メナレバナリ／此時加藤郡長等臨會一同敬礼ス／八番（宮野）曰 口授科中衣服住居ニ関スル叟等ヲ論ストアル／ハ区域甚タ漠トシテ其程度ヲ弁知シ／難キ乞フ一例ヲ承リタシ／番外（上村）答曰 衣服ノ汚レタルハ養生ニ惡シト説キ之レニ関／スル養生ト成ルベキ叟柄ヲ説キ論スナリ又住居ニ関スルトハ総／テ家屋ハ屢障子窓等ヲ開キ空氣ヲ／流通セサレハ空氣腐敗シ頗ル養生ニ害アリ尤寢室等ハ格別ニ注意スベシ杯ト説／キ論ス類ナリ勿論住居トハ自宅ノミニ非ズ／十八番（山下）曰 皇家華士族平民ノ名義等ヲ知ラシムル

トハ此級ノニテハ殆ト重カラズヤノ番外(上村)
答曰 固リ級ニ應シテ教授アルベキ筈ナレハ敢
テ難キノ更ニモ之レアルマジク尤皇家華士族ノ
如キハ現ニ国内ニ區別ノアルモノナレハ少々其
理由ヲ適度ニ授ケラルルモノ可ナリ尚ホノ口授参
考ノ書籍モ追テ刊行ニナルベキ筈ナレハ旁六ヶ
敷ノ更ハ無之義ト存ズノ

p 42

四十七番(室田)曰 算術ノ應用トハ小遣帳ノ
附方ノ及ヒ實際薪炭入払等ノ計算ヲモナサシム
ルノ意カノ番外(上村)答曰 成ル程四十七番
ノ言ハルル処モ即チ應用ナレトモ此ノ級ニハ左
様ニ高尚ナルモノヲ授ルノ主意ニ非ス是マテ通
ノ常問題ト称ヘ来リシモノヲ應用ト称シテ授ル
ノ意ナリノ其授ケ方ハ塗板ニ書シ以テ行ハシム
ルトキモアラン時トシテハ口頭ニテ之ノヲ授ケ
以テ行ハシムルトキモアラン之レラハ教授者ノ
方寸ニアルノコトナリノ二十五番(生熊)曰 單
ニ加法ト而已ニテハ餘リ漠タルモノナラズヤノ
番外(上村)答曰 然リ併シ制限ハ設ケザルヲ
可トス何トナレバノ物ニヨリ品ニヨリ桁位モ異
ルモノナレバ之レニ制限ヲ設ルトキハ自ノヲ活
用ノ途ヲ窮屈ニスルノ恐レアレバナリ故ニ制限
ヲ設ケズ級ノニ應シ脳力ニ應シ適当ト認ルモノ
ヲ授ルヲ良シトス之レノ原案ニ制限ヲ設ケサル
主眼ナリノ

○第四級後期

十番(荒井)曰 慶吊存問トハ如何ノ番外(上
村)答曰 慶トハ養子ヲ貰ヒシナドノ祝儀ヲ賀
スルノ更ナドヲ指シ吊トハ死去等ヲ吊フヲ云ヒ
存問トハ普通ノ寒暑ノ見舞等ヲ指称スルナリノ
八番(宮野)曰 地理科中ニ住居スル地方トア
ルハ即チ居国ノ更ノト同様カ將タ別ニ含蓄スル
ノ意義アルカノ番外(上村)答曰 敢テ格別ノ
差違ナシ併シ居国トスルトキハノ或ハ今濱高松
ノノ如キ国境住居人モ居国ノミニ偏依スルノ憂
モ無之トモノ保シ難シ故ニ住居スル地方トスレ
ハ夫レヲノ憂ナリ一層宜ヤノト考フノ

p 43

十四番(奥高)曰 世界及ヒ日本国ノ大綱ヲ授

クトアルハ世界ノ更ノヲ先ニ授ケ而シテ日本ニ
及ブノ意カ將タ何レヨリ授ルモ妨ケナノキカノ
番外(上村)答曰 先ツ世界ノ大ノ綱ヲ了知シ
而シテ日本ニ及ブナリ之レ地理ノ順序即チ粗ノ
ヨリ密ニ入ルノ主意ノ四十七番(室田)曰 日
用文字ヲ書取ラシムルノ精神ハ如何ノ番外(上
村)答曰 説明書ニモ有ル通り書ニ就ケハ讀得
ルモノ更ヲ記スルニ当テハ業已ニ習ヒ得シ処ノ
文字ト雖トモ望洋ノ難ノヲナスアルノ弊實際
往々ニ之レアリ故ニコノ弊ヲ除シカヲ為メニ書ノ
取ニ日用文字ヲ加ヘシナリ又平素目ニ触ルゝ実
物ニ就テモノ差支ナク書シ得ル様諸帳簿ノ表書
ノ等モ自由ニ書シ得ル様ニシタキナリノ二十一
番(大津)曰 慶吊存問ハ地方限リノ慣例アリ
テノ甲地方ニ無礼トスルモノヲ乙地方ノ礼式ニ
用ルモノ甚タ斟カラスノ今ヤ立案ノ御主意ハ慣
例ニ準ルノカ將タ一定ノ正礼ニ準ノラシムルノ
カノ番外(上村)答曰 土風ニ反スルノ異例ヲ
教ルハ好マシカラスノ併シ立案ノ趣意ハ左様ノ
儀式ヲ授ルヲ主トセズ慶ハ祝ノセサル可ラサル
モノ吊ハ悔ヤマサル可ラサルモノト云フ事ヲ授
ルノ精神ナリノ十八番(山下)曰 文学科中
作文ノ時間割ハ級ノ進ムニ隨テ減ノ縮スルハ何
等ノ理由ナルカノ番外(上村)答曰 別ニ理由
ナシ級ノ進ムニ應シ多課ノニナルヨリ勢ヒ止ム
ヲ得ズ時間ヲ縮小スルナリ作文ニカラヲ入ノレ
サルニ非スノ

p 44

○第三級前期

八番(宮野)曰 口授科中心氣ニ関スル事トハ
如何ノ番外(上村)答曰 心氣ハ即チ精神ナリ
故ニ医師学士官吏ノ教員等ノ如キ精神ヲ役使シ
心氣ヲ凝ラス業ヲナスモノノハ屢運動セサル可
カラズ否ラサレハ疲労ノ甚キヨリノ発病スル等
ノ事アリ杯ト説キ聞ス之レナリノ八番(宮野)
又曰 男女相應ノ字句トハ如何ノ番外(上村)
答曰 本縣第一師範学校編輯書牘文例ノニ拠テ
教授アレハ可ナラン相應トハ男兒ナラハ恐惶謹
言トカノ敬白トカト結尾スルヲ女子ナラハかし
こトカト結ヒ男兒ニノハ「一簡致呈上候」ト授

ルヲ女子ニハ「一筆参候 かしこ」ト授／ルノ
類ヲ男女相應ノ字句ト云フナリ尤徳川時代ニ行
レシ／如キかしこみ盡シノ文体ニハ之レ無ナシ
／三十二番（茶谷）曰 算ノ乗法ニハ上カケ
下カケ等ノ別アリ／之レハ何レヲ良シトスルヤ
且ツ問フ練習部ニ行ルノ乗／法ハ上ニカケカ
下ニカケカ／番外（上村）答曰 何レニテモ宜
シ練習部ニ於テモ一定ノ則ナ／シ／十四番（奥
高）曰 文学科中ニアル句章ノ結構トハ如何／
番外（上村）答曰 句章ノ結構ヲ教ユトアレハ
何トナク難サウ／ナレトモ左ニ非ス文ヲ作ルノ
階梯ヲ開ク為メ且ツハ文体ニ注目／セシメン為
メナレハ唯此文ハスクノ如キ結構ナルゾト云フ
／大体ヲ教ルノ主旨ナリ／四十七番（室田）曰
并セテ簡短ノ文ヲ作ラシムトハ書牘文ノ／簡短
ナルノヲ作ラシムルノ意カ／番外（上村）答曰
然ラズ四級後期ニ作ラシメシモノト同ジク／
p 45

讀本ノ句章ニ模擬シテ簡短ノ文ヲ作ラシムルナ
リ書牘／文ニハ非ズ／十五番（小竹）曰 地球
上人類ノ蕃殖／及ヒ其開化沿革ノ概略ヲ授ルト
ハ／口授スルノ御主意カ／番外（上村）答曰 略
史類ノ中ニハ東西洋共宇内ノ事ヲ抱括／セシモ
ノナシ故ニ当分種々ノ訳書ニ付口授ヲナスベシ
／十四番（奥高）曰 簡短ノ文トハ紀事文ナリ
ト四十七番へ御答弁ニ／成リタレトモ／男女相
應ノ字句ヲ書取ラシメ并セテ簡短ノ文ヲ作／ラ
シムトアレハ本員ノ愚考ニテハ如何シテモ書牘
文ラシク／思ハル依テ贅弁ヲ省ミストテ應承
リタシ／番外（上村）答曰 御尤御尋ネ文勢ヨ
リ見レハ成程書牘／文ラシケレトモ爰ハ矢張前
期ト同ク紀事文ナリ書牘文／ハ次期ニテ簡短ノ
書牘文ト明記シアリ尚ホ対照アリタシ／十番
（荒井）曰 容儀科中ノ起居挙動トハ如何ノモ
ノカ想／フニ男子ノ体操ニ代ヘシモノニ非ルカ
／番外（上村）答曰 起居挙動ハ即チ「タチ井
フルマヒ」ト云／フコトニテ足ノハコビ方又起
チ居ハリ或ハ人ノ前ヲ過ル／ニハ様々ノ心得
アリ杯ト授ルナリ体操トハ全ク性質ヲ／異ニ
ス併シ身体ニ関スルノ一点ハ同ジ／二十五番

（生熊）曰 貨幣紙幣ノ叟等ヲ知ラシムルトア
ルカ此／「事」ノ一字甚タ廣シ何様ノ事ヲ指ス
ヤ承リタシ／番外（上村）答曰 此處小日用手
近キモノ而已ヲ教ル積リ／

p 46

品位トカ何トカ名称ヲ特記スルトキハ勢ヒ煩雜
困難ニ涉ラ／サルヲ得ズ故ニ何トモ記載セズ單
ニ／事ト致シ置クトキハ何ニテモ手近キ必用ノ
叟／ヲ授ルニ便宜ナルヲ慮レバナリ／二十五番
（生熊）又曰 算術ニ乗法及其應用トアレトモ
此應／用ハ無論加減ノ應用モ授ル事ト信ズ果シ
テ然ルカ／番外（上村）答曰 此處ノ「其」ハ
唯乘法ヲ指シタルモノナリ何／トナレハ加減ノ
應用ハ此級ニ於テハ復習ニ當レハナリ故ニ記載
／セズ／十八番（山下）曰 簡短ノ記事文ノミ
ヲ作ラシメ何故ニ書牘文／ハ作ラシメサルカ／
番外（上村）答曰 記事文ノ体ハ前期ニテ略ホ
習熟／セリ書牘文ハ然ラズ一重ノ●文ナレトモ
●タ此本ノモノ／ヲ授ラナケレハ容易ニ能シ難
シ依テ此級ニテハ精々書／牘ニ要スル日用文字
ヲ主トシテ教ル積リ尚ホ説明書ヲ／御覽アリタ
シ／十八番（山下）又曰 此級ノ書取及作文ノ
科目ハ殆ト煩雜ニ涉リ／生徒ノ腦力ニ堪カタキ
ヤノ恐レアリ／如何／番外（上村）答曰 左様
ノ感覺モアレトモ彼我変易シテ之／レヲ授ルハ
却テ倦怠ヲ生セサルノ利益アリト番外ハ信／認
セリ／二十一番（大津）献議シテ曰 最早閉場
ノ定刻ナレトモ番外モ非／常ノ御繁務ニテ片時
モ早く本場ヲ謝セラレタキ御都／

p 47

合ノ由ナレバ各員トモ非常ノ御勉強ヲ以テ今少
シク／開會シタシ依テハ暫時休憩／ヲ与ヘラレ
タシ／會長（瀬川）曰 二十一番ノ献議ヲ採用
スルヲ可トスルモノ／ハ起立スベシ／十四番
（奥高）三十二番（茶谷）四十七番（室田）四
十八番（永井）／ノ外惣起立／依テ會長ハ二十
一番ノ献議ヲ採用スル旨ヲ演ベ畢テ休憩／ヲ命
ス干于時午后三時二十分各員退場ス／
午后三時五十分再開議／欠席未着午前ノ如シ／
午後三時五十分分析鳴リ會長會員併番外上村十六

等出仕及／勝山郡書記等各其席ニ着ク此時加藤郡長一行臨會各／員敬礼ス畢テ會長ハ前會ノ續キニ取掛ル旨ヲ演ベ且ツ／自分モ質問シタシトテ副會長ヲ呼テ其席ニ着カシメ起テ／三十一番ノ席ニ着ク／

○第三級 後期

八番(宮野)曰 通信ノ事等トハ如何／番外(上村)答曰 廣ク指シタルモノニテ彼ノ郵便規則ノ様ナ／六ヶ敷コトヲ云フニ非ス其大体ヲ知ラシムルナリ其他／電信ナラハ其功用丈ケヲ知ラシムルナリ渾／テ規則ニ係ル事ハ授ケサルノ主意／二十五番(生熊)曰 習字ノ時間割ヲ見ルニ男兒ハ六時女子ハ／三時ナリ其理由ヲ承リタシ／番外(上村)答曰 女子ハ三時ニテ宜シト云フニハ非レトモ男女共ニ／

p 48

一日ノ修業ノ五時間ナレハ女子ニ裁縫ヲ加シ丈ハ勢ヒ各／科ノ中ヨリ減殺セサル可ラス之レ止ムヲ得サルニ出シナリ／十番(荒井)曰 受取證文ニハ抵当借用ノ証文等モ含蓄／スル坎／番外(上村)答曰 抵当證文ナドハ規則ノアルモノナレバ様／ノ吏ハ教ルニ及バズ尤受取證文ヲ自在ニ書キ得ルニ至／レハ自然抵当証文ヲモ書キ得ルノ活力ヲ有ス故ニ別ニ／規則アル抵当証文ノ如キヲ教授スルハ好マシカラズ／三十一番(瀬川)曰 地理ト云ヒ歴史ト云ヒ同ク之レ讀書ナリ然ルニ／文学ニ入ラサルハ如何ノ理由ゾ／番外(上村)答曰 文学科中ニアルモノハ句章ノ拮構等／ニ至ルマデ授ルモノニテ余程叮嚀反覆セサル可ラズ之レ別／タザルヲ得サル所以ナリ故ニ地理歴史ノ書ハ文学ノ助ケハ／ナスモノナレトモ意味ヲ鮮スルマデ●上リ句章ノ拮構等小●／タサルナリ／十八番(山下)曰 地理歴史ノ兩科ハ意味ヲ鮮スル迄ニ止ルト／ナラハ試験杯ノ節ハ主意サヘ誤ラズンハ少々讀方ヲ誤／ルモ差支ヘサルカ／番外(上村)答曰 否ラズ讀方ヲ誤リテ右ヲ「ヒダリ」と讀メハ／從テ意義モ相違スル道理ナリ尚ホ熟考ヲ乞フ／

○第二級 前期

八番(宮野)曰 講談法トハ談話ノシカタヲ授

ルノカ文字ヨリモ／意義ヲ記憶セシメルノ手段カ／番外(上村)答曰 説明書ニモ記載ノ通り從來ノ講義トハ／異ニシテ一章或ハ一篇ノ全意ヲ會得シ且ツ自在ニ講談スル／様ニシタキノ主意ナリ熟語ノ意義ヲ授ルハ固リナリ／十番(荒井)曰 單簡ナル曲直線ト云フハ如何ナル意ナルヤ／番外(上村)答曰 漢語ニハ單ハ「ヒトヘ」ノ事ナレトモ爰ニテハ左／

p 49

ニアラズ單簡ハ即チ「テガル」ト訳シテ可ナラン故ニ手輕キ線／ト云フ意ニシテ單ヘナル線ト云フ意味ニアラズ／十七番(芳野)曰 庶物指教ニ理化ノ一班ヲ授クトアリ此一班トハ何ノ程ヲ度トスルヤ／番外(上村)答曰 例ヘバ火ノ燃ルハ／斯ノ理由ナルゾト云フコトヲ説クナリ尚／ホ物理問答ト云フ書アリ之レヲニヨリテ授ケラル々方宜シカ／ラン／四十七番(室田)曰 紀事文ハ單語ノ題ヲ与ヘ授ケシモノニ限／ルカ將タ其山ニ遊ブノ記トカ云フモノヲ作ラシムルモ可ナルカ／番外(上村)答曰 紀事文トハ廣キ指称ニシテ農家稼／穡ノ類モアラン其山ニ遊ブノ紀事モアラン又人ノ吏歴ヲ／手短ク作ラシムルモ可ナリ併シ余リ長々シキ立派ナモノヲ授ルハ好マシカラズ／要スルニ●●●●ナ●應セサル可ナリ／四十七番(室田)又曰 記事ト紀事トハ如何ナル差アルヤ／番外(上村)答曰 紀ノ字ハ多ク事柄ヲ書クニ用ヒ其山／ニ遊ブノ記ナドニハ紀ノ字ヲ多ク用井タリ其差別ハ／之レナキニ非レトモ亦山ニ遊ブニモ紀字ヲ書シ処モアレバー概ニ／断言シガタシ故ニ爰ニテハ敢テ深意ナシ字義ニ泥マズ／シテ可／二十一番(大津)曰 起チ廻リトハ如何ナル事ナルヤ／番外(上村)答曰 起チ廻リトハ火鉢ノ火ヲ継ギ屏風ヲ立ル／等総テ人ニ物ヲ進ルニアラズシテ／雜事ニ係ル事ヲ云フナリ／四十八番(永井)曰 水陸通運ノコトトハ如何／番外(上村)答曰 品物ヲ送ルニ如何ナスト云フ事ノ一班ヲ／知ラシムルナリ通運會社ノ規則ナドヲ記憶セシムルニ非ス／

p 50

十八番 (山下) 曰 曆ノ見解トハ如何ノ番外 (上村) 答曰 曆ヲ展シ寒ハ此処ニアリ土用ハ爰ニアリ入梅ハ此段ニ記シアリ及ヒ土用ハ何々ノ為メニ知ラネバナノヲヌト云フ迄ノ事ヲ授ルナリ尤其由テ来ル所以ハ教ヘサノルノ主意ノ十七番 (芳野) 曰 尋常科ニアリテ画ヲ授シハ高等科ノ階ノ梯カノ番外 (上村) 答曰 尋常科丈ニ卒ルノ生徒ト言トモ確乎用ヲノナスヤ必然ナリト云フノ主旨ニシテ決シテ高等ノ豫修ノニアラズノ十八番 (山下) 曰 裁縫科中育兒トアルハ如何ナルモノカ或ハ想ノフ乳母タルノ心得モ含蓄スルカトノ番外 (上村) 答曰 子ヲ育ルトキノ心得ヲ云フモノニテノ從來ノ乳母ナドハ只乳汁サヘ与レハ夫レニテ足ノレリトスルノ弊習モ之レナキニ非ス実ニ歎カハシキコトナリ故ニ爰ノニ云フ育兒ハ小兒ノ看護ヲ誤ラヌ様ニスルナリ尚ホノ保嬰新書等ヲ参考アリタシノ四十七番 (室田) 曰 傳染病ノ事トアルハ流行病豫防法ナドヲノ

p 51

教ルモノ歟／番外（上村）答曰 豫防法ヲ授ルハ実ニ一大事ナリ／故ニ目下適當ノ書籍モアラザルコト／ナレハ虎列刺豫防ノ如キハ本懸報告ニ依テ解諭アルハ可／ナリト雖トモ立案ノ主旨豫防ノ方法ヲ教ルニ非ズシテ豫防／ノ成サザル可ラサル理由ヲ會得セシムルニアリ豫防方法／ノ如キハ其次ナリ／

十四番（奥高）曰　口授科時間割中工商業ヲ課スル者ハ／十時トアリテ農業ヲ課スルモノニ時間ノ減殺ナルハ如何／番外（上村）答曰　農ヲ課スルモノニハ別ニ農算ヲ立テズ／之レ農業ヲ課スルモノニ時間ヲ減殺セサル所以ナリ工商ヲ／課スルモノニ至テハ算術ヲ一時間別ニ課セリ之レ減殺ノ／止ム能ハサル所ナリ／十五番（小竹）曰　普通ノ商語トハ如何／番外（上村）答曰　●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●云／フ適語アルカ如シ之レヲ云フナリ／十四番（奥高）曰　簡易ノ帳合法ト商業ノ帳合法トハ

如何ノ／區別アリヤ／番外（上村）答曰 簡易
トハ所謂「テガル」ナリ商業帳合法ハ／商業ニ
用ルモノニテ少シ高尚ナラザルヲ得ズ／十四番
（奥高）又曰 然ラハ記簿法カ／番外（上村）
答曰 記簿法即チ野ヲ画シテ記載スルモノノ図
／リ／十七番（芳野）曰 容儀ノ諸心得トアル
ハ餘リ区域廣シ乞フ／指稱ノ主タル所ヲ示サン
コトヲ／番外（上村）答曰 手近キ所ヲ指ス例
セハ貴人ニ對スル／ノ話ハケ様同等ノ人ニ對ス
ルハケ様男子ニ對スルハケ様ト云／フ様ニ大体
須要ノ所ヲ云フナリ／

p 52

四十六番(関)曰 保険トハ如何／番外(上村) 答曰 種々アリ其一ニヲ云ヘハ海上保険火災保險／人名保險等ナリ海上保險ハ船荷代價ノ幾分ヲ會社ニ収メ／テ保險料トシ万一難破ノ節ハ會社即チ保險人ヨリ全船／荷ノ代金ヲ受取ルナリ火災保險モ類推スヘシ人命保險／モ大同小異ニシテ本人死亡ノ后ハ遺族生計ノ資本金ヲ受取／ルナリ／四十四番(平田)曰 單純器トハ如何／番外(上村) 答曰 理学ニ謂フ所ノ單純器ニシテ即チ六種アリ／八番(宮野)曰 國政談略目中租税トハ如何／番外(上村) 答曰 人民タルモノハ租税ハ必ス収メサル可ラサルモノト／云フ理ヲ説キ政府ナクンバ人民幸福ヲ受ル能ハズト云フ所ヨリ／終ニ國税ハ何々ノ類地方税ハ何々ノ類ト物ニ触レ事ニ當／リテ之ヲ授ケタキノ主意主眼ハ尤此且リ●税ハ／租税●収●●●可ラサル●義ヲ説キ●クニ／アリ／十七番(芳野)曰 國政談ヲ講授スルハ集會條例ニ抵触セサルカ／聊カ惑フ所アリ敢テ質ス／番外(上村) 答曰 少モ該例ニ抵触セズ生徒ヲ集メテ政談ヲ講授ス／ルハ聴衆ヲ集メテ政談ヲ論議スルト大ニ性質ヲ異ニス尚ホ集／會條例ト云フ文字ヲ詭味アラハ蓋シ思ヒ半バニ過キザラン／十八番(山下)曰 國政談ノ授ケ方ハ大略ニ止ルカ細密ニ授ルカ／番外(上村) 答曰 大抵適度ヲ見計ヒテ授ル可ナリ細密ニ過レバ／専門科ノ如キ姿トナリ疎略ニ過レバ実用ヲナサズ依テ一級ハ／尋常科ノ上塗ナレバ普通知ラザルヲ得ザルモ

ノヲ簡約ニ説／キ聞カスノ精神ナリ乞フ實際教授ノ節々深く用意アラ／ンコトヲ／十七番（芳野）曰 政府ノ組立トハ如何／

p 53

番外（上村）答曰 国アレハ政府ナカル可ラサル大体ノ道理／ヨリ布テ中央政府ハ一官九省ニ／院等ヲ以テ組織シ地方政府ハ庶務学務等ノ各課ヲ以テ組立ア／リト云フ事等ノ普通通知ラサル可ラサルノ要領ヲ教授スルナリ／十四番（奥高）曰 人民ニ義務ノミヲ授ケテ権理ヲ授ケザルハ如何ノ／目的カ／番外（上村）答曰 爰ハ主トシテ国政ノ目的ヲ以テ目ヲ掲ケタリ／故ニ権理目ヲ明示／セス然レトモ義務ト云フコトヲ授ルニ当リ権理ノコトニ布／及スルハ固リ妨ケナシ決シテ権理ヲ知ラシメザルノ／主意ニアラズ／三十番（徳木）曰 算術科ニ開平方ノミヲ授ケテ開立方ニ及バザ／ルハ如何／番外（上村）答曰 顆算ノ開立方ハ余程困難ナリ之レ開立方授／ケサルノ主意／十四番（奥高）献議シテ曰 本日ハ余程時刻モ移リタレハ之レニ／テ閉場ヲ命セラレタシ／爰ニ於テ満場欣然トシテ十四番ノ献議ヲ採用アラ／ンコトヲ要ム依／テ副會長ハ多数ノ望ニ應シ之レニテ閉會ノ旨ヲ演ベ各員／退場ス于時午後六時二十分／本日傍聴人午前午后共七十名／

p 54

鳳至珠洲郡教育協議會日誌第六号

明治十三年七月十六日午前八時五十分開議／
欠席 壺番 三番 十二番 二十二番 三十三番／三十九番 四十五番 五十番／
未着 五番 十六番 十九番 二十四番 二十六番／三十七番 四十二番 四十三番 四十九番／

午前八時五十分會長會員及番外上村十六等出仕并ニ勝山郡書記等／各其席ニ着キ一同正礼ス畢テ四番組合惣代河内勇作ヲ書記／ヨリ各員へ紹介シ抽籤ヲ以テ六番ノ席ニ着カシム／會長（瀬川）曰 前日ノ續キ尋常小学教則第一級後期ノ／ヶ条ヨリ質問ニ取掛ル可シ各員例ニ抛テ不審

ヲ質問／アリタシ／

○第壺級後期

十八番（山下）曰 農業科へ漁獵ヲ付セシハ如何／番外（上村）答曰 農業ト漁業トハ固リ差違ナキニ非スト雖トモ海辺／ニ於テ農漁兼業ノ者モ往々ニ之レアリ且其業タル相類スルヲ以テ／

p 55

農業科へ附属セシナリ／十四番（奥高）曰 植物ノ疾病トハ何ヲ云フヤ／番外（上村）答曰 氣候ニ依テハ木葉ニ蟲害ヲ生スル吏／間々我人ノ実験スル所ナリ／之レヲ指シテ植物ノ疾病ト云フナリ／二十五番（生熊）曰 經濟ト云ヘバ農工モ込アルコトト信ズ然ルニ本／科略目中農家經濟工家經濟ト區別アリ／右ノ区分ハ如何相心得テ宜キヤ／番外（上村）答曰 成程廣ク云フトキハ區別ナキカ如シ併シ此經／濟ハ農ハ農工ハ工各々専門ニ授ケタキノ主意ニシテ例セバ／農ナレハ糠ハ何々ニナル者藁ハ何々ノ用ヲナス者故ニ無益／ニ棄ツ可ラズト説キ論スノ見込／四番（石川）曰 氣候ノ變化ハ物理ニ渉ル様ニ思ル然ルニ農業／科略目中ニ●●附属主意カ／番外（上村）答曰 固ヨリ物理上モ解キサレバ●●サレドモ●●所ハ長／ク雨フレバケ様ナル害ヲ生シ長ク旱リスレバケ様ナル害／ヲ生スト云フ事ト及ヒ其処置方ノ概略ヲ説キ授ルナリ／四十七番（室田）曰 家畜類及植物ノ疾病処方トハ如何／番外（上村）答曰 一例ヲ挙テ答弁セシ今茲ニ一ノ家牛アリテ疾／病ノ為メニ斃死セリ然ルトキハ死体ヲ土中ニ埋メ而後何々ノ／薬品ヲカケ置クベシ杯云フコトヲ授ルヲ／処方ト云フナリ／四十七番（室田）又曰 魚類製法トハ如何ナル吏ヲ云フヤ／番外（上村）答曰 魚ノ樽結或ハ塩引等ノ類ヲ云フナリ／十四番（奥高）曰 媒助法ハ農業上余程有益ノモノト聞ク然ルニ此所／ニ明記ナキハ如何ノ理由カ愚考／ニテハ何レニカ含マセアル様ニ存ズ果シテ然ルカ／番外（上村）答曰 然リ栽培等ノ中ニ含有スルナリ／

p 56

十四番(奥高)又曰 然ラハ魚類ノ媒助ハ如何ノ番外(上村)答曰 魚種蕃殖法中ニ含蓄セリノ六番(河内)曰 国政談中戸籍トハ如何ノ番外(上村)答曰 簡短ニ其大要ヲ授ルノ主旨ニテ譬ヘバ我々人民ノハ皆戸長役場ノ帳簿ニ日本国民タルノ名籍アルモノ若シ無ノ之ニ於テハ日本人ノ証徴ナシ等ノ類授ルナリノ六番(河内)又曰 所有法ハ何ゾノ番外(上村)答曰 自己ノ所有品ハ私有ノ權アリ又ハ動産トハ如斯モノノヲ云ヒ不動産トハ如斯モノヲ指称スル杯ノ更ヲ云フノ八番(宮野)曰 商業科略目中ニ郵便トアルハ何程ヲ度トシテノ教ル図リカノ番外(上村)答曰 手紙ヲ差立ルトキハ如何スルトカノ大体ヲ教ルノナリ郵便規則ノ教ルコト如キ細密ニ涉ラサルヲ良シトスノ十番(荒井)曰 束約法トハ如何ノ番外(上村)答曰 約束ハ人民タルモノノ最モ守●●ヘキ一大義務ノナリ故ニ一ヒ結約セシトキハ必ズ将来ニ履行ス可キ者ナリ等ノ大ノ体ヲ教ルナリノ十番(荒井)又曰 貨幣ノ權衡トハ如何ノ番外(上村)答曰 貨幣ト紙幣ノ鈐合ニシテ貨幣ノハ紙幣ニ對シテ実価ヲ異ニストカ銀ハ金ヨリ少ナルトカノ類ヲ云フコト等ニテ即チ經濟上ヨリ解キ聞カスルノ主意ノ三十二番(茶谷)曰 手形トハ如何ノ番外(上村)答曰 酒菓子等ノ手形ヨリ銀行ニ用ル手形ニ至ルノ迄悉皆商民ノ便利ヲ計ル者ヲ授ルノ精神ナリノ二十五番(生熊)曰 當級マデノ時間割ヲ見ルニ女子ノ習字時間ハノ男児ニ比較スレハ各級挙ク減殺シアリ而シテ爰ノニ至テ時間ノ彼是同一ナルハ如何ノ番外(上村)答曰 他ノ科目ノ彙カラサルヨリ女子ノ習字時ノ

p 58

○尋常小学科書目等一覽表

答曰 最初ヨリ書籍ニ着テハ難儀ナレハ本図ニ
／付キ音声ヲ匡ストキハ将来読書ノ一助タラシ
コトヲ／慮テナリ／十四番（奥高）曰 心得ノ
為メ質問シタシ教授例ハ必ス準拠シテ可／ナル
モノカ／番外（上村）答曰 一ノ教育書ト見做
シ取捨アリテ可ナリ／四十七番（室田）曰 ●

ヲ示ス図リ尤木材ノ如キハ文部省出来／ノ見本品アリ之レヲニ依テ可ナラン／三十二番(茶谷)曰 史略ヲ省キテ萬国史略ヲ加ヘラレシハ／如何ノ見込カ／番外(上村)答曰 史略ハ独リ文体ノ正シカラサル而已ナラズ間々／不都合ノ箇所モ之レアレバナリ／六番(河内)曰 色図ノ授ケ方ハ旧ノ如クニシテ可ナルカ／番外(上村)答曰 文部省ノ色図ノ授ケ方ハ高尚ナル呼声ヲシ／故ニ土地ニヨリテ蒲トカ何トカ云フ様ナル誰レニモ鮮シ易キ呼声ヲ／用ル様ニ致シタキナリ／四十一番(大島)曰 本表ニ明記シアル東京師範学校編輯小学續本／トアルハ即チ師範学校續本トアルモノニ当ルカ／番外(上村)答曰 然リ御不審ノ起因ハ御尤素ト此本ノ編輯ア／

リシ頃ハ未タ地方ニ師範学校ノ設ケナシ独リ東

問ヲ減殺セサルナリ／六番（河内）曰 度量衡
及ヒ其用法トハ如何シテ授ルヤ／番外（上村）
答曰 用法ヲ授ルハ度ハ度ヲ用ヒ衡ハ衡ヲ用ヒ
実／際ニ就テ教授スルヲ可トス／六番（河内）
又曰 海關稅トハ外國ヨリ我カ横濱神戸等ノ如
キ／貿易市場ヘ物品ヲ運ヒ入レルトキノ稅ニシ
テ經濟上ヨリ到／底此稅ハ拂ハサル可ラサルノ
理取立サル可ラサルノ理ヲ解キ輪／

京ニ特置ア／ルノミ故ニ單ニ師範学校編輯讀本
ト記シアルナリ因テハ今日東京師／範学校云々
ト記シアルモ昔時ノ東京ノ二字ヲ冠セザルモ／
時ニ敢テ名称ヲ異ニスルノミ／其实ハ同一ナリ

○石川県高等小学教則

三十五番（瀬戸）曰 簡易ナル教科ヲ卒業セシ
モノトハ如何／番外（上村）答曰 私学校私塾
等ニテ尋常科ヨリモ簡易ナル／教科ヲ受ケシモ
ノヲ指スナリ／八番（宮野）曰 「時宜ニヨリ
最初ノ学期ヲ延ヘ学力ノ所欠ヲ補ハ／シムルコ
トモアルヘシ」トハ如何ノ叵カ／番外（上村）
答曰 最初ノ学期ヲ述ベレバ易チ四級前期ノ六
ヶ月／・・・・／学力未熟ノモノニハ時宜ニ
ヨリ学／期ヲ延バシ充分ノ時間ヲ以テ学力ヲ付
与スルノ主意ナリ／三十二番（茶谷）曰 学力
ノ未熟トハ如何ナル法ニテ徴セラルルヤ／番外
（上村）答曰 尋常小学二級位ノ学力ヲ有スル
モノナルカ否／ヲ試ルナリ／十四番（奥高）曰
試業及第セシ者ト雖トモトアルハ如何試業ニ及
第／セシモノモ尚ホ学力ニ所欠アルカ／番外
（上村）答曰 試業ノ際其学力ハ現ハレルモノ
ト雖トモ固ヨリ／尋常科ヲ履マサルモノナレバ
自ラ学科ニ長短アルハ必然ナリ／故ニ算ニ長ス
ルモ作文ニ短ナルモノアラン因テ其短所ヲ補ハ
／サルヲ得サルヲ以テ此明文ヲ加ヘシナリ／二
十一番（大津）曰 簡易科ヲ卒業セシモノトハ
試験ニ因テ之レヲ知ルカ將／タ証書ノ有無ニヨ
ルカ／

p 60

番外（上村）答曰 高等科ニ入ラントスルモノ
ハ先ツ証書ヲ檢スル可ナリ／勿論公立学校卒業
ノモノハ必ス證書ヲ有スベキ筈又私塾等／ニテ
卒業ノモノト雖トモ概ネ卒業証ヲ有スルナルベ
シ若シ無之モ／ノハ師ノ濫翰ニテモ持参スヘキ
モノナリ然ラズハ濫リニ高等ヘ／入学ヲ請願
スルモノ輩出セン故ニ証徴ナキモノハ拒絶シテ
／モ可ナランカ／四十一番（大島）曰 算術ハ
筆算ヲ用井テ授ルモノトストアレトモ既ニ／尋
常科ニハ残ラス顆算ヲ用井テ授ケ来リシモノナ
レバ之レニ次／テ顆算ヲ授ルハ一層深奥ヲ弁知

シ最モ可ナラズヤ然ルニ高等ニハ／更ニ筆算ヲ
ノミ授ルハ顆算ニ比シテ何程ノ大益アルヤ／番
外（上村）答曰 顆算ハ日用ニ便ナリト雖トモ
学文上ノ算／術ハ筆算ニ及バズ故ニ尋常科ニハ
顆算ヲ授ルヲ可トスレトモ高等科ニ／ハ筆算ヲ
良シトス／四番（石川）曰 教科ハ云々ノ項ニ
單ニ一日五時間ノ終ワルヲ可トスレドモ修業ト
ス●故尋／・・・・／番外（上村）答曰 高
等学科ノ行ハレル土地ハ必ス貧地寒村ニアラ／
サル可シ故ニ一日五時間ノ業ヲ受ル能ハサル生
徒ハ無之筈ト／信セリ之レ但書ヲ附セサル所以
ナリ／

○高等科第四級前期

十四番（奥高）曰 地理科中ノ地文トハ如何ナ
ル学科カ／番外（上村）答曰 地理学中ニ一種
地文学ト称スルアリ總テ／天然ニ関スル部分ニ
シテ例セハ山川海峡等ノ如キ是レナリ地／理学
中ニテモ人事ニ関スルコト及都府等ハ地文ト云
ハサル／ナリ／十番（荒井）曰 雅馴ノ文章ト
ハ如何／番外（上村）答曰 雅馴トハ文体ノ餘
リ卑シカラス且ツ正シクシテ／明了ナルモノヲ
云フ彼ノ凡雅ニテ故事等ヲ／挿シモノヲ云フニ
アラズ／

p 61

三十二番（茶谷）曰 徳義ニ関スル論説ヲ知ラ
シムトハ其論説ノ当否ヲ／判断セシムルノカ
番外（上村）答曰 否ラズ知ラシムトハ即チ承
知セシムルナリ／十番（荒井）曰 修身ノ科ニ
良心トアルハ如何程ノ処ト適度トスルヤ／番外
（上村）答曰 爰ハ書ヲ讀マシムル所ナレバ尋
常科ト違ヒ相／應ニ高尚ナル所ヲ詳知セシムル
ナリ／十四番（奥高）曰 画学ニ動植物各部ノ
輪郭ヲ授クトハ葉ハ葉／足ト足ト一個一個ニ付
テ授ル見込カ／番外（上村）答曰 然リ／三十
二番（茶谷）曰 容儀科ニ配膳方ニ慣レシムト
ハ如何／番外（上村）答曰 配膳方ノ古式ヲ用
井ルニ非ス主要トスル所ハ容／体ノ起居挙動ヲ
矚ルニアリ尚ホ「女ノ矚」ト云フ書ヲ熟覽／ア
レハ蓋シ釈然タラン／會長（瀬川）曰 時已ニ
十二時ニ及バンサレバ之レニテ午餐ト／・・・・

／正午ヲ報ズ／午後壹時三十分再開議／未着午前ノ如シ／午後壹時三十分析鳴リ會長會員并ニ番外上村十六等出仕及ヒ／勝山郡書記等各其席ニ着ク此時加藤郡長等臨會一同教札ス畢テ會長（瀬川）ハ／少ク質問シタキコトアリトテ席ヲ副會長（大津）ニ譲リ起テ／三十一番ノ席ニ着ク／

○高等科第四級後期

三十一番（瀬川）曰 容儀科中飲食法ニ慣レシムトハ如何／番外（上村）答曰 生徒各自ノコトニテ即チ箸ノ取方等ヲ授ルコト／ナリ／十番（荒井）曰 亜細亜洲ノ誌及ヒ地圖ヲ授クトアルハ亜細／亜一洲ノ地圖カ將タ全世界ノ地圖カ／

p 62

番外（上村）答曰 亜細亜一洲ノ地圖ヲ授ルナリ当級ニ授ル新／撰中地理書モ亜細亜ノミナレバナリ／三十二番（茶谷）曰 算術ハ男女授目ヲ異ニシテ女子ハ男兒ヨリ／卑近ナリ之レハ女子ニ算術ノ必要ナラサルニ由ルカ／番外（上村）答曰 女子ハ裁縫ヲ課スルニヨリ止ムヲ得ズ算／術ノ時間ヲ減殺セリ故ニ時間ヲ減縮スレハ勢ヒ／算術ヲシテ男兒ヨリ卑近ナラザラシメント欲スルモ／得ベカラス之レ爰ニ及ブ所以ナリ／

○高等科第三級前期

十七番（芳野）曰 四級後期ニモ三級前期ニモ算術ハ同ク分数ト／ノミアリテ其區別ナキハ如何／番外（上村）答曰 初ハ式後ハ應用ト云フ様ニ區別シテハ實際授／業ノ区域ヲ狭フシテ不都合ナリ故ニ前ハ式ヲ主トシテ應用ヲ／……／……／タシ従前ハ文法問答等ノ書ヲ授ケシヲ模範教則ニハ削除／シアリ其理由如何／番外（上村）答曰 従前文法書ヲ授ケシ結果ヲ視ルニ徒ニ該書中ノ／コトノミハ鮮シ得ルモ他ノ活用ヲナス能ハサルノ通弊アリキ故ニ／此弊ヲ除ンカ為メ且ツハ故ラニ書目ヲ明記セズトモ文学科ニ於テ／其主要ヲ會得セシメ活用ニ困難セ／サル様注意ヲ／御授ケノ義ハ勿論ト存ズ固リハ品詞／文典ノ如キハ教科書ニ組入タキ立案者ノ精神ナレトモ従前ノ弊ヲ矯メ迂遠ニ流レ

ザル様ニ致シタキ見込將タ／就テ一言セン文学科ト称スル以上ハ仮令明記シ無之モ文法ヲ／教ヘサレバ其結果各実相適ハザルニ至ラン之レ智者ヲ／俟タズシテ知ルベキナリ請フ各員此意ヲ諒セラレタシ／

p 63

○高等科第三級後期

十七番（芳野）曰 歴史科ニ地球上人類ノ蕃殖法云々トアルハ尋／常科ノ通り恰当ノ書籍出版マデハ口授スルノ意カ／番外（上村）答曰 然リ／三十二番（茶谷）曰 地理歴史ハ相竝テ欠ク可ラサルモノト思フ然／ルニ歴史ハ稍ク比級ヨリ授ルノ主意ハ如何／番外（上村）答曰 夫レハ順序配置ノ都合ニヨルナリ其順序／トハ地理ヲ学ヒテ歴史ニ及ブ等ノ事ヲ云ヒ配置トハ比級ニ／甲ノ書ヲ組入アリ之レニ乙ノ書ヲ加ヘテハ為メニ比一級／ヘ書籍重ヲニシテ他ノ一級ハ書籍輕少トナル等ノ事ヲ／云フ之レヲノ御心得ハ教則ヲ可否添削スル會員諸君ノ飽マテ熟／知アルコトト存ス／三十一番（瀬川）曰 教科ノ組立ヲ見ルニ物理ヲ後ニシテ化学／……／……／慣習ニ泥ミシカハ知ラザレトモ何トナク化学ハ物理ヨリモ六ヶ敷ヤ／ト存ズ併シ化学ハ先ナリトノ論モアレバ旁番外ノ示教／ヲ乞フ／番外（上村）答曰 成ル程物理ハ輕クシテ化学ハ重キ様ニ見ユレ／トモ大ニ否ラズ化学ハ獨個ニ学ビ得ルモ物理ハ化学ニ通照セサレ／ハ其深奥ヲ究ムル能ハズト之レニテ化学ハ物理ヨリ輕キ事知ル／ベシ加之理論ニ似タル様ナレトモ物ニハ順序配置ノアル／事ハ地理歴史ノ項ニ弁明セシカ如シ／之レ化学ヲ先ニセシ所以ナリ／

○高等科第二級前期

十四番（奥高）曰 裁縫科ニ合羽ノ縫方トアルハ其縫地ハ何／ニテモ可ナルカ且ツ問フ合羽トアルハ蝙蝠合羽等モ込アル意／カ／

p 64

番外（上村）答曰 合羽ナレハ地ハ何ニテモ可ナリ又蝙蝠合羽ノ洋服ニ属シ爰ニテハ合羽ト見做スヲ得ズ／十七番（芳野）曰 本員ハ文学

ルモ差問ナシ何ト／ナレバ直ニ繡ニスル程ノ下
画ヲ描クハ容易キ業ニアラズ故ニ教／師ニ下画
ヲ描キモラヒ而シテ繡ヲナサシムルノ／主意ナ
レハ画学ノ下画ト裁縫ノ繡トハ／互ニ相関係セ
ズ依テ下画ハ画学ノカニ應シ繡ハ裁／縫ノカニ
應シテ授ル可／

p 67

○高等科第壹級後期

本期ハ質問ナシ／

○高等小学教科書目一覽表

四十一番（大島）曰 蒙求ヲ入レシハ文章学ヲ
博クスル為カ將タ／漢字ヲ進歩セシムル為カ／
番外（上村）答曰 説明書ニモアル通り文学ノ
一種ナレバ事柄／ヲ主トセズ讀法ト文法トヲ解
釈セシムル為メナリ固リ漢文上ヨリ／云へバ蒙
求ノ如キハ左ノミ尊重スベキモノニモ非レトモ
事柄／モ可ナリ児童ニ適當シ文章モ可ナリ雅馴
／・・・・・・／休憩ス可シト演ベ

各員退場ス于時午后三時十五分／午后三時五十
五分再開議／未着 午前ノ如シ／三時五十五分
撃拆ノ報道ニ依リ會長會員并ニ番外上村／十六
等出仕及ヒ勝山郡書記等例ニ拠テ着席ス／此時
加藤郡長等再ヒ臨會一同敬礼ス畢テ會長ハ之レ
ヨ／リー昨日ノ續キ即チ逐條討議ニ取掛ル旨ヲ
述ベ／議案朗讀ヲ書記ニ命ス／十番（荒井）曰
議案朗讀ニ先チ一言ヲ献ジタシ時已ニ四時／ニ
モ垂ントシ且ツハ番外ヨリ縷々ノ説明ニテ少ク
鄙見ヲ／異ニセシ所モ無之ニ非レバ之レ／ニテ
本日ノ會ヲ閉ヂラレ熟考ノ餘間ヲ与ヘ／

p 68

ラレタシ切ニ望ム會長ニ於テ御採用アランコト
ヲ／八番（宮野）十四番（奥高）十八番（山下）
四番（石川）ノ各員ハ各／十番會員ノ献議ヲ採
用アリタシト要請ス／會長（瀬川）曰 十番ニ
同意ノモノハ起立／スベシ／起立 十九名／會
長（瀬川）ハ過半数ノ要メニ依リ之レニテ閉會
スベシ／ト演ベ各員退場ス時已四時ヲ過ル事十
五分ナリキ／本日傍聴人 午前午后共 四十名
名／

珠洲郡教育協議會日誌第七号

明治十三年七月十七日午前九時四十分開會／

欠席 壹番 十二番 二十二番 二十八番
二十九番／五十番／

未着 五番 十六番 十九番 二十四番 二
十六番／三十七番 四十二番 四十三番 四十
九番／

午前九時四十分會長會員及番外上村十六等出仕
并ニ勝山郡書記等／各其席ニ着キ一同正礼ス畢
テ會長ハ過日來／遷延セシ第五組幹事ヲ撰挙ス
ベキ旨／ヲ演述シ而後書記ヲシテ投票ヲ調査セ
シム其当撰／人左ノ如シ／第五組幹事当撰
四十七番會員 室田勵聴／四十五番（中村）曰
議案朗讀ニ先チ献議シタシ曩キニ本郡宇／出津
ニ於テ我カ彰信校組合并ニ順天院内加夫刀ノ四
組合／協議ノ上聯合教員ノ集會ヲ開キ焦心刻苦
辛フシテ土／

p 69

地適應ノ教則ヲ編輯セリ然ルニ今ヤ本會ノ開設
ニ遭ヒ／為メニ本員等四組合教員ノ協議ヲシテ
空ク水／泡ニ属セシメントス遺憾モ亦甚シ依テ
ハ切ニ望ム本會ニ於テ／書記一時ノ繁忙ニ拘ラ
ズ該教則ヲ朗讀サセ各員ノ参考／ニ供セラレン
コトヲ此段會長ヘ献議シ併セテ御採用アランコ
ト／ヲ渴望ス／三十二番（茶谷）曰 第二次會
ヲ過日ノ議シ續キヨリスルハ通常／ノ順序ナレ
トモ本會ノ如キハ番外臨會ノ遅延ナリシヨリ／
立案ノ趣旨ヲ知ラズシテ議了セシノ恐レ之レナ
シトモ保シ難シ／依テ議決セシ所ハ僅々一項ニ
過キサレバ更ニ第二次會ヲ最初ヨリ／討議シタ
シ此段献議ス／四番（石川）二十番（慶塚）ハ
之レヲ可トシテ献議ノ採用ヲ請求／シ十七番
（芳野）十四番（奥高）八番（宮野）ハ之レヲ
非トス／・・・・・・／付テ考一考スレハ免テモ
三十二番ノ求メニ應シ難シ將タ四十五番／ノ献
議ハ各員ノ意見ニ拠テ何トカ見据ヲ定メタシ依
テ／ハ諸君ノ意見ヲ承ラン／四番（石川）曰 四
組合ノ教員諸君カ辛苦勉勵ノ結果トアレバ／本
員ハ是非考按ノ材ニ供シ／タシ乞フ書記ヲシテ
朗讀セシメラレンコトヲ／三十二番（茶谷）之

レニ同意シ八番（宮野）十七番（芳野）二十五番／（生熊）ハ本會ニ朗讀スベキ限リニ非ストシ布ヒテ／之レヲ採用アルハ議事定則ニ反戾セザルヤト演ブ／會長（瀬川）四十五番ヲ呼テ到底本會ニ朗讀スベキ限リニ非レバ／會員扣席ヘ御廻シノ方可ナリ依テ献議ハ採用セズト演述／
p 70

シ書記ヲシテ議案ヲ朗讀セシム／

一 毎期六ヶ月ノ修業ト定ムルト雖云々／全會異議ナク原案ニ可決ス 依テ會長ハ書記ヲシテ次項／ヲ朗讀セシム／

一 課程ニ掲ル時間ハ云々／

十番（荒井）曰 「課程ニ掲ケル時間ハ各科ノ強弱ヲ比例センカ／為ニ設クル者ナリ」 トシ固之ヲ斟酌スルヲ得ベシノ数文字／ヲ削除シタシ／本郡ノ実況ニテハ未タ輒ク斟酌ノ文字ヲ用ユ可／ラサルナリ／十八番（山下）十四番（奥高）之レヲ可トス／……／三十二番（茶谷）……七番（館谷）二十五番／（生熊）四十七番（室田）十五番（小竹）各原案ヲ可トシテ十番／十七番ノ説ヲ駁シテ十番（荒井）十四番（奥高）ハ実況ヲ説キテ／持説ヲ維持シ十七番（芳野）ハ到底自論ヲ伸バス能ハズトテ／前説ヲ取消シ更ニ原案ヲ可トス／會長（瀬川）曰 最早決議ニ取掛ラン先ツ十番ノ説ヲ可ト／スル者ハ起立アレ／起立 十番（荒井）十四番（奥高）十八番（山下）／會長（瀬川）又曰 原案同意ノ者ハ起立スベシ／右三名ノ外 惣起立／過半数ニ付キ原案ニ決ス／

一 裁縫容儀ノ両科ハ云々／

全會一致 原案ニ可決ス／

p 71

一 男児ハ本人ノ望ミ云々／

十番（荒井）曰 但書ヲ削除シ三科兼教ノ主旨ニ改メタシ／十四番（奥高）曰 男児ハ土地ノ状況ニ應シ云々ト修正シ「本人ノ望ミ／或ハ」ノ七文字ヲ削除シタシ／三十二番（茶谷）十番ヲ賛成シ／八番（宮野）ハ十番ヲ駁シテ原案ヲ可トシ四番（石川）ハ十四番ノ説ニ同意ス／十番（荒井）曰 前説維持ノ為メ一言セン尋常

高等共ニ小学ハ普／通教育ヲ主旨トス故ニ農学工学杯ト專／門ニ分ツテ授ルハ不可ナリ／番外

（上村）曰 専門トシテ授ルニ非ズ実地應用ノ活力ヲ附与セン／カ為メノ主旨ナリ故ニ二三科ヲ兼テ授ルモ妨／……／……／土地ノ状況」ノ七文字ヲ削リタシ／四十一番（大島）曰 各員ノ説挙ク非ナリ十番ノ三科兼テ授ルノ／論ハ餘程究屈ニシテ十四番ノ本人ノ望ミヲ削ルトハ／相應ノ壓制説ナリ又二十五番ノ／説即チ土地ノ情況ニ應ジノ一段ヲ削ルトノ議ハ本人志望ノ／外ハ土情ヲ斟酌シテ実地適應ノ／教育ヲ施ス 能ハザル／ノ死論ニ近シ因テ本員ハ／究屈ナラズ壓制ナラズ將タ活力ヲ／有スル原案ヲ可トス／十五番（小竹）曰 本員ハ十番十四番ヲ合セテ賛成ス故ニ一動議／ト見做サレタシ／十八番（山下）曰 本員ハ宿論モアレトモ熟考スルニ四十一番ノ講釈／

p 72

實ニ至当ナリ依テ原案ヲ可トス／會長（瀬川）ハ十五番、二十五番、両動議ハ賛成者ナキヲ以テ消滅ノ旨ヲ／告ケ左ノ三説ニ起立ヲ命ス／十番ノ動議ニ起立スル者／十番（荒井）三十二番（茶谷）／十四番ノ動議ニ起立スル者／四番（石川）十四番（奥高）十五番（小竹）／原案ニ起立スル者／右五名ノ外惣起立／過半数ニ原案ニ可決ス依テ會長ハ書記ヲシテ次項ヲ朗讀セシ／ム／

一 口授ニ係ル云々／

本項ハ十五番（小竹）ヨリ「及ヒ試業」ノ四字削除説モアリタレトモ賛／……／書記ヲシテ次項／朗讀セシム／

一 算術ハ算ヲ用井テ授クル者トス／

十八番（山下）曰 算用数字ノ綴リヲ加ヘタシ／番外（上村）曰 算用数字杯ハ別ニ教則ニ掲ケズトモ實際必ス／授教スベキ者ナリ故ニ原案即チ教則中ニ包含シアル事ト御了知相成／タシ／八番（宮野）曰 羅馬数字ヲ授ル事ヲ加ヘタシ／三十二番（茶谷）ハ十八番ヲ賛成シ十四番（奥高）十七番（芳野）十番（荒井）／四番（石川）二十五番（生熊）ハ原案ヲ可トシ六番（河

内) ハ八番同意ノ旨ヲ演ブ／會長(瀬川)曰
最早決議ノ起立ヲ命ジ午餐ヲ喫セン先ツ十八番
ノ説算用数字ノ綴リヲ加ルヲ可トスル者ヲ起
立アレ／起立 十八番(山下) 三十二番(茶
谷)ノ小数ニ付消滅次ニ八番ノ説羅瑪数字ヲ授
ル事ヲ加ルヲ可トスル者ヲ／

p 73

起立セシム／起立 六番(河内) 八番(宮野)
ノ小数ニ付消滅 次ニ原案ヲ可トスル者ヲ起立
セシム／前四名ノ外惣起立／依テ會長ハ原案可
決ノ旨ヲ演ベ各員対象于時零時二十分ノ午后壹
時三十分再開議ノ未着 午前ノ如シノ午后壹
時三十分會長會員并番外上村十六等出仕及勝山
ノ郡書記等例ニ依拠テ着席シ一同正礼ス畢テ會
長ハ書記ヲシテ／左ノ議案ヲ朗讀セシム／

一 每期ノ終リニ試業シ云々／

全會異議ナク原案ニ可決ス／

一 高等小学科ヲ修メント欲スル者ハ云々／
十七番(芳野)曰 第二級ヲ卒業セン●●トアル
●●第壹級ヲ卒業／……………／十四番(奥
高) 四十七番(室田) 四十五番(中村)ハ之レヲ
賛成シ六番(河ノ内) 三十二番(茶谷) 四番
(石川)ハ原案ヲ可トス／七番(館谷)曰 「高
等小学科ヲ脩ルモノハ」ト修正シ欲スルノ字ヲ
ノ削リタシ其他十七番同意ノ十番(荒井)曰 予
ハ十七番ノ賛成者ナルカ図ヲサリキ此項ニシテ
原ノ按賛成者ノアラントハ実ニ意外ノ至ナリ
抑モ前會ノ決議ニ於テ原案ヲ修正シ課程ヲ八
級ニ区分シ一級ヲ別科ニセシヲ四番三十二番等
ハ忘ノ失セシカ 今ニシテ本項ヲ修正セズンハ
其害果シテ如何懔ノ慨ノ餘リ敢テ一弁スノ十八
番(山下)曰 十番ノ説眞ニ然リ如斯ノ項ハ敢
テ可否決ヲ／起立ニ問フニ及バズ無論一級ト修
正シテ可ナリ／會長(瀬川) 十八番ノ説ヲ可ト
シ此俟修正シ置クベシノト演ブ爰ニ於テ二十一
番(大津) 四十七番(室田) 等ヨリ是非ノ

p 74

起立ニ問ハサル可ラサル旨ヲ論迫スレトモ會長
ノハ斷乎トシテ之レヲ拒絶シ次項ニ移ル旨ヲ告
クノ

一 尋常小学科ヲ履ミタルノミニテ云々／
二十一番(大津)曰 七週間トアルヲ十二週間
ト更正シタシノ八番(宮野)曰 本員ハ削除ト
スルヲ可トスノ十七番(芳野) 三十二番(茶谷)
四十七番(室田)ハノ原案スラ実践ヲ至難ト思
フ況ンヤ十二週間ヲヤ／且ツヤ原案ニ以上トア
リ之レハナニ週間モ何モ角モ含ノ二十一番ヲ駁
シテ原案ヲ可トシ二十一番(大津)ハ到底温習
ノ功驗ヲ見ルニハ十二週間以上ト成サハル可
ノサル旨ヲ陳シテ持説ヲ維持シ十八番(山下)
ハ数回問答ノ末終ニ二十一番ヲ可トスノ四十五
番(中村)曰 本員ハ幾日トモ限制セサルヲ可
トス故ニ「七ノ週間以上」ノ六字ヲ削リ「必
ス」ノ二字ヲ挿加シタシノ十七番(芳野)曰 四
十五番ニ質問セン若シ原案ヨリ七週間ノ以上ト
アル文字ヲ削除スルトキハ一年ニ一日ノ温習モ
……………／実相適ハサルニ非ズヤノ四十五
番(中村)曰 本員ノ所見ニテハ如何様ニ修正
スルモ到底ノ實施ハ六ヶ敷ト思フ 故ニ寧ロ無
制限ノ自由ノニ依ラントスルナリノ十四番(奥
高)曰 然リ々々各員乞フ少ク実況ヲ觀察セヨ
ノ現在ノ生徒スラ受持ヲ難シトスル如キ欠乏ナル
教員ニ尚退ノ生徒ノ温習ヲ添荷セントハ到底行
レサル咄シナリ行レサルヲ知テ之レヲ賛
成スルトハ果シテ何事ゾ謂フ所書生机上ノ激
論ト果タ何ノ擇ブ所カアラン飽マテ四十五番ヲ
可トスノ番外(上村)曰 望ラクハ教員現數ノ
多少ニヨリ発論アルナカラノシコトヲ然ラズン
ハ教員ノ盈虧ニ依テ常ニ教則ヲ改編セサル可
ラズノ將タ原案ノ組立ハ実況ヲ斟酌セサルニ非
ズ 現ニ本郡杯ノ実ノ

p 75

況ヲ見聞スルニ至レハ農家ノ子第ハ概ネ皆閑暇
ナリノ尤漸カ学齡ノ小兒ニ繩又草履ヲ作ラシム
ルモノ左程活計ノ用足シニモ成ルマジ故ニ此時
ニノ当リテ催促シ温習ヲナサシムルハ左ノミ難
事ニアラズトノ考フノ十番(荒井)曰 本員ハ
議決ノ上ハ是非実行セサル可ラス。ト思ヘリ故
ニ少シニテモ困難ト思ヘバ●●スル去リ●四ノ
十五番ノ説ノ如キハ名実適ハズ之レハ寧ロハ

番ヲ賛成スル可ナリ／依テハ五週間以上ト修正スルハ中庸ノ良説ナリ各員乞フ／●●ノ動●ヲ賛成アランコトヲ／會長（瀬川）ハ八番十番ノニ説ハ賛成者ナキヲ以テ之レヲ／廃棄シ左ノ三説ニ起立ヲ命ス其数左ノ如シ／二十一番ノ説／起立 十八番（山下） 二十一番（大津）／四十五番ノ説／起立 六名／原案／起立 二十三名／過半数ニ付原案ニ可決ス／

一 毎期課程ヲ定ムルコト左ノ如シ／

○第五級前期（即チ修正案第八級）

文学／讀書云々／書取云々／會長（瀬川）ハ意見アリトテ代理ヲ副會長ニ要副會／長（大津）ハ同ク意見アリトテ之レヲ辞ス依テ十番ヲシテ己レニ／代ラシメ即チ三十一番ノ席ニ着ク／八番（宮野）曰 数字并ニ假字綴云々トアルヲ容易キ假字綴云々ト更／正シタシ／

p 76

十四番（奥高）曰 「数字」ノ二字ヲ削除シタシ之レヲ授ルニハ垂拉比垂数／字等モ教ヘザル可ラス然スレハ爰ニ置クハ不穩当ナリ宜ク算術科ヘ／加入スル可／二十一番（大津）曰 精神ハ少差ナキニ非レトモ先ヅ々々十四番ヲ賛成スベシ／四十五番（中村）曰 本員ハ時間割ヲ修正シ書取ヲ一週三時トシタシ／十八番（山下）曰 然ラバ殘餘ノ三時ハ如何スル見込カ／四十五番（中村）曰 五級前期即チ八級ノ生徒位ハ一週九時ニテ可ナリ故ニ／時間ヲ減殺スル図リ／四番（石川）曰 建議錯雜為メニ愚鈍予等ノ如キ者ヲシテ殆ト方向ニ／迷ハシメントス乞フ讀書ト書取トヲ區別シテ議セシメラレタシ此／段獻議ス／十七番（芳野）之レニ同意ス／假會長（荒井）曰 四番ノ獻議ヲ採用スベシ就キテハ先ヅ讀書ノ項ニ付所／・・・・・・／番外（上村）曰 習慣ハ第二ノ天性トハ前哲ノ金言ナリ故ニ慣例ニ從フハ何トナク良キ様ナレトモ数字ヲ授ル事ハ／●書ト極近切モノニシテ到底算術科ニ於テスルハ不穩当ナリ／尤数字ト假名トハ附着セシモノナレハ單／ニ假名而已ヲ授ケテ一ヲイチ三ヲサント書ク様ノ事ナカ／ラシメントノ主旨ナリ／三十一番（瀬川） 三十二番（茶谷）

四十七番（室田） 六番（河内）ハ之レヲ敷衍シテ果シテ数字／ヲ授ルハ算術上ノ文字ナルカ故ニ讀書科ヨリ削除シタ／シト云ハバ山ノ一字ヲ教ルモ尚ホ地理科ニ於テ／セザル可ラス削除論者ヲ乞フ再考スル所アレト／十四番等ヲ駁シテ原案ヲ維持シ十四番ハ奮然之レニ應ヘテ持説ヲ主張ス／四番（石川）曰 本員ハ原案維持家ノ雄弁ニ拘ラス八番ノ／説ヲ賛成スベシ／

p 77

四十五番（中村）曰 時間割ハ只今議セラレザルカ／假會長（荒井）曰 後チニスベシ／四十一番（大島）曰 昨日番外ノ説明モアリタレトモ到底／明記スルヲ可認スレバ伊呂波ノ下ヘ変体假名ノ四字ヲ／加ヘタシ／三十一番（瀬川）前説ヲ敷衍シ且ツ算用数字／羅馬数字兩様共明文ニ掲テ授ケタシ然ラザレハ日／用ニ疎遠トナルノ恐レアリト新ニ動議ヲ起シ二十一番（大津）／ハ之レヲ駁シテ削除説ヲ維持シ三十二番（茶谷）ハ三十一番ノヲ賛成ス／假會長（荒井）最早論議モ分レタレバ之レニテ発言／ヲ止ムベシト告ケ左ノ数説ニ起立ヲ命ス／八番ノ説／起立 四番（石川） 八番（宮野）／十四番ノ説／起立 六名／三十一番ノ説／起立 三十一番（瀬川） 三十二番（茶谷）／原案／起立 二十名／過半数ニ付原案ニ可決シ書取ノ項ニ移ル／十八番（山下）曰 容易キ詞ヲ書取ラシムトハ八級ニシテ六ヶ／敷事ト思フ故ニ削リタシ／番外（上村）曰 是迄ノ如ク教ヘテ書取ラシムルニ非ズ單ニ活／用セシムルナリ故ニ左マテ難事ニ非スト考フ／十八番（山下）曰 讀書ノ活用ハ尚ホ可ナリ書取ニ至テハ／

p 78

頗ル難シ依テ飽マテ削除ヲ可トス／十七番（芳野） 八番（宮野） 三十二番（茶谷） 四番（石川） 四十七番（室田）ハ容／易キ詞ヲ書取ラシムルハ活用ノ熟練ノ為メ且ツハ生徒ノ樂／ミトモ成ルコトナレバ尤モ可ナリト述ベテ原案ヲ維持シ四十／五番（中村） 三番（松岡） 十四番（奥高）ハ之レヲ駁シ活用／セサルコトナレバコソ書取ト名ク且ツヤ眞ニ踏掛ノ／八級生ニ活用云々モ

殆ト過分ニ非ズヤトテ十八番ヲ賛成シ／八番
（宮野）四番（石川）ハ最初ニいろはヲ教ヘ次
ニ之レカ活／用ヲ授ク何ノ難キ事カアラント再
ヒ前説ヲ維持ス／二十一番（大津）曰 詞ハ倭
詞カ將タ俗語カ／番外（上村）答曰 正シキヲ
冀望スレトモ精々高尚ニ涉ラズ／ロヨリ出ル俛
ノ詞ヲ書カスノ精神ナリ尤熟練ノ上／漸次高尚
ニ趣クハ望マシキコトナリ／十四番（奥高）各
員ハ容易ノ二字ニ瞞着セラレシニ非ル／カ良シ
ヤ容易文字アルモ詞ノ書取ナリ／如斯難事ヲハ
腦力薄弱ナル兒童ニ授ケ尚ホ楽ミノ一端トハ
何事ナルカ本員等ハ却テ苦ミノ一端ト存ズト異
／口同説原案維持者ヲ駁撃ス／仮會長（荒井）
ハ論議較ヤ衰フヲ見／テ發言ヲ止メ先ツ十八番
ノ説ニ同意ノ者ヲ起立／セシム／起立 十二名
／次ニ原案ヲ可トスル者ヲ起立セシム／起立
十九名／過半数ニ付原案ニ議決ス干時四十七番
（室田）ハ休／憩ヲ乞ヒ十四番（奥高）八番（宮
野）四十五番（中村）ハ閉／

p 79

場ヲ乞フ依テ仮會長（荒井）ハ時器已ニ定刻ヲ
／過キタレバ之レニテ本日ノ會ヲ閉ゾト述べ撃
報一／声各員齊ク退場ス時方サニ四時三十分／
本日傍聴人 午前午後共百弍十五名／

珠洲郡教育協議會日誌第八号

明治十三年七月十八日 午前九時開會／

欠席 壺番 弍番 十一番 十二番 十八番
／

未着 五番 十六番 十九番 二十四番 二
十六番／三十七番 四十二番 四十三番 四十
九番／

午前九時會員一同并ニ学務係郡書記石田猷肅等
各其席／ニ着ク此時副會長（大津）ハ會長遲参
ニ付代理／ノ旨ヲ告ケ一同正礼ス畢テ副會長再
ヒ起立シ昨日ノ續キ／尋常小学五級前期庶物指
教ノ項ニ取／掛ルベキカ將タ五級後期ニ移リ文
学科ヲ議スベキカ之レハ／文学ナラハ文学庶物
指教ナラハ庶物指教ト他目ヘ移ラズシテ／一科
一目ヲ通議スルナリ其可否孰レニアラン會長ニ

於テハ／文学ナラハ文学ダケヲ通議スルヲ可認
スレトモ尚各員多数ノ／意見ニ由テハ如何トモ
スベケレバ乞フ所見ヲ尽サレタシト演ブ／四番
（石川）曰 級別ニ議シタシ文学等ノ各科ヲ五
級前期即チ／

p 80

修正ノ八級ヨリ級別ニ拘ラス通議スルハ不可ナ
リト思フ／十番（荒井）八番（宮野）四十七番
（室田）之レヲ賛成ス／三十二番（茶谷）曰 通
議ヲ可トス文学ナラハ文学ト脇目ヲセズニ議／
了スルハ大ニ各級強弱ノ比例ヲ對照スルニ便ナ
リ飽マテ四番ノ／説ヲ不可トス／二十五番（生
熊）曰 総テ一吏一件ヲ議スニ當リテハ必ス精
神ヲ鍊リテ熟／慮セサル可ラサル蓋シ諸君ノ明
知スル所ナラン四番ノ説ノ如キハ／事煩雜ニ涉
リ為メニ幾分カ思想ノ精確ヲ欠クノ／憾ミナシ
トセス依テ三十二番ノ通議説ヲ可トス／

*欄外・・・對照ノ●へ各科●二字ヲ●フ／
四番（石川）曰 級別ニセサレハ對照ノ便ヲ欠
キ且強弱ノ／比例モ亦幾分カ見図リヲ誤ルノ／
恐レナシトセズ飽マテ前議ヲ維持ス／●●●番
（●●）●●番（●●）四番ノ説ハ維持●●●
●●●●／ク隱蔽スル能ハズ為メニ本員等ノ不
賛成ヲ来セリト述べテ／共ニ三十二番ヲ可トシ
十番（荒井）十四番（奥高）二十番（慶塚）ハ
／余輩信仰ノ／級別説ハ決シテ通議説ノ破毀ス
ル所トナラズニ反体ノ／抗撃ノ為メニ却テ一
層ノ勢力ヲ増セシハ尚ホ滔々タル／水流ニ向テ
拒止ヲ試ルモノノ如シト陳シ各／四番ノ説ヲ敷
衍シ二十五番（生熊）ハ之レニ對シテ持説ヲ主
張ス／副會長（大津）曰 之レニテ發言ヲ禁止
スヘシ／依テハ四番ノ説ヲ可トスル者ハ起立ス
ヘシ／起立 十七名／過半数ノ意見ニ付通議セ
サルニ決ス此時四十一番／（大島）ハ本會日数
延期願ノ儀ヲ獻議シ三十二番（茶谷）七／

p 81

番（館谷）ハ先ツ書目表ヲ議シタシト請フ副會
長（大津）ハ／之レニ答テ曰延云々ノ儀ハ追テ
議スベク三十二番等ノ求メハ承諾ノシ難キ旨ヲ
述ベ書記ヲシテ次項ヲ朗讀セシム／

庶物指教／四十五番（中村）曰 女兒教則ハ別置セサル見込カ／副會長（大津）曰 固リ然リ故ニ每級其積リニテ議論アリタシ／七番（館谷）曰 庶物指教ハ每級前期ニ同シ且云々トアル／ヲ先ツ級別ニ割付ル事トシ而後此級ハ彼級ハ何／ト審議シタシ／十七番（芳野） 三十八番（神村）之レヲ賛成ス／六番（河内）曰 礦物ヲ除キ動植物トシタシ如何ニシテモ礦物ハ殆ト／腦力ニ不相当ト思フ／十番（荒井）曰 前期ニ同シトアル何●●六ヶ敷様ニ●思●●●／……／察シテノ更ニテ至当ノ案タリ若シ夫レ然ラズ一級ニ級別ニ授ル／カトスルトキハ彼ノ鉛筆ノ事ヲ教ルニモ初級ハ名ヲ教ヘ次級ニ用ヲ教ヘ終リニ質ヲ教／ル等ノ便ヲ欠キ質ヲ教ルニ適スル腦力ニ至ラサルマデハ其各ヲモ／授ル能ハサル事トナラン見ルベシ七番ノ不可説ヲ／三十二番（茶谷）曰 本員ノ代弁ヲ十番ニ依頼セシモノノ如シ符合モ／亦至レリ／依テハ／原案大賛成／四十五番（中村）曰 原案ヲ可トス／四十六番（関）曰 「及ヒ動植礦物等」ノ七字ヲ削リタシ／十七番（芳野）曰 熟考スルニ大ニ感悟セン所モアレハ前説取消シ／更ニ原案ヲ可トス／四十一番（大島）曰 原案ノ趣意ハ粗ヨリ密ニ入ルノ意ニシテ／

p 82

成程結構ナレトモ最初ヨリ最後マデ区別ヲセスハ餘リ／漠焉ナラズヤ故ニ賛成ス／六番（河内）ハ前説ヲ主張シ三十二番（茶谷）ハ／頻ニ原案ヲ敷衍シ之レニ向テ異論ヲ樹ルハ誰彼ニ論ナク／挙ク之レ誤解ノ會員ナリト弁ス其時数名ノ會員一／時ニ掘起シテ發言ヲ求メ將サニ會長ノ許諾ヲ俟スシテ／弁駁ヲ試ントスル者ノ如シ爰ニ終テ十四番（奥高）奮／然大呼シテ曰 發言ノ許否ハ會長ノ權タリ諸君ハ議／更規則ヲ忘失セシカ將タ狂スル所アリテ然ルカー言以テ各員ヲ質／ス云々三十二番（茶谷） 四十七番（室田）各就テ痛論スル所アリ副會／長（大津）ハ毅然トシテ發言ヲ中止シ六番四十六番ノ説ハ賛成者ナキヲ以テ●●●●●……【欄外解説不能】先ツ七番ノ説ニ起立ヲ命ス／起立 七名／次ニ

原案ニ起立ヲ命ス／……／強テ三十二番（茶谷）ヲシテ已レニ代ラシメ起テ／二十一番ノ席ニ着ク／四番（石川）曰 先刻四十一番ノ獻議即チ本會日数日延ノ議ニ取／掛ラレタシ此段獻議ス／十四番（奥高）ヨリ日延ノ更ハ本會委員ノ職掌ニシテ會員／ノ云フ可ラサル事ナラズヤトノ説出シヨリ會場俄然トシテ／權限議論鼎沸シ餘勢ノ及フ所論枝葉ニ涉リ議ハ言／語ヲ詰リ甲弁乙駁呶々喋々蓋シ開會以來ノ混雜／ニシテ會長ノ制御モ亦其功ナキニ至ラントス依テ仮／會長（茶谷）ハ所見アリトテ代理ヲ十四番ニ命スレトモ十／四番（奥高）ハ規則ニ戻ル旨ヲ演ベテ之レニ應ゼズ要スルニ一挙一動／一言一句物ニ激シ事ニ触レ徒ニ議論ノ資料ニ供／●以テ無ノ激ヲ●スノ姿ニテ為ニ殆ト會場ノ整理ヲ欠クニ垂ンタレバ／ノ姿ニテ

p 83

二十一番（大津）發言ニ拠リ一先休憩ノ更ニ決シ各員退場／于時十時四十分／同日午前十一時再開議／會員一同及石田勝山両郡書記等各々例ニ依テ着席ス／副會長（大津）曰 尚ホ會長ノ出席ナキヲ以テ再ビ代理シ之レヨリ更／ニ口授科ノ審議ニ取掛ルベシ／口授——／修身——／養生——／日用恒事——／副會長（大津）曰 先ツ修身ノ項ヨリ議サレヨ／二十五番（生熊）曰 徳義行ノ一端ヲ論ス事ヲ削リタシ其理由如何ト云フ／ニ此級ハ最初踏掛ノ事ナレハ徳ハ斯ウト區別／……／十七番（芳野） 四番（石川） 四十五番（中村）ハ之レヲ賛成シ三十二番／（茶谷）ハ之レヲ不可トス／十番（荒井）曰 徳義行ノ一端ヲ論スト明記シテハ其各目ニ對シ勢ヒ困難ニ／渉ル事之レ無トモ保セラレズ故ニ本員ハ廣ク道德ノ一端ヲ論スト修正／シタシ尤二十五番ノ説即チ最初ノ級ナレバトテ其一端ヲモ授／ヌトノ御説ハ餘リ感服仕ラザルナリ／十四番（奥高）曰 徳義ト云ヘハ何ソヤ六ヶ敷様ニ思ハルルナレトモ／乞フ行ノ一字ニ注目セラレヨ徳ノ行ヒトハ斯〵々々／ノコト義ト行ヒトハ云々々々ノコトト思白キ様ニ咄シ聞スナリ／何ノ難事力之レアラ

ン依テ本員ハ原案ヲ可トス／四十六番（関）曰
礼儀ヲ授ルハ何ナレトモ履行スベキトアリテハ
大／ニ六ツカシキ事ト存ス故ニ之レヲモ削除シ
タシ／四十一番（大島）曰 甚ヒカナ四十六番
ノ誤解セ●「児童ノ履行／

p 84

スヘキ」ノ八文字アリテコソ困難ナラサルナリ
若此八文字／ヲ削リシナラハ大人ニ非レハ履行
シカタキノ礼儀ヲモ授ルニ／至ラン乞フ省思ス
ル所アレ／三十二番（茶谷）曰 應報ノ理ヲ教
授スルニハ徳義行ノ一端／ヲ授ケズシテハ叶ハ
ザル事ト信ズ着実家ノ誉レアル二十五／番其人
ニシテ尚ホ見愛ニ至ラザルカ／十番（荒井）ハ
起テ前議ヲ敷衍シテ頻リニ賛成ノアラ／ンコト
ヲ求メ四十七番（室田）ハ痛ク之レヲ駁シテ原
案ヲ維／持ス其他三四ノ議／論アルモ要スルニ
二十五番ヲ賛成スルト原案ヲ維持スルノ／ミナ
リ依テ副會長ハ可否決ヲ起立ニ徴スルニ左ノ如
／シ／二十五番ノ説ニ起立スル者 十四名／原
案ニ起立スル者 十六名／過半数ニ付原案ニ可
決シ次ノ算術科ハ／以テ次項ヲ審議ス／全會異
議ナク直ニ日用枢事ノ項ニ及ブ／十七番（芳野）
曰 「生徒ノ住所」トアル五字ヲ削リタシ／九
番（生島）ハ之レヲ可トシ十番（荒井）ハ之レ
ヲ不可トス／四十五番（中村）曰 熟ラ々々郡
内僻郷／ノ実況ヲ概視スルニ今ノ生徒ノ父兄ニ
シテ自己ノ姓名ヲダニ記／スル能ハサルモノ蓋
シ十中ノ七八ナラン豈慨クヘキノ至ナラズヤ／

p 85

依テハ此处ヲ生徒及父兄ノ姓名等ト修正シ此慨
歎／ヲ一洗シタシ／四十七番（室田）之レヲ敷
衍シテ曰ク／山間ノ村落杯ニテハ小兒未ダ襁褓
ノ頃男／兒ナラハ「ヲヂ」トカ女兒ナラハ「チ
ヨシ」トカト呼做シタルヲ其／兒教育ノ不行届
ナルヨリ成童ニ至ルモ尚自己ノ名ハ「ヲヂ」
若クハ／「チヨシ」ト心得眞ノ姓名ヲ呼ブニ他
人ノ事ト思フテ應セサ／ルモノ往々ニシテ実見
セリ故ニ此所ハ是非四十五番ノ説ヲ／賛成セサ
ルヲ得ズ／十七番（芳野）ハ甚タ持説ニ近ク且
ツ思白シトテ改メテ四／十五番ヲ可トス／八番

（宮野）曰 学校ノ位置ヲ教ル事ヲ加ヘタシ／
三十二番（茶谷）ハ／四番（石川）曰 各員ノ
眼球ハ「等」ノ一字ヲ映射セサルカ何ゾ／蛇足
ノ説ヲキ本員ハ只方サニ／呆然トシテ原案ヲ賛
成セシノミ／九番（生島）ハ本家ノ十七番カ前
説ヲ取消セシ上ハ本員／モ四十五番ヲ賛成セン
ト述ベ四十七番（室田）ハ起テ九番ノ／同意ヲ
賞賛シ就テ四十五番説ヲ再演シ併セテ四番ノ／
説ハ「等」ノ一字ヲ萬屋ト見ルノ私論ナリト駁
撃／ス／四十一番（大島）曰 住所ノ下ヘ年齢
ヲ加ヘタシ是コソ日用ノ枢要ト存ズ／二十五番
（生熊）曰 本員ハ原案維持家ノ一／人ニシテ
四番ノ呆然ニ十層モ加工居ルモノナリ故ニ先刻
ヨリ／諸君ノ怪説ヲ聴聞シテ口將サニ言ハント
欲シテ言フ能ハサ／

p 86

ルコト数回ナリキ知ラス諸君本日ノ議論ハ／平
常ノ精神ヲ以テス／ルカ鋭敏ナル教育士ニシテ
何ソ迂遠ノ奇説ヲキ／乞フ會長ニ於テ速ニ可否
ノ決スル所ヲ表白サレタシ／実ニ厭倦ニ堪ヘサ
ルナリ／副會長（大津）稍ヤ説ノ尽タルヲ見テ
順次起立ヲ／命スルコト左ノ如シ／八番ノ説／
起立 三名／四十五番ノ説／起立 六名／原案
／起立 二十名／過半数ニ付決ス依テ副會長ハ
書記ヲシテ／次項ヲ朗讀セシム／算術——
／——／八番（宮野）曰 四位以下ト修正シ
タシ／十四番（奥高）四番（石川）六番（河内）
之レヲ賛成ス／十七番（芳野）曰 本員ハ八番
ト反對ニシテ原案ニ加算呼声ヲ授／ルコトヲ加
ヘタシ抑モ加算呼声ナルモノハ尤顆算ニ必要ナ
ル／モノニシテ且容易ノ業タリ故ニ此級ニ適當
スルノミナラズ次級ニ至テ／加法ヲ授ルニハ当
級ニテ豫修セシムルコト実ニ便宜ナリ乞●ス各
／員ノ賛成ヲ得シコトヲ／三十二番（茶谷）四
十七番（室田）ハ續々原案ニ向テ加減ノ動議ヲ
起サルレ／トモ之レニ依テ考一考スルモ原案ノ
至当タルヲ知ル何トナレバ／

p 87

適否ハ兎モ角算術科ニ一ノ増加説ト一ノ減少説
トアレハ即／チ之レカ合議必ス中庸ノ原案ニ外

ナラザレハナリ況ヤ本員等ノ／信スル処ニテハ
原案ハ至ムル至当ノ者タレバナリト相共ニ原案
／ヲ維持シ十四番（奥高）ハ六歳ニナルカ／成
ラヌノ児童ニ授ルニハ三位以下ニテ充分ナリ慨
／歎ス會員諸君ハ地位ノ然ラシムル所トハ云ヒ
ナカラ常ニ高級ヲ／ノミ受持タルノカ故ニ此級
位ノ實際授業ニハ極テ疎遠ナルカ如シト／陳ベ
再ヒ八番ノ説ヲ賛成シテ原案ヲ駁撃シ十七番
（芳／野）ハ賛成ナキ自説ヲ維持セントスルモ
到底能シ得サルコトナレハトテ／更ニ原案ヲ可
トス依テ副會長（大津）ハ此上幾回ノ討論ヲ／
許スモ最早前説主張ナシト考ヘラルル旨ヲ演ベ
先ツ八／番同意ノ者ヲ起立セシム／起立 十二
名／起立 十七名／過半数ニ付原案ニ可決シ書
記ヲシテ次項ヲ朗讀セシム／習字———／—
———／八番（宮野）曰 原案ニ異議ナシ但
シ実験ニ徴スルニ当級ハ最初ノ踏掛／タルニモ
拘ラス是マテ毛筆ヲ以テ習字ヲ授ルノ／弊往々
ニシテ之アリ依テ以後ハ石筆又ハ白墨ナトヲ以
テ授／ルコトト豫定シ置キ此主意ヲ但書カ何カ
ヲ以テ明記シ置タシ／之レハ授業上ニ渉ル様ニ
テ此処ニテハ少々不穩当カモ知ラサレトモ斯ク
ノ如ク／セザレハ前陳ノ主旨ヲ貫徹シガタシト
思フ乞フ各員ニ於テハ理論／ノ鋭鋒ヲ以テ拙員
ノ論城ヲ攻撃スルナク事實ヲ察シテ同／

p 88

意ヲ表セラレンコトヲ／四十四番（平田）ハ毛
筆ノ不便ヲ喋陳シテ八番ノ説ヲ敷衍ス／十七番
（芳野）曰 八番ノ説ハ授業上ノ咄ニテ夫レハ
ハ各員ノ心得ニ／在ルモノナリ故ニ左様ノ事ヲ
明記スルニ及バズ只特ニ掲ケ置／タキハ数字ハ
楷書ヲ以テ授ルノ一事ナリ乞フ滿場諸君ノ同意
ヲ／得テ原案ニ書加エタシ／八番（宮野）ハ固
リ授業上ニ関涉スルナラン然レトモ旧弊ヲ匡正
スルニ／ハ斯クノ如クセサル可ラズト述ベテ前
説ヲ維持シ四十七番（室田）十四番（／奥高）
ハ授業法ハ當場ノ議スベキ限ニ非スト言ヒテ痛
ク八番ヲ論駁／ス／副會長（大津）ハ先ツ八番
同意ノ者ヲ起立セシム／起立 八番（宮野） 四
十四番（平田）／次ニ原案ノ俚ヲ可認スルモノ

ヲ起立セシム／體操———／———／十四
番（奥高）ハ先ツ本項削除ノ動議ヲ起シテ曰 世
間何物カ教テ不用／ナルモノアラン授テ無益ナ
ルモノアラン只必用ナルト否トニ依テ緩／急ノ
差違アルノミ抑モ體操ノ如キハ今日ノ生徒ニ於
テ果シテ必用ノ急／務ナルカ原案維持家ハ必ス
云ハン體操ハ独リ身体ノ強壯ヲ主トス／ルノミ
ナラズ併セテ体格ヲ匡フセントスルニアリ故ニ
／今日ノ無格恰生ニハ必用欠ク可ラサル者タリ
ト然レトモ／本員ノ思考スル所ハ大ニ然ラス體
操ノ主眼ハ他ニ一ニノ附属／的固リ之レナキニ
ハ非ル可シ然ト雖トモ其重要ナル点ヲ／探ラハ
必スヤ身体ヲ剛壯ニシ体力ヲ附与スルニ外ナラ
サルベシ果シテ然／ラハ今日ノ生徒ハ概ネ皆渺
茫タル曠原ヲ跋涉シ来リ／

p 89

新鮮ノ空氣ヲ吸收スル者ノミナレハ何ノ不足ア
リテカ之レニ體／操ヲ課セントスルヤ之レニ運
動ヲ行ハシメントスルヤ／之レ本員ノ見テ以テ
不急ノ科目トナシ削除ヲ欲スル所以ナリ／七番
（館谷）之レニ同意ス／八番（宮野）之レヲ駁
シテ曰 良シ曠野ヲ過キ新鮮ノ空氣ヲ呼／吸ス
レハト豈本●削除●カナラント之レヲ●員ノ所
●スル●信スル●吸ニ敢●見セズ況ヤ十四番ノ
附属ナレハトテ一蹴シ去リタル彼ノ各恰ノ事ハ
／体力養成ト偕ニ體操ニ大主眼的タルニ於テオ
ヤ／然レトモ此級ハ初メテノコトニテ漸ク六才
前後ノ児童ヲ教ル所ナレバ諸種ノ嬉／戲ニテ充
分ナリト信セリ●運動丈ハ先ツ削リタシ／十五
番（小竹）曰 原案ニテ可ナリ／．．．．．／
三十二番（茶谷）之レヲ可トス／十七番（芳野）
曰 八番ヲ賛成ス三十三番三十二番ハ夫レ何等
／謬見ゾヤ害ナキノ文字ヲ冠セザレハ中ニハ浮
雲キ技モアラント／苟モ身教員ノ班ニ列シ親ク
児童ヲ教授スルモノニシテ豈斯ノ／如キ無分別
ノ痴漢アラシヤ嗚呼三十三番等ハ事々物々無／
害ノ文字ヲ明記セサル以上ハ仮ヘ児童妨害トナ
ルコトニモセヨ必ス之／レヲ行ハントノ意ナル
カ近頃抱腹ノ至ナリ／十番（荒井）ハ運動ノ二
字必ス削除スベカトテ痛ク八番等ヲ駁シテ原

案ヲ維持シ二十番（慶塚）ハ十四番ヲ賛成ス／副會長（大津）ハ議論末タ尽キズシテ時器已ニ定／刻ヲ報ゼリ依テ一先休會午食スベシト陳シ各員／退場ス于時零時三十分／午後壹時三十分三七再開議／

p 90

未着 午前ノ如シ／午後壹時三十分會員一同及勝山郡書記等各其席ニ着キ一同／正礼ス畢テ副會長（大津）ハ之レヨリ四十一番ノ献議本會延期／ノ義ヲ採用シ各員ヘ日数ノ適度ヲ諮詢セン乞フ所見ヲ発／言アリタシト演述ス／八番（宮野）曰 明後二十日ヨリ二十九日マテ向フ十日間ノ延期ニテ可ナ／ラン／三十二番（茶谷）四十一番（大島）四十四番（平田）之レニ同意ス／二十五番（生熊）曰 十日間ニテハ不足ナリ十五日間トスルヲ可トス／十八番（山下）之レヲ賛成ス／十四番（奥高）ハ十五日以内トシテ如何ト陳シ十七番（芳野）ハ本月中ト届申スルモ差支ナシト述ブ此他別ニ発言モ無レバ／副會長（大津）ハ起立ヲ命ズルニ八番ノ説最モ多数ナル／……／八番（宮野）曰 午前ニモ鳥度申述ベシ通り運動ハ摸ノアルモノ／ノニテ高級ニ至ラサル中ハ左ノミ功益ナシト信ズ諸君乞／フ本員カ削除説ヲ賛成アレ／九番（生嶋）声ニ應シテ八番ヲ賛成ス／十番（荒井）曰 幼年ヨリ運動セシメサレバ筋肉ノ自由ヲ得ズ八番／會員ハ何等ノ点ニ着目シテ高級ニ至ラサレバ無益ト云フヤ切／ニ望ム持説ヲ猛省シテ放棄スル所アレ之レ蓋／シ八番ノ八番タルヲ得ルノ途カ／十四番（奥高）ハ原案維持者ト八番ノ両説ヲ駁シテ前説ヲ／捍言シ二十五番（生熊）ハ之レニ答ヘテ八番ヲ可トシ三十二番（茶／谷）ハ三十三番ノ無害ト明記スル説ヲ再演シ三十一番（／

p 91

瀬川）ハ原案ヲ可トス／四十一番（大島）曰 本員ハ十四番ヲ賛成セン併シ不用ト云フニ非／ズ此級ノ生徒ハ極メテ年少ナレバ遊戲ノミニテ可ナリ別ニ体操／ノ運動ノト事々シクスルニ及バズ尤遊戲ナルモノハ別ニ科／目ヲ掲ストモ自ラ

實際ニ行ハルモノナリ而シテ体操ノ功／用及適度ト認ル所ハ高級ニ至テ論ズル所アラン故ニ此級ニ於／テハ十四番ノ説ニ起立セザルヲ得ズ／四十七番（室田）四番（石川）ハ諸動議ヲ駁シテ原案ヲ維持シ十／八番（山下）ハ八番ヲ賛成シ其他十四番（奥高）八番（宮野）十七番（芳野）三十二番（茶谷）等交々起テ相駁シ相論シ殆ト終極／ナキカ如キモ畢竟前説ヲ反覆スルニ過キサレハ為メニ會員／中二三厭倦ノ色アル者ナシトセズ良ヤアリテ四十六番（関）／ヨリ決議ノ速ナランコトヲ會長ニ要請ス／……／發言ス／副會長（大津）曰 此項ニ付テハ各員ニ於テ余程議論ノアル由ヲ／仄ニ承知シタレハ然リ發言ヲ自由ニシ充分ノ見込ヲ／承ラントセシナリ然ト雖モ最早論種モ尽キタル様ナレバ之レヨリ／議決ニ取掛ルベシ就テハ先ツ三十三番ノ説諸種ニ代ルニ無／害ノ字ヲ以テスルヲ可トスルモノハ起立スヘシ／起立 三十二番（茶谷）三十三番（松橋）／次ニ八番ノ説即チ運動ヲ除クヲ可トスル者ヲ起立セシム／起立 八名／次ニ十四番ノ削除説ニ同意ノモノヲ起立セシム／起立 十名／終ニ原案維持ノ者ヲ起立セシム／起立 十名／

p 92

各説過半数ヲ得ルモノ無キニ依リ規則ニ拠テ會議／ニ附スル事ト決定ス／副會長（大津）ハ過刻ヨリ會長ノ出席モアリタレトモ都合ニヨリ／本項ダケ代理スベキ旨●ニヨリ尚ホ本席ヲ汚スベシト述べ更ニ書記／ヲシテ第五級後期文学ノ一科ヲ朗讀セシム／

○第五級後期

文学——／讀書——／會長（大津）曰 先ツ讀書ノ項ヲ議スベシ書取及作文——／三十一番（瀬川）曰 讀書ノ部ヘ亜拉比亜数字及羅馬数字ヲ授ル／コトヲ記載シタシ／六番（河内）之レヲ可トス 四十一番（大島）曰 原案ニテ可ナリ／……／趣ニテ三十一番ノ發言モアリタランカ良シヤ其文字ヲ知ラサル／モ不便ヲ感スルハ高等科筆算ヲ授ルノ時ニ非スヤ果シテ／然ラハ其時ニ際シテ授ル可ナ

リ何ゾ不穩当ナル讀書ノ部ノニテ豫修セシムル
ヲ之レ要セン況ヤ余輩ノ考ニテハ別ニ授ケサ/
ルモ自ラ記得スルコトハ番外説明ノ通りト信ス
ルニ於テオヤノ将タ羅馬数字位ノコトハ必用ト
見認ルニ於テハ口授スルモ可ナリトノ異口同説
相共ニ三十一番ヲ駁撃スノ三十一番（瀬川）曰
讀書ノ部ニ数字ヲ授ルヲ不穩当トアレバ何故ノ
ニ五級前期ノ書目表ニ数字図ヲ明記セシヲ可認
セシヤ之ノレラニテモ十番等ノ自家撞着タルヲ
知ルノ四十七番（室田）ハ原案ニ同意シ十四番
（奥高）ハ四十七番ヲ駁シテノ三十一番ノ説ヲ
敷衍シ四十七番又之レニ答テ原案ノ旨趣ヲ説
明スルニ及ヒ図ヲ十四番四十七番ノ間ニ一場
ノ論ノ

p 93

戰ヲ開キ言端稍過激ニ涉ラントス依テ副會長
（大津）ハ俄ノニ発言ヲ中止シ先ツ三十一番ノ
説ニ同意ノ者ヲ起立セシムノ起立 六名ノ次ニ
原案ヲ可トスル者ヲ起立セシムノ起立 二十五
名ノ過半数ニ付原案ニ決シ直ニ書取及作文ノ項
ヲ議スノ十七番（芳野）曰 本項ヲ「正草兩假
字ニテ普通ノ詞及ヒ短句ノヲ書取シム」ト修正
シ又以下ヲ削リタシ何トナレハ終カ五級前期ノ
即チ修正ノ八級位ヲ卒業セシ生徒ニ單簡ノ句ヲ
作ラシメ間々ノ之レニ眞字ヲ加フル杯トハ思ヒ
モ寄ラスコトナレハナリノ十番（荒井）曰 平
假名片假名ニテ普通詞及ヒ云々ト修正シ又以ノ
下ハ削ルニ及バズ番外ノ説明ニテハ平假名ニテ
充分ノ活力アレハノ自ラ片假名ヲモ能シ得ルト
ノ主旨ナレトモ苟モ片假名綴リヲ無用ノ……
ノ十八番（山下）之レヲ敷衍シ二十番（慶塚）
四十一番（大島）ハ十七番ノヲ賛成スノ三十二
番（茶谷）曰 原案ノ努力余程衰弱セリ豈一弁
ヲ費ノシテ之レヲ維持セサルヲ得ンヤ夫レ原案
ノ適當全備ナル其ノ万一ヲ概言セシニ先ツ平假
名字ニテ普通ノ言葉ヲ書取ラセシカ而シテノ活
用ノ途ヲ開カノ為ニ單簡ノ句ヲ作ラシメ兼テノ
歡娛ノ心ヲ導キ且時々眞字ヲ加エテ他日眞字ヲ
讀ムノ階ノ梯端緒トナスカ如キ又ハ兼テ生徒ノ
注意ヲ發セシムル等一モノ欠典ナク加之其腦力

ヲ察シ短句ヲ作ラシムルモ容易ニ止ルノ等実ニ
難ヲ入ルハノ餘地ナキヲ信ス然ルニ諸君ハ彼ヲ
揚ケ之レヲノ抑ヘ強テ修正ヲ原来ニ試ントハ抑
モ誤レルノ甚キモノナラズヤノ六番（河内）曰
十七番ヲ賛成スノ四十七番（室田）曰 十七番
ハ單簡ノ句ヲ作ラシムルヲ頗ル難キコトノ

p 94

ノ様ニ心配アレトモ夫レハ大ナル誤ナラズヤ何
トナレバ「●を●ノは」「酒をのむ」杯ノ様ナ短
句ヲ作ラシムルニ何ノ難キコトノカアラン故ニ
本員ハ此上片假名ヲ加ル十番ノ説ヲ賛成スノ八
番（宮野）曰 四十七番ノ申サルハ如ク短句ハ
左ノミ六ケ敷コトノニ非ス而シテ片假字ヲ加ル
コトハ本員カ欲スル所ニ非サレバ詰リノ原案大
賛成ノ十七番（芳野）曰 原案ハ余程注意シテ
科目ヲ配当シアリノ依テハ之レニ片假名ノ書取
ヲ加ルトキハ何カ削除スル所ナカル可ノラズ然
ラサレハ必スヤ偏重ニ陥ルコト疑ヲ容レズ故ニ
此ノ所ニ在テ強テ短句ヲ作ラシメヨリハ次級
ニ至テ腦力充ノ分ノ生徒ニ授ルヲ可トス各員ノ
擊鋒ハ思フニ毫モ此論陳ヲ破ルコトヲ得ザル
ナルベシノ四十番（河合）曰 平假名片假名変
体假名ニテ短簡ノ句ノヲ……ノ三十番（徳
木）三十四番（●●）之レニ賛成ス三十二番（茶
谷）四ノ番（石川）ハ之レヲ駁シテ原案ヲ維持
シ四十五番（中村）ハ十七番ノヲ可トシ四十番
（河合）十七番（芳野）ハ各駁議ニ應ノヘテ持
説ヲ敷衍ス副會長（大津）ハノ論議稍ヤ衰フル
ヲ見テ発言ヲ止メ起立ヲ命スルニ左ノ如シノ
四十番ノ説ニ起立スル者 四名ノ十番ノ説ニ起
立スル者 五名ノ十七番ノ説ニ起立スル者 十
一名ノ原案ニ起立スル者 十一名ノ各過半数ニ
至ラサルヲ以テ副會長ハ小會議ニ附スル旨ヲ告
ケ畢ノ

p 95

テ之レヨリ小會議ヲ開クベキヤ否ヲ諮フノ十八
番（山下）曰 一先ツ休憩シ而後小會議ニ取掛
リタシノ十番（荒井）之レニ同意スノ十七番（芳
野）曰 直ニ小會議ヲ開クヲ可トスノ八番（宮
野）之レヲ賛成スノ四番（石川）曰 本日ハ之

レニテ閉會トシタシ／三十二番（茶谷）之レヲ可トス／審議ノ末起立ヲ命スルニ四番ノ說過半数ノ同意／ヲ得テ之レニ可決シ依テ副會長ヨリ散會ヲ報／シー同退場ス時方サニ午後三時三十分／本日傍聴人午前午後共六十名／

鳳至珠洲郡教育協議會日誌第九号

明治十三年七月十九日午前第九時四十分開議／欠席 壱番 貳番 十一番 十二番 二十二番／二十五番 五十番／

未着 五番 十六番 十九番 二四番 二六番／三十七番 四十二番 四十三番 四十九番／

午前九時四十分會長會員及勝山郡書記等各其席ニ着キ正礼ス畢テ／會長ハ之レヨリ少會議ニ取掛ル旨ヲ演ベ席ヲ副飛會長ニ譲ル副會長ハ／意見アリトテ之レヲ辞シ十番（荒井）ヲシテ之レニ代ラシメ議了ッテ／本會ヲ開キ會長其席ニ復ス／會長（瀬川）曰 昨日ノ會議ニ各過半数ヲ得サリシ体操書取ノ二科／モ只今ノ小會議ニテ略等纏リタル様ナレバ之ヨリ本會ヲ開キ更ニ／之レヲ議決スヘシ依テハ先ツ体操ノ項ニ付簡短ニ其主旨ヲノミ発／言アリタシ／八番（宮野）曰 余ハ素ヨリ運動ヲ削除スルノ動議者ナリ其主意ハ／

p 96

前會ニ於テ述ベ尽シ置タレハ更ニ贅セス乞フ各員賛成アラコトヲ／十七番（芳野）二十番（慶塚）之レヲ賛成シ十四番（奥高）四十一番（大島）／ハ到底持説ノ行レサレハトテ更ニ八番同意ト演ベ十番（荒井）二十／番（大津）ハ前日ノ如ク八番ノ運動消除説ニ同意ノ者起立スベシ／起立 拾七名／過半数ニ付之レニ可決シ次デ書取科ニ及ブ／四十番（河合）曰 本員ハ前説ヲ取消シ今ヨリ十七番ヲ賛成ス／十番（荒井）曰 前會ニ於テ陳述セシ通り到底片假名ノ書取ハ加エサ／ル可ラス依テ持説ヲ再演ス／十七番（芳野）曰 片假字ヲ加ル可然レトモ加ルニ就テハ是非又以下ヲ削／ラサルヲ得ズ然ラザレハ實際ニ適セス腦力ニ應セズ乞フ深思スル所アレ

／故ニ重テ前議ヲ主張ス／二十一番（大津）十八番（山下）ハ十番ノ説ヲ敷衍シ四番（石川）八番／（宮野）三十二番（茶谷）ハ各前議ヲ棄テ、更ニ十番ヲ可トシ二十番（慶／塚）四十八番（永井）ハ共ニ十七番ヲ賛成ス茲ニ於テ／會長（瀬川）ハ先ツ十七番ノ説ヲ可トスルモノヲ起立セシム／起立 拾六名／次ニ十番ノ説ヲ可トスルモノヲ起立セシム／起立 拾七名／過半数ニ付片假名ノ書取ヲ加ル十番ノ動議ニ可決シ之レニテ午前／ノ議ヲ了ル時方サニ零時十分各員退場ス／午後二時再會議／未着 午前ノ如シ／會員一同及勝山郡書記等再ヒ其席ニ着キ正礼ス畢テ會長／

p 97

ハ十四番組合惣代即チ二十八番會員タリシ木村葉海氏鮮約ニ付／本日ヨリ代員トシテ柿本長平氏ノ出會アリタシ旨ヲ告ケ書／記之レヲ各員ニ紹介ス次ニ會長ハ之レヨリ第五級後期庶物／指数ノ項ヲ審議スベシト陳ベ書記議案ヲ朗讀ス／庶物指数——／前期ニ同シ／此項異議ナシ依テ書記次項ヲ朗讀ス／口授——／修身——／養生——／日用枢事——／八番（宮野）曰 服忌ノ如キハ左ノミ日用ノ枢要トモ思レズ故ニ近キ／親族ノ事ヲ知ラシムト修正シタシ／十八番（山下）曰 服忌ヲ省クハ八番ニ同意而シテ本員ハ代リニ縣令／郡長ノ姓名ヲ教ヘタシ／十四番（奥高）曰 前期ニ同シ且ツ近キ親族及ヒ擔当戸長学務／委員ノ姓名ヲ知ラシムト修正シタシ／十五番（小竹）曰 本員ハ主上ノ御尊稱等ヲモ授ルコトト記載シタシ／四番（石川）曰 服忌ヲ省クハ大ニ可ナラズ夫レ孝ハ百行ノ本タル／者ナランヤ／十八番（山下）曰 四番ハ無用ノ心配ナリ本員等ノ削除ヲ唱ルハ不／用ト云フニ非ス後期ヘ組込ノ精神ナリ其一所以ハ此級位ノ／生徒ニ服忌ノ事ヲ知ラシムルモ恐クハ無益ニ属セン／

p 98

會長（瀬川）曰 建議ヲ端ニシテ甚タ煩雜ナリ依テハ／先ツ服忌ノミヲ討議スヘシ／三十二番（茶谷）曰 各員ハ服忌ヲ余程ハ様ニ云ハ

／ルハカ夫レハ授ケ方説キ方ニ依／ルナリ兒童ノ腦力ニ適スル程ノ大意ヲ授スルニ於／テ何ノ困難ナルコトカアラン聞カズヤ記セズヤ／立案者ノ説明等該説明ニ拠レバ父兄ノ喪ニ居テ其何／タルヲ知ラザル様ノ不都合ナカラシメントノ主意ナリト／論シテココニ至ルモ尚ホ削除ヲ欲スルカ將又後期エ／組入ノ説モアレトモ服忌エ縁故モナキ處エフナリ然トシテ／組入ハ大ニ不都合ナリ故ニ親族ノ事ヲ／知ラシムル際即チ当期ニ於テ授ルハ順序配置ノ宜ヲ得／タルモノト云フベキナリ飽マテ原案ヲ賛成ス／四番（石川）四十七番（室田）十番（荒井）ハ之レヲ可トシテ／前説ヲ主張シ十八番（山下）／十四番（奥高）四十五番（中村）八番（宮野）ハ服忌ト親／族ハ密着ノ關係ナシ果タ之レアリトスルモ六才半位ノ／兒童ニ適スル服忌ノコト授ルモ何／程ノ功能カアラン及カズ此迂遠的ノモノヲ削リ以テ切／近ノ樞事ヲ加エンニハト各前議ヲ執テ原案維持者ノヲ駁撃ス／四番（石川）曰 親族ト服忌ハ尚晝夜ノ別ノ如キカ親族ア／リテ後チ服忌アリ未タ聞カズ親族ナキノ孤独者ニシテ服／忌ノミノ附着シアルヲ／●●トナレハ服忌●●事ヲ知ラ●●ムルニハ汝ハ／汝カ父兄等ヨリ如斯恩恵ヲ蒙レリ故ニ汝ノ／

p 99

父兄等ノ死没セシトキハ如斯服忌ハ汝ノ身ニ附着シア／リ之レ汝カ父兄等ニ報ルノ一大義務ナリ杯／ト授ルノ類ナラン之レ本員カ假ニ親族ト服忌トハ其／別晝夜ノ如キカト云ヒシ所以ナリ然ルヲ反体論／者ハ密着ノ關係ナシト迄ニ極論セリ近頃以テ抱腹／ノ至リ敢テ一言ヲ陳シテ削除家ノ惑チ鮮ク／二十一番（大津）ハ兒童ノ知ルヲ要スル程ノ服忌ノ事／ハ概シ家庭ニ於テ教誨／スルナラン云々／ト述ベテ八番ノ削除説ヲ賛成シ三十二番（茶谷）四／十七番（室田）四十一番（大島）ハ之レヲ駁シテ／原案ヲ維持シ十七番（芳野）十八番（山下）八番（宮野）／削除ノ利ヲ説ク／二十七番（林）曰 余ハ固リ八番ノ賛成者ナルカ先刻ヨリ／各員ノ御説ヲ承ルニ何レモ論シ尽シテ亦飽蘊ナキモノ／ハ如シ

乞フ速ニ議決ニ至ランコトヲ／會長（瀨川）ハ先ツ八番ニ同意ノ者ヲ起立セシム／起立 十九名／過半数ノ故ヲ以テ即チ服忌ヲ削除スル事ニ決／ス依テ會長ハ一時中止セシロ／授科ノ意見ヲ發言セシム／四十五番（中村）曰 但書ヲ加ヘ我カ縣令郡長戸長／ノ姓名ヲ授ルコトニ致シタシ／二十一番（大津）曰 但書ニ及バズ簡單ニ近キ親族ノ／事ヲ知ラシムト修正シテ可／十七番（芳野）曰 前期ニ同ジ且近キ親族及郡長戸長学務／

p 100

委員姓名并ニ氏神菩提所ノ名号ヲ知／ラシムト修正シタシ／八番（宮野）曰 本員ハ單ニ親族ノ事ヲ知ラシムト／ノミニ致シ置タシ／十四番（奥高）曰 前期ニ同シ且近キ親族及ヒ郡長／戸長学務委員ノ姓名ヲ知ラシムト修正シタシ／二十八番（柿本）曰 郡長戸長等ノ姓名ヲ授ルコトヲ掲ル説／續々輩出且ツ賛成ノ人モアルカ原来左様ニ授スル／科目ヲ々々教則上ニ掲ケ置クハ甚タ不体裁ニテ望マシ／カラサルコトナリ尤連語図ヲ授ル節神ハ天神ノ主宰／ニシテト授ル節我縣ノ主宰ハ縣令千坂高雅君我郡ノノ主宰ハ郡長加藤鑽二君杯ト教テ可ナリ何ソ故ラ／ニ明記シ置クヲ要センヤ／六番（河内）曰 原案ノ俚ニテ宜シ／十七番（芳野）曰 十四番ノ説頗ル本員ノ説ニ近シ乞フ／小異ヲ捨テテ合同アリテ如何然ラズンハ建議ヲ／端各過半数ニ至ラサルノ恐レアラン／十四番（奥高）曰 十七番ノ説御尤ナレトモ予ハ氏神等ノ／名号ハ次期ヘ組込ノ積リ故ニ小異ト見做シテ合同／スル能ハズ／十七番（芳野）曰 然ラハ本員ハ前説ヲ取消シ十四番ヲ／賛成ス／四十七番（室田）曰 本員等ノ切ニ維持セシ服忌ノ事ハ削ラレタレトモ尚原案即チ近キ親族ノ事等ヲ知ラ／シムノ文字適當ナリ賛成々々／三十二番（茶谷）四番（石川）之レニ同意シ二十番（慶塚）／

p 101

ハ二十一番ノ説ヲ賛成シ十四番（奥高）十八番（山下）／ハ二十一番等ヲ駁シテ持説ヲ主張シ八番（宮野）ハ前／説ヲ取消シテ更ニ二十一番

ヲ可トシ四十五番（中村）モ自ノ説ニ賛成者ナケレバトテ更メテ十四番ノ説ニ同意シノ三十四番（仲上）同ク十四番ヲ賛成スノ會長（瀬川）曰 論議こな紛々タレトモ約マルトコロ十四番二十一番ノ二動議ニ原案ヲ併セテ三ツナリ依テハ先ツ十四番ノ説ヲ可トスル者ハ起立スヘシノ起立 拾三名ノ會長（瀬川）又曰 二十一番ノ説ニ同意ノ者ハ起立スヘシノ起立 七名ノ會長（瀬川）又曰 原案ヲ可トスル者ハ起立アレノ起立 拾二名ノ・・・・ノレニテ本日ノ會ヲ散ス于時午后四時三十分ノ 本日ノ傍聴人午前ノ午後共五十七名ノ

p 102

珠洲郡教育協議會日誌第十号ノ

明治十三年七月二十日午前第八時四十分開議ノ
欠席 壹番 貳番 十一番 十二番 十三番
ノ二十二番 三十三番 五十番ノ
未着 五番 十六番 十九番 二十四番 二十六番ノ三十七番 四十二番 四十三番 四十九番ノ

午前八時四十分會員一同及勝山郡書記等各其席ニ着キ正礼ス畢リノテ副會長（大津）ハ之レヨリ少會議ヲ取開ク旨ヲ演ベ且意見アノリトテ十番（荒井）ヲシテ己レニ代ラシノメ起テ二十一番ノ席ニ着キ審議ノ末九時二十分本會ニ復スノ仮會長（荒井）曰 尋常小学五級後期日用枢事ノ項モ小會ノ議ニテ大略纏リタル様ナレハ之レヨリ本會ニテ決定ノスベシ依テハ其主旨ノミヲ簡短ニ發言スベシ重テ時間ヲ費ス様ノ

p 103

ノ事ナカラシ切望スノココニ於テ十四番（奥高）ハ前説ヲ主張シ十八番（山下）四十五番ノ（中村）ハ之レヲ賛ケテ原案ヲ攻撃シ三十二番（茶谷）四十一番（大津）ノハ前議ヲ取消シ更ニ原案ヲ可トスノ仮會長（荒井）曰 本項ハ之レニテ發言ヲ中止スベシ依テハ先ツノ原案即チ「近キ親族ノ事等ヲ知ラシム」トスルニ同意ノ者ハノ起立スヘシノ 起立 拾七名ノ過半数●●汝●仮會長（荒井）ハ副會長ヲ呼ノテ其席ニ

復サシメ起テ十番ノ席ニ復ルノ副會長（大津）曰 未タ會長ノ出會ナシ故ニ今暫ク代理ノスベシ就テハ之レヨリ算術習字体操 三項ノ審議ノニ取掛ルベシ各員乞フ所見ヲ尽サレヨノ書記起テ左ノ三項ヲ朗讀スノ算術——ノ習字——ノ体操——ノ

p 104

十八番（山下）曰 算術科ヘ容易加法ヲ加ヘタシ其一ヶ所ハ早く加ノ法ノ端緒ヲ知ラシメン為ト本級ノ科目ハ始メニ命位ノ諸等名義十進法ニ係ルモノヲ授ケ後ニ加算呼声ヲ授ル而已位ノコトノナレハナリ故ニ之レヲ加ルモ決シテ困難ナラサルナリノ八番（宮野）曰 本員ハ命位ヲ除キ其跡ヘ加算ヲ入レタシノ十番（荒井）曰 本員ハ原按ニテ可ナリ只十進法ニ係ルモノトノ割詮ヲ削ノ除シ諸等名義ヲ全ク教ユルコトトシタキ而已ノ四番（石川）二十八番（柿本）ハ十八番ヲ賛成スノ十七番（芳野）曰 十八番ニ同シノ四十五番（中村）曰 加算呼声ニ除キテ容易加法ヲ加入シタシノ彼ノ呼声ノ如キハ實際加法ヲ授ルノ際必ス教ヘザルヲ得ノサルモノナレハ別ニ教エ置ニ及バズノ十五番（小竹）曰 原案ニ垂拉比亜数字ヲ加ヘ且活用セシムルコトトシタシノ四十八番（永井）曰 減算九々容易加法ノ二者ヲ原案ヘ増加ノシタシ減算九々ヲ加ルノ主旨ハ次級ヨリ容易減法ヲ授ノシ為メ容易加法ヲ加ルノ主旨ハ諸君ト同意ナレハ敢テノ贅セスノ四十一番（大島）曰 沢山ナル哉諸君ノ動議然レトモ四十一番カノ同意ヲ表スヘキ立案ハ只一ノ原案アルノミ諸君ハ平ノ

p 105

常ノ容易主義ニモ似ズ稍クー級ヲ經シ位ノ生ノ徒ニ向テ種々雜多ノ重荷ヲ負ハシメントスルハ抑モ何ノ心ゾノヤ本員ハ為メニ了解ニ苦ムナリノ四十番（河合）曰 十五番ヘ問フ垂拉比亜数字ノ活用トハ如何ノ十五番（小竹）答曰 位取杯ヲナサシムルナリノ四十番（河合）曰 然ラハ十五番ヲ賛成スノ三十二番（茶谷）曰 算術体操ハ原案ニテ宜シ習字ハ草ノノミヲ省キタシ行スラ餘リ好マザレトモ行ハ必要ニシテ且ノ草

ヨリハ輕キモノ故之レハ省カザル方可ナラント
存ズ／十四番（奥高）曰 五級後期ノミ草ヲ除
キ前期ハ其●力敢テ●ミ／三十二番（茶谷）答
曰 然リ平假名ノ楷ヤ片假名ノ行ハ恐／クハ天
下ニ無キコトナラン尤数字ハ楷書ト信ズ之レ原
案ノ／当期ヨリ楷行草ヲ適宜ニ授クトセシ所以
カ／九番（生島）曰 諸等名義ヲ除キ容易加法
ヲ加ヘタシ／二十五番（生熊）曰 四十五番ヲ
賛成ス／十四番（奥高）曰 三十二番ヲ賛成ス
／十七番（芳野）曰 習字ハ此級位ニテハ楷書
ノミニ止メタシ／十番（荒井）曰 三十二番ノ
説ニ賛成者モアレハ敢テ一言ヲ呈セ／サルヲ得
ズ本級ニ草体ヲ除カントスルハ無用ノ骨折ナリ
前／級ニ於テ平假名ヲ以テ既ニ草体ノ一端ヲ教
エ置タ／

p 106

レバ此級ニ来リテ適宜ニ又之レヲ授ルハ至当ノ
順序ニテ何ノ難キコトカ／ラン諸君ハ草体ト
云ヘハ彼ノ字画スラ不分明ノ様ナル高尚ノ／ノ
モノヲ授ルノ見込カ思ハサルモ亦甚シカラズヤ
／二十七番（林）曰 適宜ノ文字アリ何ヲカ穿
鑿スルヲ要セ／ン原案ノ促ニテ可ナリ／二十番
（慶塚）曰 算術ト習字ト二様ニ別テ論議セシ
メ／ラレタシ此段會長ニ乞フ／副會長（大津）
曰 二十番ノ発言ヲ可トス就テハ先ツ算術ノ
ミヲ討議アリタシ／十五番（小竹）ハ前議ヲ主
張シテ亜拉比亞数字ノ必用ヲ／説キ二十八番
（柿本）十番（荒井）ハ之レニ反シテ無／用ヲ
鳴シ四番（石川）ハ十八番ノ説ヲ敷衍シテ喋々
之レニ賛成／ヲ求メ三十番（徳木）二十番（慶
塚）ハ又之レヲ駁シテ原案ヲ賛／賞シ八番（宮
野）十四番（奥高）二十五番（生熊）十七番（芳
野）四／十八番（永井）各前説ヲ取消シテ更ニ
十八番ノ説ヲ可トス／依テ副會長（大津）ハ先
ツ十八番ニ同意ノ者ヲ起立セシム／起立 十七
名／過半数ニ付之レニ可決シ直ニ習字ノ項ヲ議
ス／三十二番（茶谷）十七番（芳野）各前議ヲ
捍言シ二十八番／（柿谷）二十番（慶塚）ハ三
十二番ノ説ヲ可トシ三十一番（瀬／

p 107

川）四番（石川）三番（松岡）拾八番（山下）
ハ原案ヲ可トス依／テ副會長（大津）ハ先ツ三
十二番ノ説ヲ可トスル者ヲ起立セシム／起立
拾貳名／次ニ原案ヲ可トスル者ヲ起立セシム／
起立 貳拾名／過半数ニ付原案ニ可決シ直ニ体
操ノ項ニ移ル／八番（宮野）曰 前期ト同シ且
運動ヲナサシムト修正シ前期ノニ拘ラス運動セ
シメタシ／十四番（奥高）ハ八番ヲ可トシ四十
七番（室田）ハ二十八番ニ同意／依テ副會長（大
津）ハ先ツ二十八番ノ説ニ同意ノ者ヲ起／立セ
シム／起立 拾五名／次ニ八番ノ説ニ同意ノ者
ヲ起立セシム／起立 拾七名／過半数ニ付八番
説即チ「前期ニ同シ」トシ運動ヲ省クコトニ／
決定ス之レニテ第五級後期ノ第二次會ヲ了リ會
長／（瀬川）副會長（大津）ト交替シテ其席ニ
着キ第四級前／期文学ノ項ヲ朗讀セシム／

○第四級前期

文学———／

p 108

讀書———／書取及ヒ作文———／十番
（荒井）曰 書取及作文ノヶ所ヲ「前期ニ同シ
且讀本ノ／句章ヲ拔萃シテ書取ラシム」ト修正
シタシ／三十番（徳木）四十一番（大島）之レ
ヲ賛成ス／八番（宮野）曰 讀書ニ講談法ヲ加
ヘタシ／十七番（芳野）曰 原案ハ難クシテ実
際ニ行レカタシ故／ニ作文ヲ削テ書取トシ單ニ
「日用文字ヲ書取シム」ト修／正シタシ／且日
用文字及單簡ノ用語ヲ書取ラシム」ト修正シタ
シ／八番（宮野）曰 書取等ノ項ニ付テハ先刻
ヨリ熟考ヲ重／ネシニ到底原案ニテハ六ヶ敷ト
思フ故ニ單語及讀本ノ／句章ヲ拔萃シテ書取ラ
シムト修正シタシ／十番（荒井）曰 書中ノ語
ヲ變化シテ句ヲ作ラシムルハ実ニ困／難ノ事ナ
タズヤ之レヲ例ヘバ花ナレハ時候ヲ誤リ色ヲ紛
ラ／ス杯等ノ憂必ズヤ尠少ノコトニ非ルナルベ
シ之レ本員カ削除セ／

p 109

ント欲スル所以ナリ一應前説ヲ敷衍シ置ク／四
十七番（室田）曰 相替ラス諸君ノ動議モ沢山
ニ出タレトモ賛成／シタキ明説ハ如何ニシテモ

見当り申サズ依テハ氣ノ毒ナカラ原案ノノ俣ヲ賛成スノ四十八番（永井）曰 四十七番ニ同意ノ十八番（山下）曰 本員モ四十七番ト同腹ナリ既ニ前期ニ於テ書取ラノシメン所ヲ当期ニ至テ其語ヲ変化セシムルナレハ決シテ困難ノノ筈ハ之レナシト考フノ四十五番（中村）曰 十八番ノ示教ニ依テ大ニ悟ル所モアレバノ前説ヲ取消シ更ニ原案ヲ可トスノ此時十五番（小竹）十番（荒井）二十番（大津）四十七番（室田）ニノ十番（慶塚）等ノ間ニ於テ書中ノ語ヲノ変化云々ノ義ニ付数回ノ問答ヲナシ其末會長ヨリノ答弁書取ヲ示シテ稍ク局ヲ結ブニ至ルテ二十一番（大津）二十番ノ（慶塚）ハ原案ヲ可トシ十番（荒井）十四番（奥高）ハ原案ノ修正ノ義ヲ固執シ且ツ曰今ノ書ト旧ノ書取ハ文字ノヲ知ラシムル為ニ課スエフ混合同視スル勿レトノ會長（瀬川）曰 最早決議ヲ起立ニ採ラン先ツ十七番ノ説ニ同意ノ者ハ起立スベシノ

p 110

起立 三名ノ次ニ二十番ノ説ニ同意ノ者ハ起立スベシノ起立 七名ノ次ニ原案ヲ可トスル者ハ起立スベシノ起立 二十名ノ過半数ニ付原案ノ俣ニ可決シ之レニテ午食トナルノ時已ニ零時二十分ノ午後壱時四十分再開議ノ未着 午前ノ如シノ午後壱時四十分會長會員及書記等ノ各例ニ依テ着席シー同正礼ス畢テノ會長ノ下ヘ（瀬川）ヲ入レベシ會長ハ左ノ数項ヲ朗讀セシムノ庶物指数——ノ——ノ口授——ノ修身——ノ養生——ノ日用枢事——ノ二十五番（生熊）曰 口授科修身ノ部ヘ三大恩ノ事ヲ知ラシムトノノ明文ヲ加ヘタシノ四十五番（中村）曰 口授科日用枢事ノ原案ヲ全ク削ノ除シ易ルニ「度量衡ノ用法ヲ授ク」トノ文字ヲ据ノエタシ又修身ノ部ハ生徒心得等ノ中ニテ要用ノノ分ヲ授ルコトトシタシノ

p 111

十七番（芳野）曰 日用枢事ノ処ハ「皇家華土族平民ノノ名義等ヲ知ラシメ兼テ服忌及ノ氏神菩提所ノ名号等ヲ授ク」ト附加修正シタシノ十番（荒井）献議シテ曰 日用枢事ノ標目ハ教員

ノノ心得ニ掲ルモノナレハ實際授ケ度モノノ一々列挙スルニノハ実ニ夥シキ事ニテ豈止タニ皇家華土族ノ名義ノノミナランヤ 故ニ教則ノ表テハ單ニ「日用切近ノ事ヲノ授ク」トカト記載シ置キ其他ハ教員ノノ心得ト致シ置タシ然ラズンバ毎期間苦シキノ加除説續々トシテ湧出シ甲ハ郡長ノ名ヲ授ント云ヒノ乙ハ戸長ノ名ヲ知ラシムルヲ切近ト云ヒ其名止スル所ノヲ知ラサラシメントス切ニ望ム會長ニ於テハ此段會員ノ諸君ニ計リ大英断ヲ以テ本義ヲ採用シ以后ノ斯如細事ニ空ク鳥兔ヲ逸走セシメザランノコトヲ敢テ乞フノ會長（瀬川）曰 熟考ノ上採否ヲ確答スベシノ三十二番（茶谷）式五番ニ質シテ曰 五級前期ヨリ当級ニ至ルマテ徳義行ノノ一端ヲ論ス事ニ議決シ来レリ故ニ三大恩ノ如キハ自ラ此中ニ含ノ蓄シアルコトナラズヤ然ルヲ今爰ニ其目ヲ特ニ明記セントハノ如何ノ主意ゾノ二十五番（生熊）答曰 仰ノ如ク五級ヨリ徳義行ノ一端ヲ授ケ来リノタレトモ之レハ眞ノ一端ニテ中々三大恩ノ事ヲ了然會得セシノメントハ申シ難シ故ニ文字上ヨリ一見スレバ徳義行ノ中ヘ含入ノセズトハ定メ難ケレトモ實際授業スル所ニテハ全ク別物ノナリ是レ故ラニ当級ヨリ目ヲ掲ケテ三大恩ノ事ヲ知了セノシメントスルノ精神ナリノ

p 112

十五番（小竹）之レヲ賛成スノ十番（荒井）之レヲ駁シテ曰ク三大恩ト云フモ他ニ別種ノモノアルニノ非ス修身中ノ一種ニテ即チ徳義行ノ中ニ含蓄シアルノハ今更弁明ヲ要セサルナリ故ニ之レニシテ特ニ明記セントナラハ五ノ常五倫等モ固リ特ニ明記セサルヲ得ズ豈無用ノ説ニ非ズヤノ一應二十五番ニ不同意ノ点ヲ弁ズノ十七番（芳野）曰 修身養生ハ原案ニ大賛成ナリト雖トモノ独リ日用枢事ハ前説ノ如ク修正セサル可ラズ然ラザレハノ前期ニ削除セシ服忌ノ事ハ抑モ何レヘ組込マントスルヤ乞フノ熟慮スル所アレノ二十五番（生熊）曰 十番會員カ楊々乎トシテ三大恩ハノ徳義行ノ一端ノヲ論ストアル内ニ含蓄シアルヲ御主張ナレトモ夫レハ自ノ家一

個ノ想像ノミ況ンヤ三大恩ノ事タル確乎其區別
ノヲ知ラサル可ラサル人倫ノ大本タルニ於テオ
ヤ諸君ハノ記セヨ今ノ小学教授ノ通弊ハ道德ノ
衰退ニ在ルノコトヲノ三十二番（茶谷）曰 二
十五番ハ徳義行ノ外ニ三大恩ト云ノフモノアル
様ニ弁明アレトモ本員信ズル能ハズ謂フノ本員
ノ下ヘ●●末モノ字ヲ加フ所自家一己ノ想像ノ
ミ豈信拠トスルニ足ランヤトハノ夫レ之レヲ云
フモノ欤ノ四番（石川）十番（荒井）六番（河
内）二十一番（大津）交々ノ起テ二十五番ノ説
ヲ駁撃シ四十七番（室田）ノ奮然之レニ●シテ
二十五番ヲ賛成スノ二十五番（生熊）曰 三大
恩ノコトヲ授ントスルモ畢竟身ノヲ修メシムル
ノ基礎タラシメン為ナレバ固リ修身ノ

p 113

ノ二字ニ含蓄スル事ハ予豈之レヲ知ラザランヤ
然リト雖ノトモ三大恩ノ如キ必ス知ラシメサル
可ラサル要件ハ特ニ區別ノシテ明記シ置ヲ可ト
ス然ラザレハ自然粗漏ニ渉ルハノ勢ヒノ免ル可
ラサル定数ナレバナリ本員カ曩キニ徳ノ義行ノ
一端ヲ論ストアレハ三大恩ノ事モ無論含蓄ノシ
アリテ實際ニ行ハル々者ト愚行スルノ會員ヲ指
ノシテ自家一個己ノ妄想而已ト評セシモ蓋シ此
故ノナリ諸君ヨ算術科ニ加法ト掲記スルモ尚ホ
厭ノキ足ラズシテ故ラニ疊加ノ文字ヲ加ヘシハ
抑モ何ノ所以ゾヤノ幸ヒニ再考スル所アレノ四
十四番（平田）曰 原案ヘ聖上ノ御尊称ヲノ知
ラシムル事ヲ加ヘタシ凡ソ日本國中ノノ生靈ニ
シテ自己ノ至尊カ御譚スラ弁知セズシテノ可ナ
ランヤ他ハ原案ヲ賛成スノ十番（荒井）曰 先
刻本員ヨリノ献議ハ御採用ナキカノ會長（瀬川）
曰 追テ採否ヲ申スヘシノ四番（石川）三十二
番（茶谷）ハ切リニ原案ノ俚ヲ可トノシテ二十
五番十七番ノ両説ヲ駁シ十四番（奥高）ハ服忌
ノハ八級ニ於テ授ルヲ適當ト述ベテ十七番ノ説
ヲ可トスノ會長（瀬川）曰 三大恩ノコトヲノ
授ル旨ヲ明記スル二十五番ノ説ニ付キ決議ヲ徵
セン先ノツ二十五番ニ同意ノモノハ起立スヘシ
ノ起立 五名ノ小數ニ付消滅ス依テ修身ノ頃ハ
ノ

p 114

原案ノ俚ヲ可トスル者ヲ起立セシムノ五名ノ外
惣起立ノ次ニ十七番ノ説ニ同意ノモノヲ起立セ
シムノ起立 五名ノ原案ヲ可トスルモノノ起立
二十三名ノ過半数ニ付口授ノ教科ハ全ク原案ノ
俚ニ可決ノス依テ直ニ次項ニ移ルノ地理ノ・世
界及ヒ云々ノ八番（宮野）曰 地図ヲ加ヘタシ
ノ十番（荒井）曰 原案全ク削除シ代ルニ「住
居スル地方及ノヒ日本國ノ大綱ヲ授ク」ト修正
シタシ抑モ原案ノノ組立タルニ之レマデノ慣
習ニ依リ粗ヨリ密ニ入ルノ順ノ序ニテ先ツ世界
ノ大体ヲ授ケ次ニ日本ノ大綱次ニノ住居スル地
方ノ事ニ及フノ立案ナレトモ右ハ小学科ノノ目
的即所謂近キヨリ遠キニ及フノ主旨ニ反ノスル
ノミナラズ能クノ世界ノ円形ヲ知ルモ日本ノ蜻
蛉状タルヲ知ラズ能クノ日本全州ノ風土ヲ論ズ
ルモ却テ居國ノ事ヲ知ノラザル様ノ不都合蓋シ
實際ニ之レアラン其ノ迂遠ナル智者ヲ又俟タズ
シテ知ルベキナリ故ニ良シノヤ居國ノ事情ニ粗
ナルモ地方ノ事情ニハ密ナラサル可ラス良シ
ヤ宇内ノ形勢ニ迂遠ナルモ日本ノノ形勢ニハ通
曉セサル可ラス之レ小学ニ適スノ

p 115

ル至充妥當ノ説ナリト深ク信シテ疑ハザル所ナ
リノ各員乞フ慣習ニ泥マズ偏理ニ溺レズ原案ノ
ニ一犬修正ヲ加ヘテ我カ協議會ノ卓見ヲ知ラシ
メヨノ十四番（奥高）曰 當級ハ生徒ノ年齢ノ
漸カニ六才半内外ノ者ナレバ之レニ地理科ヲ授
ノルハ尚早シト思フ依テ本員ハ全ク削除シノタ
シノ十七番（芳野）四十一番（大島）之レヲ賛
成スノ三十二番（茶谷）曰 原案ヲ賛成ス十四
番會員ノ様ニノ之レモ六ヶ敷彼レモ六ヶ敷ト云
ヘバ六ヶ敷モノ而已ノニナリテ到底授業ヲ止ル
ヨリ外手段ナカルヘシ眞ノノ地理科ノ大体ヲ授
ルニ豈能力ニ堪ヘサルノ恐レアランノヤノ四十
七番（室田）曰 世界ノ大綱ヲ授ル而已ニノ止
メテ而シテ地図ヲ加ヘタシノ二十一番（大津）
曰 十四番ハ地理ヲ授ルコトヲ困難ト云ヒノ十
番ハ粗ヨリ密ニ入ルハ迂遠ト云ヒ共ニ原案ニ不
同ノ意ナレトモ地理ヲ授ルノ一点ハ三十二番ノ

／弁明モアリタレハ敢テ贅セズ粗ヨリ密ニ入ルヲ不可ト／スル十番ノ説ハ殆ト苛怪トコソ存ズレ例セハ人ノ栖／息スル所ハ世界ニシテ其世界ヲ大別シテ五大州／トシ而シテ其大州ヲ再別シテ数箇ノ邦国トシ又／之レヲ小別シテ数郡ニ分画スル杯ト授ル事ハ蓋シ／地理学ノ定法／

p 116

ニシテ蓋シ動カス可ラサ／ルノ順序／ナラン故ニ本員ハ飽マデ／原案ヲ可トス／四番（石川）曰 二十一番ノ説明ハ論ジ得テ妙ナリ原／案賛成／十番（荒井）曰 一タヒ小学ニ入りモノハ挙ク之レ全科ヲ／卒業シ得ルモノナラハ粗ヨリ密ニ入ルモ近キヨリ遠／キニ及フモ其地理一科ヲ学ヒ得シ結果ハ蓋シ／甚キ優劣ナカラン然ト雖トモ／●ノ生徒ノ実タル●ノ七八ハ中途ニシテ退学スルモノ／トセバ粗ヨリ密ニ入ルノ順序果シ／テ間然スルナキカ／余ハ恐ル世界ノ大綱知テ日本／ノ大綱ヲ知ラズ日本ハ八十餘州タルヲ知ルモ却テ／居国ノ四郡タルヲ弁知セサルノ迂遠生徒ヲ將／来ニ輩出センコトヲ諸君乞フ原案／トサヘ云ヘハ必ス至当ノ者タルトノ妄信ヲ抑ヘ／沈思熟按スル所アレ／六番（河内）曰 十番ヲ賛成ス／十八番（山下）曰 十番ノ説ヲ不可トス何トナレバ能登国／ト云フモ一孤独別ノ能登国ニ非ズ日本国杯ノ能登国ナリ／日本国ト云フモ亦一孤独別ノ日本国ニ非／ス亜細亜州中ノ一部ナリ然ルヲ基本ヲ知ラ／シメズシテ其末ヲシラシメントスルモ生徒何ニ依テカ理／會スルヲ得ン何ニ依テカ了解スルヲ得ン思ハザルモ／

p 117

亦甚シ／十番（荒井）曰 十六番ノ喋々スル所ハ皆慣習ニ拘泥セシ／ヨリ発スル説ナリ試ニ聞ケ先ツ輪島町ノ大体ヲ／授ケ而シテコノ輪島ト云フモ鳳至郡中ノ一市／街ナリ鳳至郡ノ中ニハ宇出津アリ柳田アリ／將タ門前アリ杯ト授ケ尚ホ進テ鳳至郡ト云フモ能／登国ノ一部ニシテ能登ハ此外二モ 珠洲 鹿島 羽咋ノ三／郡アリ杯ト層一層近キヨリ遠キニ及フニ何ソ生／徒ノ理會セサルノ理アラシヤ本員ハ却テ粗ヨリ密／

ニ入ルノ順序トハ生徒脳裡ノ感覺ハ一段適切ナ／ルヲ信スルナリ／四十七番（室田）曰 十番ノ説ハ自ノコトサヘ知／レハ夫レニテ足レリトスル井蛙ノ管見ナリト駁シ／十八番（山下）二十一番（大津）三十二番（茶谷）ハ各前説／ヲ反覆シテ十番ノ動議ヲ駁撃シ十七番／（芳野）十四番（奥高）ハ理窟ハ追テ發言スベキカ差／当リ当然ニハ地理ヲ授ルニ及バズト重テ前議／ヲ再演ス／十番（荒井）曰 居村ノ事ダニ充分ニ弁知セザ／ルノ児童ニ向テ地球ノ円形ヲ説キ運轉ヲ論ス／啻ニ児童ノ感覺ヲ驚シ實際ニ功益ナキノミナラズ／之レカ父兄ハ自巳信仰ノ須彌説ニ相違スルヨリ／失望變シテ不平トナリ不平ノ及ブ所子第／ノ就学ヲ妨ルモノ蓋シ／勘少ナラサルナリ及カズ／

p 118

地球ノ円形ヲ説クヨリハ近郷居郡ニ関スル／要領ヲ授ンニハ敢テ前説ヲ主張スル事斯ノ如シ／三十二番（茶谷）曰 十番ハ／父兄カ地円説ヲ望マザルニヨリ到底之レヲ授ケザル／ノ意カ將タ須弥山ノ議釋デモスル積リカ／十番（荒井）曰 然ラズ本員カ持説ハ近キヨリ遠キ／ニ及ボスノ主旨ニテ地球ノ円形ヲ授ル程ノ級ニ／進ミシモノヘノ固リ之レヲ授ル積リ只／居国ノ半島タルスヲ弁知セサルノ生徒ニ向テ／地球ノ円形ヲ説クハ返ス々モ不可ナリトノ／持論ナリ／四十八番（永井）曰 十番ノ説ハ前後無類ノ卓見ニ／シテ開會以來ノ名説ナリ之レヲシテ原案タラシ／メ之レヲシテ慣習ニ反セザラシメハ全會一致ノ／成々／會長（瀬川）ハ稍ヤ論議ノ衰ヘタルヲ見テ曰 原案ノ俛ヲ可トスルモノハ起立スベシ／起立 拾七名／過半数ニ付原案ニ可決ス次ニ書記起テ左ノ／原案ヲ朗讀ス／算術——一／・加法及ヒ其應用云々／二十五番（生熊）曰 心算ヲ加ヘタシ／三十八番（柿本）八番（宮野）之レヲ賛成ス／三十番（徳木）曰 減算ヲ加ヘタシ／

p 119

十四番（奥高）十八番（山下）十七番（芳野）之レヲ可トス／四十八番（永井）曰 減法及乗

算九々ヲ加ヘタシ／十番（荒井）曰 疊加練習
及ヒ其應用并セテ減算呼／声容易減法ヲ授クト
修正シタシ／四十七番（室田）曰 原案ノ俣ニ
テ可ナリ／十番（荒井）二十五番（生熊）十七
番（芳野）四十八番（永／井）等ヨリ發言モア
リタレトモ要スルニ自説ヲ伸ベ他／説ヲ排スル
ニ外ナラサレハ會長（瀬川）ハ賛成アル／ノ動
議即二十五番三十番ノ両説及ヒ原案ハ起立／ヲ
命スルニ左ノ如シ／三十五番ノ説ニ起立スルモ
ノ 拾名／三十番ノ説ニ起立スルモノ 九名／
原案ニ起立スルモノ 拾三名／會長（瀬川）ハ
各説ニ何レモ過半数ヲ得ザルニ付規則ニ拠リ小
／會議ニ付スルコトトシ直ニ次項ヲ朗讀セ／シ
ム／習字——／・前期ニ同シ／體操——
一／・前期ニ同シ／右二項ノ審議ニ當テ四十五
番（中村）ヨリ／東京幼稚園ニ行ハルゝ運動唱
歌ヲ女兒ノ運動／

p 120

ヘ加ヘタシトノ動議モアリタレトモ賛成者ナク
シテ消／滅シ他ニ異議ナク原案ニ可決シ之レニ
テ本日／會ヲ閉ジ于時午后四時十分ナリキ／本
日傍聴人午前午後共六名／

珠洲鳳至郡教育協議會日誌第拾卷号／

明治十三年七月廿二日午前九時開議／

欠席 二番 三番 十一番 十二番 廿二番
／廿九番 卅三番 卅五番 四十六番／五十番
／

未着 五番 十六番 十九番 廿四番 廿六
番／三十七番 四十二番 四十三番 四十九番
／

午前第九時會長會員及勝山郡書記等各其席ニ着
キ一同正礼ス／畢テ會長（瀬川）ハ之ヨリ小會
議ニ取掛ル旨ヲ演ベ席ヲ副會長／（大津）ニ讓
テ三十一番ノ席ニ着ク午前十時ニ至リ本會ヲ開
キ會長（瀬川）／其席ニ復シテ曰之レヨリ小會
議ニ於テニ派ニ別レシ算術科ヘ心算／ヲ加ルノ
当否ヲ決セン先ツ三十番ノ説ニ同意ノ者ハ起立
スヘシ／起立 拾五名／會長（瀬川）又曰二十
五番ノ説ニ同意ノ者ハ起立スベシ／起立 拾五

名／

p 121

可否同数ナルヲ以テ會長ノ意見即チ二十五番ノ
説心算ヲ加ヘ且習字体操／ハ原案ノ俣ト決セセ
リ／二十五番（生熊）曰 此階級ヘ容儀縫裁ノ
二科ヲ追加シタシ此段／各員ノ翼賛ヲ乞フ／四
十七番（室田）八番（宮埜）之レヲ可トス／十
七番（芳野）曰 容儀ヲ加ルハ如何ニモ同意併
シ縫裁ハ／適宜ニ教授スル事トシタシ然ラザレ
ハ現今ノ実況ニテハ名／実相適ハザルノ恐レア
ランカ／廿一番（大津）曰 容儀ヲ加ルハ二十
五番ヲ賛成ス然レ／トモ縫裁ハ年少々長セサレ
ハ恐ク／ハ其公益尠シナラン故ニ本員ハ級期ニ
拘ラズ満八年以上ノ女子ニ授ルコトトシタシ
／十番（荒井）曰 小差ナキニ非レトモ先ツ々々
原案ヲ／賛成ス／四番（石川）曰 二十五番ヲ
賛成ス何トナレハ目今ノ都合ニテハ十オ／十一
オニ至リ初テ入学スルモノ実ニ夥シ然スレハ当
級ニ於テハ／十三四オノ者蓋シ小少ナラサルベ
シ故ニ此両科ハ是／非授ケザル可ラス／十番
（荒井）曰 然ラズ当級ニシテ十三四オノモノ
アルハ之レ非／常格外ノコトナリ非常格外ノ例
ヲ以テ尋常普通ノ／更ヲ論ズル恐クハ其當ヲ失
センカ故ニ当期ハ四級前期ナ／レハ生徒ハ七年
ヨリ七年半マデノ者ト心得テ審議／セサル可ラ
サルハ勿論ノ事ト信セリ之レ本員等カ見テ以テ
尚早シト／スル所以／

p 122

三十二番（茶谷）曰 満八年以上ニ至ラサレハ
縫裁ハ不可ナリトノ／理由如何／二十一番（大
津）答曰 縫裁ハ指／手ノ技芸ナレバ固リ年齢
相当ノモノニ非レバ課ス可ラ／サルモノナリ抑
モ／八年以下ノ女子ハ之レ如何ナル經過期ゾヤ
／筋肉極メテ堅固ナラズ体格極メテ充全ナラズ
腦力ヤ活力／ヤ一トシテ微弱ナラサルモノナシ
母姉ハ之レヲシテ唯針ヲ持／タシムルスラ尚且
ツ浮雲ナシトスルノ年齢ナルニ／良シヤ素縫ニ
モセヨ平刺ニモセヨ之レニ運針力ヲ授／ントハ
豈大早計ノ更ナラズヤ斯ノ如キ微弱ノ幼／女ニ
強テ手芸ヲ授ルノ害ハ独リ本員ノ一家言ニ／ア

ラズ古来教育家ノ深ク訓誡スル所ナリ夫レ然ル故ノニ他府県ニテハ高等生ニ非レハ課セサルノ制度ハ其ノ例尠キニ非レトモ本郡ノ如キハ特ニ縫裁ヲ渴望スルノ風習ノナルカ故ニノ本員ハ民情ヲ付度シテノ成ルベキ速ニ之ヲ授ンノトシ満八年以上ト云フ動議ヲ起セシ所以ナリノ十七番(芳野)曰 二十五番ハ裁縫ヲ当級ヨリ課スルモ郡内挙テノ行ハルハノ見込カノ二十五番(生熊)曰 然リ斯克申サバ女教員ノナキ校ハノ如何スルトノ難問モアランカ夫レハ教則編輯ニ當テハ論ノセサル事ナリ本員ハ概シテ女生ノ出ル校舍ニハ必スノ

p 123

女教員ノ在勤スルモノト見做セリ是レ普通ノ定ノ則ナランノ四十一番(大島)曰 二十五番ノ説ヲ可トスノ十四番(奥高)曰 種々沢山ノ動議モアレトモ本員ハ原ノ案ヲ賛成ス奈何トナレバ各員ノ説概ネ實際ニ行ノハレ難ケレハナリノ八番(宮野)曰 脳力ニ適セヌトカ實際ニ行レヌトカノ色々ノ議論モアレトモ皆誤リナラン当級ニハ左様ノノ六ケ敷コトヲ授ルニ非ズ唯運針ノ初歩ヲ開クマデノナリ飽マデ二十五番ノ説ヲ可トスノ四十五番(中村)曰 本會開場以來既ニ一句ヲ閱スト雖トモノ其議決スル所実ニ僅少ナリ如斯実況ニテハ本會ノノ終局夫レ果タ何レノ日ゾヤ実ニ不安心ノ至リナリノ依テハ今ヨリ一大更革ヲ本會ニ施シ員中ヨリ若ノ干ノ委員長ヲ置キ之レニ審議ヲ委任シ余輩●劣ノノ冗會員ハ速ニ帰校シ費用ノ嵩増ヲ減殺シノタシ此段獻議ス然ラハ徒ニ日数ヲ浪費シ費用ヲノ増加スルノ恐レアリ切ニ會長ノ採用ヲ願望スノ會長(瀬川)曰 追テ採否ヲ沙汰スヘシノ十七番(芳野)曰 差少ノ相違ナレハ今ヨリ前議ヲ取消シノ十番ニ同意ノ廿八番(柿本)曰 裁縫ヲ課スルハ二十五番ヲ賛成ス容ノ儀ハ尚早シノ四番(石川)曰 四十五番ノ獻議ハ事別途ニ属スト雖トモ實ニノ本會ニ於テハ緊要ノ要件ト存ズ乞フ一時モ早くノ衆員ノ所見ヲ諮詢アリタシ切ニ會長ニ乞フノ

p 124

十八番(山下)愁然トシテ之レヲ敷衍スノ會長(瀬川)從容トシテ曰一應聞置申スノ十番(荒井)曰 当級ヨリ裁縫ヲ加ントスルノ論者ハ其ノ由來スル所年長生徒ヲ教授シタキ主旨ノ如シ果シテノ然ラハ何ソ特ニ當級ヨリスルノ理アラン宜ク五級前期ヨリノ立論アルベキヲ至當ト存ズ然ルヲ前二期ニノ於テハ斷ヘテ其獻議ナク今ニシテ之レヲ蝶々スルハ前ノ後不揃ノ説ナリト云ハサル可ラス乞フ覺悟スル所ノアレノ廿七番(林)曰 先刻ヨリ十番會員ノ御講釈ヲ承リノ退テ熟考スルニ當級ヨリ八年以上ノ女生徒ニノ縫裁ヲ教ル何モ前後不揃ノ説ニ非ズノ踏掛ノ初級ナレハ姑ク之レヲ授ケサルナリ故ニ廿一番ヲ賛成スノ四十八番(永井)三十二番(茶谷)共ニ之レヲ駁シテ原案ノヲ可トスノ二十五番(生熊)ハ起テ前説ヲ主張シ十番(荒井)ノハ痛ク之レヲ駁撃ス爰ニ於テ二十五番(生熊)奮然ノトシテ會長ニ發言ノ許諾ヲ求ルモ會長(ノ瀬川)ハ之レニ一弁ヲ許サバ必ズ再ヒ議場ノ鼎沸ヲ●サンコトヲ慮リ強テ之レヲ制論ノシテ言ヲ抑止シ且裁縫容儀ニ科ヲ分別シテ決スベシ依テハ先ツ縫裁ノ項決セントテノ直ニ起立ヲ命ズルニ左ノ如シノ原案ニ起立スルモノ 拾九名ノ次ニ容儀ノ項ニ起立ヲ命ズルニ左ノ如シノ二十五番ノ説ニ起立スルモノ 拾七名ノ

p 125

過半数ニ付縫裁ハ原案ノ促容儀ハ當級ヨリ挿ノ加スルニ決ス于時十番(荒井)一難疑ヲノ發シテ曰 二十五番ハ何故ニ起立ナク左手ヲ挙テ起ノ立ニ代ルヤ亦會長ハ何故ニ之レヲ許容シテ起ノ立ノ数ニ算入セシメンヤ敢テ質問セント會長(瀬川)之レニ答テ曰 原來式十五番ハ頃日足痛ニシテ屈ノ伸自在ナラズ然レトモ會員タル本分ヲ尽サンカ為メ勉ノ強シテ出會ノ事ナレハ特別ニ之レヲ遇セサルヲ得サルノナリ三十二番(茶谷)曰 二十五番ハ病氣トハ云ハルレトモ医ノ案ヲ以テ御届ニモ成ラサルコトナレハ會長限リ特別ノノ待遇ハ議事細則ニ戻ラサルカ果シテ人並ニ起立ノノ出來サル病人ナラハ宜ク本場ヲ辞シテ療養ノセシメテ可ナリ豈一會員ノ為メ

ニ全會ノ規則ヲ枉／屈セシムルノ理アランヤト
飽マテ純理ヲ主張シ四番／（石川）ハ三十二番
ノ説眞ニ理ナリ然ト雖トモ理ニ泥ンデ情／実ヲ
察セザルハ酷ニ非ズシテ何ソ今ヤ二十五番ハ身
／ニ豎ノ杞ス所トナルモ本會ヲ愛シ職令ヲ重ン
ズルカ／為メ却テ病ヲ杞シテ出會アルハ豈篤志
ノ會員ナラズヤ豈／眞誠ノ教育士ナラズヤ然／
ルヲ区々タル細則ニ束縛セラレ此良會員ヲシ
テ／將サニ場外ヘ放逐スルノ不幸ヲ／行ハサル
ヲ得サルトハ実ニ遺憾ニ堪ヘサルナ／リ各員ヨ
乞フ細則ニ悖ラズ二十五番ヲ棄テズ一挙／両全
ノ良策ナキカ乞フ焦思スル所アレト爰ニ至テ／
甲論シ乙議シ其末「病氣等止ヲ得サル事故アリ
テ／

p 126

特ニ會長ノ許諾ヲ得シモノハ本文ノ限ニ非ス」
トノ但書ヲ設／ルコトニ決定シ之ニテ午食ヲ命
ス其時午後一／時／午后貳時再開議／未着 午
前ノ如シ／午後二時柝鳴リ會長會員及勝山郡書
記等各席ニ着／キ一同正礼ス畢テ會長／（瀨川）
ハ先刻四十五番（中村）會員ヨリ女兒ニ課スル
運動唱／歌ノ義ニ付献議アリ今ヤ之レヲ問題ト
セン乞フ／同意ノ各員ハ起立アレト演ブ四十五
番（中村）ノ外／耄人ノ起立者ナシ依テ會長（瀨
川）ハ規則ニ照ラシテ之レヲ／廢棄シ將サニ三
級前期ニ移ラントス于時二十五番（生熊）／發
義シテ曰 四級前期ヨリ容疑ヲ課スルニ決セシ
上ハ固リ当／級ヘモ挿加セザルヲ得ス縫裁モ亦
然ク思ヘリ望ラクハ数／分時間ヲ借シテ諸君ト
討議セシメラレト會長（瀨川）／ハ之レヲ諾
シテ發議ヲ命ズ／十七番（芳野）曰 固リ二十
五番ニ同意依テハ四級前后期ノ裁／縫科目ハ原
案ノ三級前期ニ掲シモノヲ操下ケタシ／八番
（宮埜）曰 本期ヘノ挿加ハ起居挙動ノミニテ
可ナリ／七番（貴田）四十四番（平田）之レヲ
賛成ス／十番（荒井）曰 八番ハ容儀ヲ課スル
ニ起居挙動而巳ニテ足レリ／トシ礼儀ヲ授ケザ
ルノ見込ナレトモ夫レハ甚タ不可ナリ抑モ礼／
儀ノ大切ナルコトハ／八番ト雖トモモヤ異存
ハ之レアルマジ而シテ如斯ノ立論ア／ルハ畢竟

礼智信ノ礼ノ如キ六ヶ敷モノトノ誤解ヨリ／出
シモノナランカ何モ兎モアレ本員ハ二十五番ノ
賛成者／

p 127

ナリ反对論者乞フ三省スル所アレ／四十番（河
合）三十二番（茶谷）四十七番（室田）之レニ
同説／八番（宮野）曰 礼節ヲ課セザルハ十番
ノ推察ト違ヘリ／業既ニ礼儀ノ大切ナル事ヲ口
授シ置タレハ夫ニテ足レリ／トスルナリ六ヶ敷
故ニ授ケザルノ見据ニ非ス十／番ハ却テ誤解ナ
リ／會長（瀨川）曰 二十五番ノ説ヲ可トスル
モノハ起立スベシ／七番（貴田）八番（宮埜）
四十四番（平田）ノ外惣起立／過半数ニ付二十
五番ノ發議ニ可決ス之レニテ四級后期ノ各目ヲ
／議了シ直ニ第四級后期ニ移ル／

○第四級后期

文学——／讀書——／書取及作文——
——／八番（宮野）曰 書取科目ノ中ニ在ル「日
用文字ヲ書取ラシメ併セテ」／ノ十三字ヲ削除
シタシ／四十八番（永井）曰 本員ハ「前／期
ニ同シ且」ノ六字ヲ削リタシ／二十八番（柿本）
十七番（芳野）ハ之レヲ賛成シ／二十五番（生
熊）十八番（山下）十番（荒井）四十七番（室
田）ハ立案／ノ主旨ヲ述ベテ原案ヲ維持シ四十
八番（永井）ハ再ヒ起テ／前説ヲ主張ス／四十
五番（中村）曰 本員ノ望ム所ハ各員ト異ナ／
リ其案ハ「短簡ノ用語及請取証文ヲ書／取ラシ
メ兼テ短簡ノ文ヲ作ラシム」ト書取等ノ項ヲ／
修正シタシ／

p 128

會長（瀨川）曰 最早決議ニ取掛ラン依テハ原
案ヲ／可トスルモノハ起立スベシ／起立 式拾
式名／過半数ニ付之レニ可決シ直ニ庶物指数ノ
項ニ移／ル／會長（瀨川）曰 日用枢事ノ義ニ
付過刻十番會員ヨリ／献議アリ其事タル日用枢
事貨幣紙／幣ノ事ヲ授クトカ又ハ祝祭日慶吊存
問ノ事ヲ／知ラシムトカアル題目ヲ一切除却シ
單ニ日用切近ノ／事ヲ授ク位ノ文字ニ總ベテ之
レヲ更メタシトノ主／旨ニテ其所以ハ前會ニ於
テ同員ヨリ反覆弁論モ／アリタルコトナレハ更

ニ贅セズ就テハ右ノ利害得失ノヲ一應各員ト討議シタケレバ今ヨリ之レヲ議題トスノ可シトフ所見ヲ尽サレヨノ十八番（山下）曰 甚タ非ナリ十番其人ノ如キ良教員ノミノナラハ或ハ可ナランカ今日ノ実況ニテハ到ル所幼穉教員ノ而已此幼穉ノ教員ニ向テ此標的ヲ除却ス恐クハ人々ノ五里霧中ニ座スルノ思ヒアリテ結局日用樞要ヲ授ノケザルニ至ランモ亦知ル可ラズ原案ニテ適当ナリノ茲ニ於テ十番（荒井）ハ蝶々十八番ヲ駁シテノ献議ノ主旨ヲ捍言シ二十一番（大津）十七番（芳野）ハ之レヲ賛ケテ弁論シ四十七番（室田）四十一番（大島）ノ各原案ヲ維持シテ之レヲ不可トス會長（瀬川）ハ論ノ議稍ヤ衰フルヲ見テ決ヲ採ル先ツ献議ヲ可トスノルモノ起立セシムノ起立 七名ノ

p 129

小数ニ付消滅トシ直ニ小會議ヲ開キ四十五番ノ會ノ員減少説ヲ協議ス（廢案）午後三時三十分本會ニ復スノ庶物指数ノ前期ニ同シノ口授ノ修身ノ養生ノ日用樞事ノ十八番（山下）曰 日用樞事ノ項ヘ服忌ヲ入レタシノ十七番（芳野）之レヲ賛成スノ十番（荒井）曰 「且徳義心ノ一端ヲ論ス」 十字ヲ削リタシノ三十二番（茶谷）曰 原案ニテ宣シ祭祝日ノカ所ヘ服忌ノヲ加入セントハ不釣合至極ノ十七番（芳野）曰前期ヘ組込ベキ筈ナルヲ各員ノ不注ノ意ヨリ当期ヘ後レ来リシナリ服忌ニシテ果シテ無ノ用力三十二番ノ説或ハ採ルベシ若シ授ケテ可ノナリトノ見込ナラハ豈釣合ヲ論ズルノ餘裕アラシヤノ四番（石川）曰 原案ニテ可ナリ服忌ハ前キニ等ノ一字ヲ殘シ置タレバ此中ヘ含蓄シテ授クベシノ十四番（奥高）曰 反對論者ヨ反對論者ヨ若シノ眞誠ノ反對家ナラハ何ソ正面ヨリ服忌ノ無用ノヲ説ヒテ余輩ヲ攻撃セサル心ニ服忌ノ要用ヲ知ノテロニ同意ヲ述ベザルハ抑何ノ心ゾヤノ四十一番（大島）曰 服忌ヲ授ルノ一事ハ今デハ活法上ニ委セザル可ラス十四番會員ヨ乞フ慷慨ヲ止メテ先ノ

p 130

原案ヲ賛成スベシノ四十五番（中村）曰 服忌ノ事ニ就テ各員ハ非常ニ心ノ配アレトモ本員ハ夫レヨリ今一層要用ナル度量衡ノ用法ヲ知ラシムルカケ所ナキニ心配ス乞フ当期ヘ編ノ入シタシノ會長（瀬川）曰 原案ヲ可トスルモノハ起立スヘシノ起立 拾六名ノ半数ニ過ル事名ナルヲ以テ之レニ可決シ書記ノ直ニ次項ヲ朗讀スノ地理ノ住居スル云々ノ十四番（奥高）曰 地理ヲ課スルハ尚早シ削除云々ノ十七番（芳野）二十一番（大津）ハ之レヲ賛成シ三十二番ノ（茶谷）四十一番（大島）四十七番（室田）四番（石川）ハ之レニ反シテ原案ヲ可トスノ會長（瀬川）曰 十四番ニ同意ノモノハ起立スヘシノ起立 拾五名ノ會長（瀬川）又曰原案ヲ可トスルモノハ起立スヘシノ起立 拾五名ノ二者同数ナルヲ以テ會長（瀬川）ハ更メテ十四番ノヲ賛成シ即チ削除ノ説ニ可決シ之レニテ本日ノ會ヲ散スノ于時午後五時ノ本日傍聴人 午前午後 拾名ノ

p 131

鳳至珠洲郡教育協議會日誌第拾貳号ノ

明治拾三年七月二十三日午前九時開議ノ

欠席 二番 三番 十一番 十二番 十四番ノ二二番 二十三番 二十九番 三十三番 三十五番ノ

未着 五番 十六番 十九番 二十四番 二十六番ノ三十七番 四十二番 四十三番 四十九番ノ

午前九時擊柝老声昇堂ヲ報シ會長會員及勝山ノ郡書記等例ニ拠テ着席一同正礼ス畢テ會長（瀬川）ノハ昨日ノ續キ第四級后期算術ノ項ヲ之レヨリ討議アリノタシト述べ書記ヲシテ議案ヲ朗讀セシムノ算術ノ二十番（慶塚）曰 除算九々ヲ当期ニ於テ授ケタシ其所以ハ后ノ期ヘ乗除法ヲ合入スベキ精神ナレバナリ尤除法ヲ授ルノ

p 132

ニ當テハ前以テ除算法九々ヲ授ケ置サル可ラサルハ各員ノ了知スル所ナランノ三十二番（茶

谷)之レヲ賛成シ且曰 曾テ三十三番會員タリシ松ノ橋巳七郎氏ノ帰省ニ際シ余ニ委託サレシ一議アリ即チ只ノ今二十番會員ヨリ發議ノ主旨ト全ク相同シ然スレハ同氏ニ於テモ無論ノ同意タレバ今ヤ委託ノ廉ヲ以テノ本員亦更ニ三十三番ノ代賛成ヲモナサンノ十八番(山下)曰 異ナル哉異ナル哉三十二番會員ハ現下ノ欠席員タル三十三番ノ代賛成云々ハ右ハ規則ニ於テ差ノ支ナキヤ敢テ會長ノ弁明ヲ乞フノ會長(瀬川)曰 三十三番カ献議案ヲ草置シ之レヲ三ノ十二番ニ託セシ吏タル全ク三十三番ノ教育ニ熱心シ職分ノヲ忽カセニセサルノ致ス所ナレバ之レカ委託ヲ受ケンノ三十二番ニ於テハ空ク之レヲ埋没スル忍ヒズ持説ト共ニノ發言アリシ事ト察スレバ衷情ニ於テ敢テ責ム可キ限ノニモ無ニ哉ト存ズ請フ事實ヲ諒察アレノ十八番(山下)曰 果シテ三十三番カ宿志ヲ發揚スルニ止ラバノ單ニ事實ヲ演述アリテ可ナラン代賛成トハ抑モ之レ何ノ事ゾ速ニ取消ヲ命セラレタシノ三十二番(茶谷)曰 取消ハ致シカタシ但シ起立ノ数ヲノ算スル特ハ固リ規則アリ會長アリ何ソ十八番會員ノノ配意ニ与ランノ之レヨリ十番(荒井)二十番(大津)等ヨリ前論ニツキ更ノニ意見モ出テ且其他ノ議論モアリタレトモ到底起ノ立ノ数ニスラ算入セサレハ差支ナシトノ議ニ纏リタリノ四十七番(室田)曰 二十番ハ除算ヲ早く授ルコトヲ好メドモノ

p 133

乗除ヲ合セ授ルハ甚タ混雜ナラズヤ政ニ本員ハ乗ノ法ヲ授ル所ニハ乘法ノミ除算ヲ授ル所ニハ除法ノミトノ區別シ置クヲ善シトスノ四十五番(中村)曰 除算九々ヲ加ルハ非ナリ由テ其代リニノ普通計簿ノ吏ヲ授ケタシノ四十八番(永井)二十一番(大津)ハ二十番ヲノ賛成シテ之レカ要旨ヲ敷衍スノ八番(宮埜)曰 九九ノ端緒ハ略ホ知ラサルニ非ルモノ却テ普通ノ掛算ニ苦ムハ是レ旧來ノ通幣ナノリキ故ニ此通幣ヲ除却シテ以テ真正ノ教育ヲ施ノサンニハ原案ヲ捨テテ將タ何ニカ求メン原案豈ノ維持セサル可ンヤノ十八番(山下)十番(荒井)ハ前ヲ熟シテ

後ニ及ブハノ事物ノ順序ヲ攻撃ノシ力●ヲ八番ニ●テ原案ヲ保持シ四番(石川)ハノ原案維持者ハ和洋ノ区ノ別ヲ知ラサルナリ洋算ナラハ原按ノ組立至当ナレトモ和算ニノ至テハ大ニ然ラス彼ノ生徒ノ理會シ易キ乗除合授ノ法ノ適当ナルハ今更言フ迄モナキコトナリト陳述シテ二ノ十番ノ動議ヲ賛成スノ十番(荒井)曰 動議者及其賛成者ハ原案ヘハ暗算ヲノ込アル見込カノ二十五番(生熊)曰 本員ハ二十ノ同意者ナルカ暗算ノハ無論組込又組込マザルヲノ得ザルナリノ

p 134

十五番(小竹)曰 暗算ヲ授ルハ最善シ併シナカラノ此級ニテハ加減マデニ止メタシ因リテ此暗算術制限法ノヲ一動議トセン乞フ同意ノ諸君ハ賛成アレノ二十五番(生熊)三十番(徳木)四十一番(大島)ノ十八番(山下)之レヲ賛成スノ四十五番(中村)曰 普通計簿ノ記載方ハ市村共ニ要用ノモノナノリ若シ之レヲ授ケ置サレハ生徒在宅ノ折隣家ノ杯ヨリ帳簿ノノ記載ヲ依嘱サルハモ之レヲ成シ得ノザルコトナレハ随テ父兄ノ学校ヲ信用スルコト薄弱ノトナラン之レ等ノ理由アルモ尚諸君ハ不可トスノルカ若シ不可トセザレハ乞フ速ニ本員ノ前説ヲ賛ノ成セヨ然ラズンハ將サニ消滅ノ遺憾ニ陥ラントスノルナリノ七番(喜田)曰 減法ヲ減算トシテ如何ノ二十一番(大津)曰 先刻ヨリ沈黙シテ各員ノ説ヲ承ルニ本員ノ等ニ向イテ駁撃サルハノ論實ニ夥シ豈之レヲ防禦否ナ逆ノ破セズシテ可ナランヤノ原案維持者ヨ諸君ハ徒ニ之レカ方法ヲ而ノ已授ケテ之レカ活用ヲ思ハサルカ今ヤ四個ニ五ヲ乗ズレハ二十個ノノ商トナルヲ知ルモ之レカ原数ハ(除ヲ知ラサルカ故)果シテノ幾何ノモノナリシヤヲ再答スル能ハサルカ如キ死法ハ抑モノ原案ニアラズシテ何ソヤ本員等カ切ニ動議ヲ賛成スルハノ一日モ早く生徒ニ活用力ヲ附与セシメシカ為メナリ諸君ハノ方法ヲ喜ブカ活用ヲ喜ブカ方法ハ活用ヲ達スルノ器械タノ

p 135

ルヲ知ラサルカ今ヤ活用ノ彼岸ニ達スルノ淺瀬

アルモ尚／方法ノ迂橋ニ依ラントス本員実ニ其
心思ヲ恠ムナリ／十番（荒井）曰 二十一番ハ
巧ニ論陳ヲ布廻シテ原案賛成者／ヲ箴絡セント
ス豈一弁ヲ費シテ之レカ中堅ヲ抜き反対／論者
カ拠テ以テ余輩ニ答フルノ根幹ヲ絶／シ反対論
者試ニ思ヘ乗法ノミ授ルト除法ヲ合セ授ルト／
孰レカ容易ニシテ孰レカ艱難ナル然ルヲ何ソヤ
二十番等ハ／強ヒテ艱難ナル方法ヲ求メ生徒ノ
難易ハ二段ニ／擱キ揚々乎シテ論シテ日斯ノ如
クセサレハ活用力ヲ附与スル能ハ／ズ原案ノ如
キハ死法ノミト為メニ本員等ヲシテ片／腹ヲ痛
マシメタリ知ラスヤ原案ノ組立ハ加ヲ習ヒテ減
ニ／移リ減ニ熟シテ乗ニ移リ乗了テ除ニ移ルト
如斯次第／・・・・・・／活用ハ一ナリ之レニ至
ルノ方法ニ難易ノ／差別アルノミ諸君ハ何ソ易
ヲ捨テテ難ヲ取ラント／スルヤ且ツヤ暗算ヲ／
授ルニハ十五番ノ制限論モアレドモ夫レハ不用
ナリ暗算ト／ノミニテ却テ穩当ナリ其故如何ト
云フニ加減ヲ混合ス／ルト乃至乗法ヲ授ルトハ
生徒ノ學業ニ應シ教／師タルモノ適宜裁制スヘ
キ所ナレハナリ／七番（喜田）二十八番（柿本）
之レヲ賛成ス／十五番（小竹）曰 十番會員ノ
暗算論大ニ宜シ今ニシテ持／説ノ抱憂ニ屬スル
ヲ知ル由テハ之レヲ取消シテ更ニ／十番ノ暗算
トノミ記入スル説ヲ賛成ス／

p 136

爰ニ於テ二十五番（生熊）八番（宮埜）十八番
（山下）三十番（徳木）／四十一番（大島）四
十七番（室田）等各更ニ二十番ノ暗算説ヲ／可ト
シ四十八番（永井）而巳ハ暗算ニ暗算ハ不用ナ
リト述／ベテ之レヲ非トス／會長（瀬川）曰 本
項ハ先ツ除算九々ヲ加ルト否トヲ決シ／而後暗
算ノ決ヲナサント述べ先ツ除算九々ヲ／加ル二
十番ノ説ニ同意ノモノヲ起立セシム／起立 十
名／次ニ原案ヲ可トスルモノヲ起立セシム／起
立 十六名／過半数ニ拠リ除算九々ヲ挿入セサ
ルニ決シ直ニ二十番ノ暗／算ヲ加ル説ニ同意ノモ
ノヲ起立セシム／・・・・・・／ニ移ル／習字――
――／体操――／満場異議ナク原案ニ可
決ス／十七番（芳野）曰 当級ヨリ縫裁ヲ加テ

如何／四十七番（室田）八番（宮埜）七番（喜
田）四番（石川）各之レヲ可トス／二十一番（大
津）曰 非ナリ非ナリ僅カ七歳半ノ女子ニ課ス
ルニ縫／裁ヲ以テセントハ如何ノ御所見カ了解
シカタシ望ラクハ反省スル所アレ／

p 137

十八番（山下）曰 本員ハ先ツ容儀ヲ課シタシ
／三十二番（茶谷）二十一番（大津）十番（荒
井）之レヲ賛成ス／于時正午ヲ報スルノ音鏘々
拠テ會員ノ求メニテ午／食トナリ各員退場ス／
午後壹時三十分再開議／未着等午前ノ如シ／午
後壹時半會長會員及勝山郡書記等各々例ニ拠テ
着席ス此時加藤郡／長臨會一同敬礼ス畢テ會長
（瀬川）ハ午前ノ續キ縫裁／容儀ノ二項ヲ審議
セシメ而シテ後チ逐次起立ヲ命ズルニ左ノ／如
シ／縫裁ヲ加ル十七番ノ説ヲ可トスルモノ 拾
六名／容儀ヲ加ル十八番ノ説ヲ可トスルモノ
全員／・・・・・・／トノ献議ヲ発シ直ニ會長ノ
採可ヲ得テ一問題トナル／二十八番（柿本）曰
雑巾ノ類ニテ素縫平刺ノ運針ニ慣レシムトシテ
如何／四番（石川）曰 素縫トセンカ平刺トセ
ンカ本員等ノ受持ツ所ニ非レバ果シテ／其適否
ヲ名言スル能ハズ由テハ左様ナル内訳ハ姑ク之
レヲ措／キ大体ヲ而已指示シテ実施ノ順序ハ受
持女教師ニ委／託スル方可ナラン／十八番（山
下）之レヲ可トス／七番（喜田）曰 平刺ノミ
ニテ可ナリ／三十番（徳木）之レヲ賛成ス／二
十一番（大津）曰 立案委員ヲ設ケテ実施ノ方
法ヲ女教師ニ照／會セシメ案成テ後チ審議スル
ヲ可トス／

p 138

十三番（橋本）二十番（慶塚）十番（荒井）之
レニ同意ス／八番（宮埜）曰 雑巾ノ運針ニ慣
レシムトシタシ／十四番（奥高）曰 抑モ縫裁
ノ容易ナルハ素縫平刺ヲ最／トス尚何ヲ危ミテ
立案委員ヲ設ントスルヤ本員ハ二十／八番ヲ賛
成スルナリ／之レニテ會長（瀬川）ハ発言ヲ止
メ四番七番二十一番二十八番／ノ四動議ニ逐次
起立ヲ命スルニ左ノ如シ／四番ノ動議ヲ可トス
ルモノ 四名／七番ノ動議ヲ可トスルモノ 四

名／二十一番ノ動議ヲ可トスルモノ 五名／二十八番ノ動議ヲ可トスルモノ 拾五名／過半数ノ故ヲ以テ二十八番ノ動議ニ可決ス依テ會長ハ書／・・・・／文学——／讀書——／書取及作文——／十八番（山下）曰 書取ノ科目ニアル日用文字及ヒ書牘云々ヲ／削除シタシ尤后期ニハ簡短ノ文ヲ授ル積リ／八番（宮野）曰 讀書科ニ講談法ヲ加ヘタシ／三十二番（茶谷）之レヲ賛成ス／十七番（芳野）曰 十八番ノ説ニ「且兼テ換字セシム」ノ／八文字ヲ加ヘタシ／四十七番（室田）曰 下級ニ講談法ヲ授ルモ其益ナシ何トナレハ／肝腎ノ意味ヲ講議／スルノ眼ニ乏シキカ故ニ徒ニ教師ノ口眞似ヲナスニ過／

p 139

キザレハナリ是レ世ニ謂フ所ノ豆蔵学文ノ弊ニ陥ルニ／非スシテ何ソ一應八番ノ説ヲ駁ス／八番（宮埜）曰 豆蔵学文トハ心／得カタシ学ビ得シ章句ハ必ス講談セサハ可ラス若シ講／談シ能ハサレハ之レ学バサルモ同ジ我所謂講談トハ人ニ／對シテ咄シスル様ニ述ルヲ云フ幸ヒニ意ヲ誤ル勿レ／二十一番（大津）曰 講談法ハ壯者ト雖ドモ容易ノ業ニ非ズ／況ンヤ兒童ニ於テオヤ難シ々々／八番（宮野）曰 二十一番等ハ何ヲ以テ難シト云フヤ自己ノ思／想ヲ口頭ニ求ル迄ノコトナリ之レニシテ困難ト云ハバ恐ク／ハ亦容易ノ二字ヲ用ルノ場所ナシト存ズ／會長（瀨川）曰 先ツ原案ヲ可トスルモノ起立スベシ／于時午後四時三十分／本日傍聴人午前／午后共拾壹名／

p 140

鳳至珠洲郡教育協議會日誌第拾三号／

明治十三年七月二十四日午前九時開議／

未着 五番 十六番 十九番 二十四番 二十六番／三十七番 四十二番 四十三番 四十九番／

欠席 二番 三番 十一番 十二番 二十二番 二十九番／三十三番 四十壹番 四十五番 四十六番 五十番／

出席 會員三拾名／

午前九時 會長會員及勝山郡書記等各々例ニ依テ着席シー／同正礼ス此時會長（瀨川）曰 三十五番會員瀨戸与／三郎君曾テ病氣ニ罹リ療養ノ為メ一時帰郷ニ及レシカ這回／其代員トシテ奥濱里君着場ニ付只今ヨリ三十五番へ着席／サレタリト述べテ各員ニ紹介シ而後昨日ノ續キ尋常小／学科三級前期口授ノ一科ヲ朗讀セシム／口授——／

p 141

修身 前期ニ同シ／養生——／日用枢事——／全會異議ナク原案ニ可決シ直ニ次項ヲ朗讀ス／地理——／・日本国ノ部ヲ授ク／十番（荒井）曰 日本云々ヲ削除シ易ルニ「住居スル地方及ヒ居／国ノ部ヲ授ク」ト更生シタシ／十七番（芳野）十四番（奥高）四番（石川）之レヲ賛成ス／二十一番（大津）曰 原案ニテ可ナリ其所以ハ居国ノ事ハ二級ニ至／テ授ント欲スレハナリ／八番（宮埜）三十五番（奥濱）共ニ原案ヲ可トス／・・・・／ニ叮嚀／過キタル御見込ナラズヤ鋭敏ナル原案賛成員ヨ望／ラクハ日用切近ノ点ニ着眼シ主トシテ居国居郡ノ事ヲ知ラ／シムルニ尽力セヨ／三十八番（柿本）曰 各員ニ御相談申度コトアリ双方左様ニ／理屈ヲ張ラズ「前期ニ同シ且住居スル地方ノ事ヲ授ク」ト／修正シ先々歩ミ合ノ都合ニテ議決シ／テ如何／三十二番（茶谷）曰 地理ノ中ニモ居国ノ事杯ハ一日モ早く学バセ／タキ事ナリ然ルヲ二級ニ至テ授ルナゾトハ甚タ本意／ナリ一應二十一番ニ不同ノ事ヲ申置ク／會長（瀨川）曰 最早決議ヲ徴セン先ツ十／

p 142

番ノ修正説ヲ可トスルモノハ起立スヘシ／起立拾六名／過半数ノ故ヲ以テ之レニ可決シ直ニ次項ヲ審議ス／歴史——／・地球上云々／八番（宮野）曰 地球上云々ノ事ハ口授ニテ可ナラント存ズ由テ／本項ヲ削除シ「日本ノ史ヲ授ク」トシテ如何／三十五番（奥高）之レヲ賛成ス／十七番（芳野）曰 本員ハ全ク削除シタシ其所以ハ当級ノ本数／多キニ過レハナリ由テ次

級へ譲テ可ナリ／十八番（山下）二十番（慶塚）
之レニ同意ス／三十二番（茶谷）曰 原案……
／ル原案●●●●主旨●ト●●サルルカ反スノ
一字アレ／バ決シテ左ニ非ズ一枚ニテモ二枚ニ
テモ各科ノ釣合ニ應／ジテ授ル事ナリ何ノ不可
カ之レアラン／四十七番（室田）二十五番（生
熊）二十一番（大津）交モ之レヲ可トス／二十
番（慶塚）曰 当級ハ恰モ準則二号四級生ニ相
当ノ生徒／ナリ之レニ課スルニ歴史ヲ以テセン
トスルハ生徒ノ能力ヲ反／省セサルノ御説ナラ
ズヤ／二十五番（生熊）曰 二十番ノ心配ハ決
シテ無用ナリ今ヤ讀書／ト歴史ハ判然授ケ方ニ
區別アリテ又従前ト同シカラズ／故ニ讀書即チ
文学ノ授ケ方ハ至テ周密ナレトモ歴史等ハ／其
意義ヲ了得スルニ止ルモノナレバ敢テ能力ニ適
セサルノ／恐レナシトス一應原案賛成ノ理由ヲ
演ブ／此他八番（宮埜）十七番（芳野）二十番
（慶塚）等ヨリ／

p 143

前説維持ノ辯明アリ随テ二十一番（大津）四十
七番（室田）三十二番／（茶谷）等ノ駁説アリ
／テ一時餘程ノ議論ナリシカ會長（瀬川）ヨリ
終ニ起立／之迄……左ノ如クナリ／八番
ノ動議ヲ可トスルモノ 六名／十七番ノ動議ヲ
可トスルモノ 九名／原案ヲ可トスルモノ 十
四名／會長ハ各説何レモ過半数ヲ得ザルニ依リ
小會議ニ／附スベキ旨ヲ告ゲ直ニ次項ヲ審議ス
／算術——／・乗法及ヒ云々／四十四番（平
田）曰 雑語暗算ヲ加ヘテ如何／四番（石川）
曰 「除算●●除法及其應用」ヲ授ケシト修／
正シタシ／八番（宮野）曰 四十四番ノ説ハ煩
シ由テ本員ハ單ニ暗算ヲ／加フルコトトシタシ
／十番（荒井）十四番（奥高）二十八番（柿本）
三十五番（奥演）續／々之レヲ可トス／會長（瀬
川）曰 八番ノ動議ト原案ノ二箇而已ナリ其他
／ハ賛成ナシ依テ先ツ八番ノ説ヲ可トスルモノ
ハ起立スベシ／四十八番（永井）三十二番（茶
谷）四番（石川）ヲ除クノ外／惣起立／由テ暗
算ヲ加ルニ可決シ直ニ次項ヲ審議ス／習字——
／・前期ニ同シ／満場異議ナク原案ニ可決

シ直ニ次項ヲ審議ス／

p 144

裁縫／・雑巾ノ類ニテ云々／本項ハ八番（宮野）
ヨリ木綿色裁ヲ加ルノ動議出テ十七番（芳／野）
ノ賛成モアリタレトモ四十七番（室田）ノ辦明
ニテ木／綿色紙ヲ加ルハ實際困難トノ事／ニ決
シ原案ノ俛ニ可決セリ由テ直ニ次項ヲ審議ス／
容儀——／・起居挙動云々／八番（宮野）
曰 此處へ品物ノ進方ヲ教ルコトヲ加ヘタシ／
十七番（芳野）三十五番（奥演）七番（喜田）
十番（荒井）之レヲ可トス／二十五番（生熊）
曰 此脇書ハ操リ下ケアレハ「前期ニ同シ」ト
文字ヲ／更メ精神ハ原案ニテ可ナリ 如何トナ
レバ容儀ヲ授ルハ口授／ト●●實際ニ……
／ヲ要スルヤ●ナリ……／困ノ廣キ文字
ナレバ品物ノ進メ方杯モ自ラ含蓄シ居ル／モノ
モ之レアランカ／四十七番（室田）三十二番（茶
谷）二十番（慶塚）二十一番（大津）各之レヲ
／賛成ス／會長（瀬川）曰 八番ニ同意ノ者ハ
起立ス可シ／起立 九名／會長（瀬川）曰 原
案即チ二十五番ニ同意ノ者ハ起立スベシ／起立
二拾名／過半数ノ故ヲ以テ「前期ニ同シ」トス
ル二十五番ノ説ニ決シ直ニ／次項ヲ審議ス／
體操——／・前期ニ同シ／

p 145

満場異議ナシ由テ會長（瀬川）ハ第三級后期ニ
移ル旨ヲ告ケテ／左ノ項ヲ朗讀セシム／

○尋常小学第三級后期

文学——／・讀書 前期ニ同シ／・書取及
作文 前期ニ同シ且云々／會長（瀬川）／二十
一番ヲ平テ曰ク少々不快ニ付暫ク扣席ヘ退／キ
タシ乞フ代理アランコトヲ／二十一番（大津）
ハ之レヲ諾シテ會長席ニ着キ直ニ一礼ノ上／發
言ヲ命ズ／三十九番（出埜）曰 書取及作文ノ
項ニアル前期ニ同ジ云々ヲ／削除シ易ル・
ニ……付方ヲ……／八番（宮野）
曰 ……／十七番（芳野）曰 前期ニス
ラ課シタキノ精神ナレハ飽マテ八番／ヲ可トス
／十四番（奥高）曰 原案ヲ賛成ス／二十五番
（生熊）曰 本員ハ八番ヲ賛成ス／信長ハケ様

ノ人不二山ハ此様ノ山ト明了ニ／談スル理歴授ルカ旨ナル講談法ハ最早讀書ニ於テハ必ス／課セサルヲ得ザル義ト考フ／三十五番（奥演）二十五番（慶塚）共ニ八番ヲ可トス／十四番（奥高）曰 讀本ニ在ル長文ノ章ヲ講談スルハ大人スラ尚容／易ノ事トセズ況ンヤ学童等ヤ八番ノ説ハ到底実行シカ／タキノ理論ナリ／二十八番

（柿本）曰 講談ハ難シ講義トシテ如何／

p 146

七番（喜田）曰 二十八番ニ同意 等級ハ講義次級ヨリハ講談スル方順序モ宜シカラシ／十七番（芳野）曰 講談ト講義ハ差別ナシ／何ヲ以テ二十八番七番ヨリ如此動議出ルヤ／十番

（荒井）曰 講義ハ全体ノ事ヲ授ケ講談ハ書ニ向ハズ／シテ書中ノ事件ヲ講談スルナリ之レ差別ノ在ル所ニシテ／且困難ト云フ所以ナリ／四十七番（室田）曰 徒ニ口眞似講談ニ習熟セシメンヨリハ実カヲ附／与シ自然ニ講談セシムルニ如カズ此級ハ尚早シ々々／三十二番（茶谷）曰 授ケズシテ自然ヲ俟／チ夫レニテ成功スルモノナラバ此上モナキ咄シナレトモ夫レハ所謂／木ニ縁テ魚ヲ求ルノ類カ故ニ未熟ナカラモ講談ノ端緒ヲ開カセ／・・・・／此他十四番（奥高）十五番（小竹）十番（荒井）●原案●●●／八番ノ動議主張説モ在リタレトモ大抵前主意ヲ反復／スルニ止ル様ナリケレバ副會長（大津）ハ発言ヲ止メ而シテ起立ヲ／命ズルニ左ノ如シ／二十八番ノ説ヲ可トスルモノ 七番（喜田）二十八番（柿本）／八番ノ説ヲ可トスルモノ 起立 拾二名／原案ヲ可トスルモノ 起立 拾四名／右ニ付更ニ副會長ハ原案ニ左祖シ都合拾五名即チ壱名ノ／過半数ニ付原案ノ俚ト可決シ其他異議ナシ由テ副會／長（大津）ハ文学項ハ全ク原案ニ可決セシ旨ヲ告ケ而シテ／午餐ヲ命ズ時ノ方サニ正午十二時／午后壱時再開議／未着等午前ノ如シ／

p 147

午后壱時拆声ノ報道ヲ得テ會長會員及勝山郡書記／等一同着席正礼ス會長（瀬川）演述シテ曰 午前ニ於テ各ノ過半数ヲ得ザリシ三級前期歴史

ノ一科ハ午食時間中／略ホ打合セモ出来タル様ナレバ小會議ニ附セズ今ヨリ直／ニ本會ヲ開テ決議スベシ各員乞フ此旨ヲ諒シテ／發言アレ／八番（宮野）曰 本員ハ午前ニ於テノ修正説ヲ主張セシカ／ドモ午食時間中各員ノ説明ヲ聞キ大ニ悟ル所アレ／バ更ニ持説ヲ投棄シテ原案ヲ可トス／十七番（芳野）曰 本員モ亦八番ニ同シ原案賛成／爰ニ於テ原案賛成ノ發言續々耳朶ヲ衝／クニ依リ會長ハ更メテ原案同意者ヲ起立セシ／ムル／過半数ノ同意ヲ以テ原案ニ可決シ直ニ第三級／後期庶物指数等ノ項ニ及ブ／庶物指数云々／・前期ニ同ジ／口授——／・修身 前期ニ同ジ／・養生 前期ニ同ジ／・日用 枢事 通信ノ事等ヲ知ラシム／地理——／・萬国ノ部ヲ授ク／右三項共満場異議ナク原案ニ可決シ直ニ次項ニ及ブ／歴史／

p 148

・日本ノ史ヲ授ク／十番（荒井）曰 初メニ概略ヲ述ベ置タレハ茲ニテ萬国ノ／史ヲモ授ケタシ／四十七番（室田）之レヲ賛成ス／十八番（山下）曰 初メニ概略ヲ述ベ置タレバトテ茲ニ／テ萬国ノ史ヲ授ントハ些ト誤解ニ非ズヤ如何トナレバ前／ニ之レヲ述ベ聞セシハ猶地誌ヨリ歴史ニ及ブノ順序ト同／一ニシテ当級ニテ万国史ヲ授ルノ階梯／ニ非ザレハナリ／十番（荒井）曰 十八番ハ却テ誤解ナリ前期ニ地球上ノ事ヲ教ヘナ／カラ爰ニ日本ノ史ノミヲ授ントハ豈不穩当ノ事ナラ／ズヤ／十七番（芳野）曰 誤解・・・・／四十七番（室田）曰 本員ノ見込ハ日本ノ史ヲ授ケ而シテ万国ノ／史ニ及ブ見込之レ日本万国相俟ツテ授ルハ大ニ便宜ナル／所アランコト慮テナリ／此時加藤郡長等臨會一同敬礼ス／十番（荒井）重テ前論ヲ捍言スレトモ八番（宮野）三十五番／（奥演）十四番（奥高）三十二番（茶谷）續々之レヲ非トシ會長／ヨリ起立ヲ命ズルニ当テ／十番ノ説ヲ可トスルモノ十番（荒井）四十七番（室田）／右二名而已ナルヲ以テ更ニ原案ニ起立／ヲ命ゼシニ／右ニ各ノ外 惣起立／由テ原案ノ俚ニ可決シ直ニ次項ヲ審議ス／

p 149

算術———／・除法及ヒ云々／二十八番（柿本）曰 暗算ヲ加ヘタシ／八番（宮野）七番（喜田）九番（生島）之レヲ可トス／會長（瀬川）ハ他ニ異説ナキヲ見テ二十八番ノ説ニ同意ノ／者ヲ起立セシム／三十二番（茶谷）ノ外 惣起立／因テ暗算ヲ加ルニ可決シ直ニ次項ニ移ル／習字———／・前期ニ同シ／裁縫———／・木綿色紙云々／容儀／・前期ニ．．．．．／体操／・前期ニ同ジ／右四項全會異議ナシ依テ規則ニ照シテ原案ニ可決／シ直ニ第二級前期ニ移リ文学科ヲ審議ス／文学———／・讀書前期ニ同シ且云々／・書取及作文 公私用云々／十五番（小竹）曰 紀事文ヲ刪リタシ何トナレハ紀事ハ輕易／ナラサル一事業ニシテ之レヲ書讀文スラ完全セサル兒／童ニ課シテハ為メニ一モ取ラズニモ取ラズノ恐レアレバナ／リ故ニ本員ハ生徒ノ修力ヲ書讀文ノ一方ニ向ケシメ／必ス之レヲ成功セシメントス 聊カ削除ノ精神ヲ述／

p 150

ブ／四十番（河合）十八番（山下）二十八番（柿本）八番（宮野）二十番（慶／塚）續々之レヲ賛成ス／十番（荒井）曰 原案ニテ可ナリ紀事ヲ授ルハ特リ当級／ニ初マリシニ非ス前々ヨリ授ケ来リタレバ敢テ困／難ナルコトナシ本員ハ紀事文ト書讀文／ト隔日ニ之レヲ授ケナバ却テ厭倦ヲ拒クノ好手段ト／ナリ二者相待テ活発ノ修力ヲ生徒ニ得セシムル義ト推／考ス／三十二番（茶谷）之レヲ可トス／四十四番（平田）曰 削ルハ悪シ依テ書取ノミトシ成分ハ／次級へ譲リテ可ナラン之レ生徒ノ力ヲ慮テナリ／八番（宮野）曰 当級ハ高等へ入ルルヘキ●●ナレバ高等へ入ル／．．．．．／而已ニテ退学スル生徒ニハ飽マテ不用ナリ之レ本員カ十五番／ヲ賛成セシ所以ナリ／四十七番（室田）曰 八番ハ高等ニテ充分紀事文ヲ学習／スベシト云ヒ乍ラ此処ニテ削除トハ自家撞着ノ御／見込ナラズヤ物ニ順序アリ事ニ難易アリ高等ニテ／修メシメントスルモノナラバ須ラク其輕且易ナルモノ

ヲ／此所ニテ学習セシメサル可ラズ然ルヲ級相應ニ／仕事ヲナシ行ク順序ヲ止メ高等ニテ之レニ適應ノ紀事文／ヲ一時ニ学習セシメントハ思ハザル／モ亦甚シ原案賛成／三十二番（茶谷）曰 本員ハ削除家ノ親玉ナル十五番ニ向／テ質問セン既ニ讀本ノ句章ヲ書取ラセ短簡ノ文／

p 151

ヲ作ラシメ又句章ノ変化ヲモ履ミ習ヒ今ヤ紀事文／ヲ作ルニ差支ナキ様下稽古ノ熟セシ者ニ向テ俄ニ紀／事文ヲ茲ニテ中止トハ其理由果シテ如何ナルコトゾ／十五番（小竹）再考ノ色アリ依テ十四番（奥高）會長乞ヒ／代リ答テ曰 公私用書讀文ヲ習熟スルノ難キハ／思フニ各員ノ御熟知ナラン故ニ此重荷ニ添加ルニ亦／紀事文ト云フ一ノ重荷ヲ以セントスルハ到底生徒ノ／負担ニ堪ヘザル所／依之二者其中ニ就キ尤必用ニシテ欠クベ／カラザルモノ一ヲ撰ビ餘ハ遺憾ナカラモ削除セザル／可ラス之レ必ズヤ十五番ノ精神ニシテ亦本員カ心ヲ得／タルモノナリ／三十二番（茶谷）曰 書讀文ハ左マデ六ヶ敷モ●●非／ザレトモ．．．．．／ヲ生スルモノナルベシ何ハ免モアレ紀事文ハ社會／一日モ欠ク可ラサルモノニシテ／思想ヲ／書翰ニ表ハスモ事柄ヲ手帳ニ紀事スルモ共ニ我人／必用的ノ重宝ナラズヤ宜ク両方共權衡ヲ考ヘ／腦力ニ應シ相須テ適宜ニ教授スベキモノタリ然／ルヲ十五番ノ説ノ如クセバ独リ離ルベ／カラサル緣由アル紀事文ヲ書讀ニ分離セシムル而已／ナラズ讀本ノ句章ヲ變化セシムル等ノ下稽古／ハ総ヘテ水泡ニ属シ鄙諺ニ所謂百日ノ説法モ／放屁一発ノ点ニ歸センカ飽マテ原案ヲ賛／

p 152

成スルナリ／十八番（山下）曰 三十二番ハ喋々ト紀事ノ功用ヲ長演／述アリタレトモ書讀文ニ此スレバ日用ニ遠キコト固リナリ／三十二番（茶谷）曰 日用ニ遠クシテ小学ノ授業ニ果／シテ不用ノモノナラバ何ゾ前々ニ於テ紀事ノ下／稽古ヲナサシメンゾ返々々モ紀事文ハ必用ナリ／必ス削除ス可ラズ／十八番（山下）曰 不用トハ申サズ尤必用ノ書讀文ヲ／授ケ而シテ後

紀事文ニ及ブノ精神ナリノ二十一番（大津）曰
紀事トアレバ難サウナレトモ之レハ教授例ノニ
アル実験筆記等ノ如ク鳥渡シタモノナリ紀事ノ
ト云ヘバトテ諸君ノ憂ヘラル様ナ日用ニ遠キ難
重ナ／ル・・・・／者メケドモ諸君カ餘リ深
ク心配ニシテ三十二番カ非常ノ●骨ユエ反對諸
君ノ御参考ト我カ同ノ説ナル三十二番ノ骨休メ
ト兼テ一言ヲ申述ノシテ原案ヲ維持スノ此他八
番（宮野）十八番（山下）十四番（奥高）ノ三
會員ト拾番（荒井）三十二番（茶谷）四十七
番（室田）二十一番（大津）ノ四會員ト舌戦
論駁數回ヲ重サネノ何ツ果ツベキトモ見ヘサル
大議論トナリシヲ以テ會長ノ（瀨川）ハ終ニ職
權ヲ以テ發言ヲ中止シ起立ノヲ命ズルニ左ノ如
シノ原案ヲ可トスルモノ 拾四名ノ十五番ノ説
ヲ可トスルモノ 拾五名ノ

p 153

十壹名ノ過半数ニ依リ原案ニ可決スト會長之レ
ヲ演述ス／ルニ際シ三十二番（茶谷）ヨリ本日
出席員數ハ會ノ長ヲ合セテ三十名ナリ然スレハ
十五名ノ同意ニ過半ノ數トハ如何會長ト雖トモ
可否スル權アレバ會長ニシノテ十五番ニ同意ヲ
表セサル以上ハ決シテ過半数ヲ得ズトノ難問
出一時議論百出セントス會長ノ早ク其機ヲ察シ
簡單ニ議事則ヲ弁明シテ之ノレヲ排却シ直ニ次
項ニ移ルノ庶物指數——／・前期ニ同シ且
云々ノ十番（荒井）曰 且以下ヲ削リタシノ七
番（喜田）十七番（芳野）式十壹番（大津）之
レヲ賛成スノ三十二番（茶谷）曰ノナル事ナシ
削ルニ及バズノ八番（宮野）六番（河内）十四
番（奥高）十八番（山下）之レヲ可トスノ十
番（荒井）曰 難シト云フニ非ス庶物指數ニ附
スルハ不穩ノ當ナルカ故ニ之レヲ削除シ口授ニ
テ教ヘタキノ精神ノ十四番（奥高）曰 火ノ燃
ル位ノ事ヲ教ルハ庶物指數ノナリ然ルヲ之レヲ
削テ口授ニ附スル杯ハ却テ不穩當至ノ極ナリ飽
マテ原案ヲ可トスノ會長（瀨川）曰 最早發言
ヲ停メテ決ヲ起立ニ徴セン先十番ノ説ニ同意
ノ者ハ起立スベシノ起立 七番（喜田）十番（荒
井）十七番（芳野）二十一番（大津）ノ會長（瀨

川）又曰 原案ノ俣ヲ可トスル者ハ起立スベシ
ノ

p 154

右四名ノ外 惣起立ノ依テ原案ニ可決シ直ニ
次項ニ移ルノ口授——／・修身——
／・養生——／・日用軀事——／地理
——／・前期ニ同シノ歴史——／・萬
國ノ史ヲ授クノ右三項全會異議ナク原案ノ俣ニ
可決ス依テノ次項ヲ審議スノ算術ノ三十五番
（奥濱）曰 暗算ヲ加ヘタシノ四十四番（平田）
四十七番（室田）之レヲ賛成シ十七番（芳野）
ノ二十一番（大津）三十二番（茶谷）十八番（山
下）二十番（慶塚）ノ之レヲ駁シテ原案ヲ可ト
スノ會長（瀨川）ハ發言ヲ止メテ起立ヲ命ズル
ニ左ノ如シノ三十五番ノ説ヲ可トスルモノ 六
名ノ原案ヲ可トスルモノ 二十三名ノ過半数ニ
依リ原案ニ可決シ直ニ次項ニ移ルノ習字——
一／・前期ニ同シノ全會異議ナシ依テ會長（瀨
川）ハ直ニ次項ヲ審議スベキノヲ命ズノ

p 155

野画——／・單簡ナル云々ノ十番（荒井）
曰 「單簡ナル」ノ四字削テ可ナリ何ニカ要セ
ンノ二十八番（柿本）九番（生島）四十四番（平
田）十七番（芳野）各之レヲ可トスノ三十五
番（奥濱）曰 原案ニテ宜シノ會長（瀨川）ハ
審議ノ末起立ヲ命ズルニ左ノ如シノ十番ノ動議
ヲ可トスルモノ 拾七名ノ原案ヲ可トスルモノ
拾二名ノ過半数ノ故ヲ以テ「單簡ナル」ノ四字
削除ニ決シ直ニ次項ニ移ルノ裁縫——
／・前期ニ同シ且云々ノ容儀ノ前期ニ同シ且
云々ノ本項ハ十番（荒井）ヨリ一タヒ且以下ノ
削除説出テ四十四番（平田）ノ賛成ヲ得テ忽
チ一動議トナリタレトモ三十二番（茶谷）等ノ
ノ辨解ニテ終ニ兩員共前説ヲ取消サレシニ由リ
全會一致原案ノニ可決シ直ニ次項ニ移ルノ體操
——／・前期ニ同シノ

p 156

満場異議ナシ依テ會長（瀨川）ハ之レヨリ第二
級後期ニ取掛ル旨ヲ演ベ直ニ書記ヲシテ文学
ノ一項ヲ朗讀セシムノ文学——／・讀書——

——／・書取及作文——／二十一番（大津）曰 原案ヲ可トス抑モ紀事文ノ要用ナルコトハ業／既ニ之レヲ弁明シカヲ尽シテ原案ヲ維持セシカトモ如何セン／多数ノ異議者ニ抑制セラレ終ニ前期ニ於テ削除セラレタリ／今ヤ順序配置ノ一点一ヨリ論下セハ前期ニ削除セシ上ハ勢ヒ／当期ニ於テモ削ラザルヲ得ザル如クナレトモ尚再考ヲ費ス／ニ大ニ然ラス前期ニ於テ削除センハ異論者カ配置ノ順序／ヲ誤リシニテ為メニ前々級下稽古ヲ殆ト水泡ニ化成セシメ／●モノナレハセメテハ当期ニ於テナリト之レヲ終／・・・・・／十番（荒井）二十番（慶塚）三十二番（茶谷）八番（宮野）各二十一番同／意ト大呼ス／十四番（奥高）曰 紀事文ヲ削除スベシ高等ヘ入ルベキモノハ高／等ニテ修ムベク尋常ニテ終ルベキモノハ老級ノ温習科ニテ／学習スベシ当期ニ於テ何オカ要セン／三十五番（奥濱）十五番（小竹）十七番（芳野）六番（河内）各之レヲ／賛成ス／三十二番（茶谷）曰 是マデノ学文ハ讀シ得ルモ其讀シ得シ丈／紀スル能ハサリシハ主トシテ紀事ヲ習熟セシメザルニ由ル／此一点ニテモ紀事ハ削ル可ラサルナリ／四十七番（室田）之レヲ可トス／會長（瀨川）曰 本員ニ於テモ一言申述ベタキ所見アレハ格外／

p 157

ノ特例ヲ以テ會長席ヲ下リタシ敢テ諸君ノ意見／ヲ問フ／満堂異議ナク之レヲ認許ス 依テ副會長ヲ呼テ代理ヲ命／ズルニ副會長（大津）ハ意見アリトテ之レヲ辞ス 由テ十／番（荒井）十五番（小竹）二十五番（生熊）三十二番（茶谷）四十七番／（室田）等ヘ巡次代理ヲ指命スルニ熟レモ持説ヲ述ベタシトテ／固辞シテ應ゼス／二十一番（大津）ハ此上ハ致シ方ナシ副會長ノ職分上ヨリ敢／テ會長ノ代理タラン然レトモ今一言ヲ述ベテ満腔ノ／遺憾ヲ●サシ三十二番ノ言ノ如ク讀得ルモ／紀スル能ハザルハ猶口アリテ言フ能ハザルニ近シ今ヤ尋／常ニテ終ルノ生徒杯ニハ特ニカヲ此点ニ用ヒ書牘紀事／・・・・・前期ニ於テ削除セ／ラレ今此所ニ

テモ再ヒ反對論者・・・・・／慨歎ノ極点ナラズヤ反對論者ヨ原案削除／ハーノ負荷ヲ輕クスルトノ念慮ヲ抑エ少ク三省／スル所アレト演ベ了テ會長ニ交替ス／三十一番（瀨川）曰 先刻ヨリ議事ノ景況ヲ熟視スルニ各懸／

p 158

河ノ雄弁ヲ以テ満腔ノ宿論ヲ吐カレ互ニ一步ヲ避ケズ議／ラズ実ニ非常ノ劇論ナレトモ此体ニテハ議決ノ／困難今ヨリ推シ量ラレテ痛心セリ加之本員聊カ諸君ト内議／致シタキ事モアリ且尚熟考ニ熟考ヲ重ネタキ場合モ／アレハ旁本日ハ議決ヲ取ラズ之レニテ散會ヲ命セラレタ／シ此段献議ス／爰ニ於テ十四番（奥高）ヲ除クノ外挙ク右献議ノ採用ヲ／需メタルニ依リ副會長（大津）ハ之レニテ散會ノ旨ヲ告ケ／各員退散于于時午后四時／

本日傍聴人 午前午后共拾名／

鳳至珠洲郡教育協議會日誌第十四号／

明治十三年七月二十五日午前九時三十分開議／
欠席 二番 三番 十一番 十二番 二十二番／二十八番 三十九番 三十三番 四十六番／五十番／

未着 五番 十六番 十五番 二十四番 二十六番／三十七番 四十二番 四十三番 四十九番／

出席會員 三拾一名／

午前九時三十分擊柝之報知ニ依リ會長會員及勝山／郡書記等例ノ如ク着席ス一礼畢テ會長（瀨川）ハ／昨日ノ續キ尋常小学二級後期口授ノ一項ヲ之レヨリ／審議スベシト述ベ書記ヲシテ左ノ議案ヲ朗讀／セシム／口授——／

p 159

三十五番（奥濱）曰 年齢ノ繰リ方ヲ加ヘタシ／四十五番（中村）曰 日用枢事ノ処ニテ女子ニ限り小児／養育法ヲ教ルコトトシタシ其所以ハ尤女子必用／ノモノニシテ且適当ノ書籍モアレバナリ／稍ヤアリテ會長（瀨川）ハ三十五番四十五番ノ二説ハ何レモ／賛成者ナキ故規則ニ拠テ原案ニ可決シ直ニ次項／ヲ審議スベシト述

ブ／歴史———／全會異議ナク原案ニ可決シ
直ニ次項ニ移ル／算術———／十四番(奥高)
曰 算術相場割ノ下ヘ「等」ノ一字ヲ加ヘタノ
シ之レ實際教授ノ便宜ヲ慮テナリノ三十二番
(茶谷)之レヲ賛成スノ八番(宮野)曰 容易
利息算ヲ加ヘタシノ二十五番(生熊)曰 等ノ
字ヲ加ルハ十四番ニ同意ノ而シテ本員ハ別ニ諸
等表ヲ授ルコトヲ入レ置タシノ四十四番(平田)
之レヲ賛成スノ十五番(小竹)曰 利息算ハ老
級ニモ当期ニモ課スノルノ見込カ八番ニ問フノ
八番(宮野)曰 然リ故ニ当期ニハ容易ノ二字
ヲ冠シノテ之レカ端緒ヲ開キタシノ十七番(芳
野)曰 二十五番ヲ賛成ス次級ニ至テ諸等ヲ教
ルニハ是非トモ当期ニ於テ授ケ置ザル可ラス
ノ四番(石川)曰 十四番ヲ賛成ス二十五番ノ
諸等表ヲ教ルノ

p 160

説ハ甚タ不同意何トナレバ諸等ヲ学ブ程ノ生ノ
徒ハ大ニ智識モ進歩シアレハ別ニ教ヘズトモ夫
程ノコトノハ大丈夫ナリノ四十七番(室田)曰
相場割ニハ諸等表カ必用ナリノ二十五番賛成ノ
十八番(山下)曰 十四番ヲ賛成ス諸等ヲ教ル
ニハノ必スヤ自然ニ表ヲ授ルコト勿論ナリ二十
五番ハ何ノヲ危ミテ明記ヲ欲スルヤ希クハ婆心
ヲ主張ノシテ嗤ヲ大方ニ招ク勿レノ二十五番
(生熊)曰 諸等ヲ教ルトキハ表ハ自ラ併ノ授
ノ為一理ナリトテ痛ク十八番ヨリ駁撃ヲノ頂戴
シタルカ夫レニテ充分ノ者ナラハ何ゾ前々ノ級
ニ先ツ加減等ノ呼声ヲ教ルコトノ決定シタル
ヤ本員ハ敢テ駁撃ニ駁撃ヲ加ヘズノ十八番自ラ
判決ヲ前日ノ十八番ノ心中ノニ問フノ此時會長
(瀨川)ハ所見アリトテ満場ノ特許ヲ得ノ四番
(石川)ニ暫ク代理ヲ命ジテ三十一番ノ席ニノ
着クノ三十一番(瀨川)曰 等ノ字ヲ加ル十四
番ノ説諸等表ヲ教ルノ二十五番ノ説共ニ非ナリ
十四番ノ精神ハ等ノ一字ナキノトキハ利息算ヲ
教ルコトカ出来ヌトノ心配カ知ラサノレトモ利
息算ハ相場割ニ附帶セザルヲ得ザルハ勿論ノ
コトナレハ敢テ蛇足ヲ添ルノニ及バズ二十五番
ノ説モ同様ナリ故ニ本員ハ飽マテノ原案ヲ可ト

スノ

p 161

十四番(奥高)曰 三十一番ハ利息算ノ相場割
ニ含ノ有スル確拠ヲ何辺ヨリ見出セシカノ三十一
番(瀨川)曰 最早老級ニモ至リシコトナレ
ハ原ノ案ノ精神ハ必ズヤ容易利息算位ハ含有ス
ルノニ相違ナシ之レ順序配置ノ大勢上ニテ歴々
ノ徴スベキナリノ三十二番(茶谷)曰 三十一
番ノ説至当ナリ由テノ本員ハ前説ヲ取消シ更ニ
原案ヲ可トスノ四十一番(大島)曰 熟々各員
ノ説ヲ承ルニ或ハ等ノノ字ヲ加ントシ或ハ諸等
表ヲ加ントシ又ハ原案ヲ可ノトスルアレド固リ
諸等ニハ十進法ニ係ル者モアリ又ノ今迄ニ見習
ヒ聞習ヒ覺エ得シケ処モアルベキコトノト存ズ
レハ別ニ諸等表ヲ教ルニモ及バザルヘシ將ノ十
四番三十一番ノ御理屈アレトモ這ハ些ト服シカ
タキノ廉アレハ余ハ各員ノ棄ノテ顧ミサル八番
ノ説ヲ賛成スベシノ三十一番(瀨川)曰 今茲
ニ利息算ヲ加ルノ説ノハ一級ト重複シテ然ル可
ラズ又高等ニ入ル者ナラノハ別ニ尋常ニ於テ割
愛シテ容易利息算ノ位ヲ授ル時間ヲ假スニモ及
バサルベシ今ヤ八番ノ説ノハ一動議トナリシニ
依リ原案維持ノ為メ敢テ駁ヲ加フノ四十五
番(中村)曰 原案ノ俚ニテ可ナリノ仮會長(石
川)ハ論議較ヤ冷カナルヲ見テ起ノ立ヲ命ズル
ニ左ノ如シノ八番ノ説ヲ可トスルモノ 四名ノ
p 162

十四番ノ説ヲ可トスルモノ 四名ノ二十五番ノ
説ヲ可トスルモノ 六名ノ原案ヲ可トスルモノ
十六名ノ過半数ノ故ヲ以テ原案ニ可決シ直ニ次
項ニノ移ルノ習字———／算術———／
裁縫———／容儀———／體操———／
右各項全會異議ナク原案ニ可決シ之レヨリ第老
級ノ前期ニ取掛ル旨ヲ會長(瀨川)ヨリ演述シ
書記議ノ案ヲ朗讀スノ

○尋常小学第一級前期

文学———／讀書———／書取及作文ノ十七
番(芳野)曰 作文ハ總會ニ決セシ通り後廻
カ如何ノ會長(瀨川)曰 然リノ十七番(芳野)
曰 然ラハ原案賛成ノ他ニ異議ナキヲ見テ會長

(瀬川) ハ例ニ拠テ原案ニ可決スル旨ノ

p 163

ヲ告ケ而シテ略目ノ事ニ取掛ルノ四十七番(室田)曰 略目ハ只今議ス可ラス何トナレバノ先達而番外立案委員ヨリ承ルニ口授ノ参考書モ追テ出版トノコトナレハ其時ニ議ノテ可ナリノ八番(宮野) 十七番(芳野) 之レヲ可トスノ十五番(小竹)曰 参考書ノ出版何時ノトモ知レサルコトナレバ只今議決ハシ置カサル可ラズノト考フ然ラザレハ餘リ渺漠タル咄シナラズヤノ十八番(山下) 之レヲ賛成スノ依テ會長(瀬川) ハ右ニ説ニ起立ヲ命ズルニ左ノ如シノ十五番ノ説ニ同意ノモノ 拾壺名ノ四十七番ニ同意ノモノ 拾九名ノ過半数ノ故ヲ以テ議決ヲ後日ニ譲ルトコトシ先ノツ目今ハ審議セサルコトニ可決ス依テ次項ヲ審議セシムノ算術——ノ二十一番(大津)曰 農業ノ口授ヲ受ル者ニ地國ノ引方ヲ教ヘタシ農家ニ於テハ田地等ノ見取図ヲ画ク事極メテノ必用ノモノナリ而シテ是ヲ算術課ニ入レントスルハ尺ヲ以テ其図ヲナス等算數ニ甚タ相近ケレハノナリノ四十七番(室田)曰 地図ノ引方ヲ教ル一段ハ二十一番賛成ナリ然レトモ之レヲ算術課ニ入レントスルハ不穩當ノコト思ノ

p 164

考スレハ本員ハ画學課中ヘ附属セシメタシノ十七番(芳野)曰 帳合法ハ粗漏ニスラ渉ラサレバ夫ニテ宜シ故ノニ土地々々ノ帳合法ヲ授ル方実益アリ彼ノ福沢氏ノ著述ニ係ル帳合法等ハ理ハ理ナリト雖トモ実益ハ却テ尠シ故ニ本員ハ書ニ而已拠ラズシテ主トシテ実ヲ酌ントス且又ノ幾何ヲ画學ニ属セシメタシノ二十一番(大津)曰 渾テ尺度ノ器ヲ用ヒ事ヲナスモノハ悉皆算術ノ部ニ非ルハナシ之レヲ画學ニ属セントスノルハ穩當ナラザル説ナリ四十七番十七番ニ合セ答フノ十番(荒井)曰 二十一番ヲ賛成ス且併セ工業ノ口授ヲ受ルモノニ開立法ヲ授ケタシノ十四番(奥高)曰 二十一番ノ地図ノ引方ヲ教ル説十七番ノ帳合法ノ説共ニ賛成ノ此時十七番(芳野) 起テ前議ヲ主張シ幾何

ヲ画學ニ属セシムルノ理ト實際帳合法ノ便ヲ敷衍シ十番(荒井) ハ反對ノ点ニ立テ悉ク之レヲ排駁シ幾何ハ數字ノ部分ナル理由ト張合法ヲ教ルノ旨趣ニ非サルヲ捍言ス茲ニ於テ右兩會ノ員ノ間ニ於テ數回ノ舌戰アリ一時議場ヲ擅有スルノ形跡アリシカ其後ノ三十二番(茶谷) 十五番(小竹) 等ノ各員アリテ右論場ヘ突入シノ終ニ何ノ帳合法トモ明記ナケレハ此俟トシテ土地適宜ニ教授ノスベシトノ事ニ決シ稍ク論鋒ヲ収ム依テ會長(瀬川) ハノ先ツ二十一番ノ説ヲ可トスルモノヲ起立セシムノ起立 拾式名ノ

p 165

次ニ原案ヲ可トスルモノヲ起立セシムノ起立 拾八名ノ過半数ノ故ヲ以テ原案ニ可決ス時方ノサニ定刻ナルヲ以テ午餐ヲ命ジ一同退散于時十二時ノ三十分ノ午後壺時三十分再開議ノ欠席未着午前ノ如シノ午後壺時三十分擊柝ノ報道ニ依リ會長會員及勝山郡ノ書記等各其席ニ着キ正礼ス畢テ會長(瀬川) ハ日用ノ枢事略目ハ原案ニ決セシ者ト見做シノ直ニ次項ニ移ルベキ旨ヲ演述シ書記ヲシテ左ノ數項ヲ朗讀セシムノ習字——ノ裁縫——ノ容儀——ノ体操——ノ四十五番(中村)曰 裁縫科ニ機ノ事即チ組立方ヲ口授シ且ノ器械ヲ以テ授ルモ妨ナシトノ意ニ修正シタシ右ハ民間ノ必用ノ者ナレバ尋常科ニ於テ教ルハ大ニ実益アルベキヲ信ズルナリ蓋シ當郡ノ実況ヲ通觀スルニ大抵高等ニ入ルノ女生徒ナケレバナリノ四番(石川) 之レヲ賛成スノ

p 166

十四番(奥高)曰 機ハ固ヨリ必用ナリ然レトモ之レカ組立方ヲ口授スル云々ハ家事要件ノ範圍ニ属ス故ニ此所ハ原案ノニテ宜シノ十番(荒井) 三十二番(茶谷) 十八番(山下) 三十五番(奥濱) モ亦前ノ后原案ヲ賛成スノ審議ノ末會長(瀬川) ハ起立ヲ命スルニ左ノ如シノ四十五番ノ説ニ起立 五名ノ原案ニ起立 十五名ノ過半数ノ故ヲ以テ原案ニ可決スノ會長(瀬川) ハ之レヨリ第壹級後期ヲ議スベシト述ベノ書記

議案ヲ朗讀ス／

○尋常小学第壹級後期

十七番（芳野）曰 算術科エ立法ヲ入レタシ／
四番（石川）十八番（山下）三十五番（奥濱）
四十四番（平田）之レヲ／賛成ス／十番（荒井）
曰 立法ヲ入レハ十七番ニ同意而シテ本員ハ
其上地／図学ヲ加エタシ／四十七番（室田）十
四番（奥高）八番（宮野）二十一番（大津）之
レヲ賛／成ス／三十番（徳木）曰 十番十七番
等加立法ヲ授ントスルノ精神ハ／嘉ミスベキニ
似タレトモ奈何セン平法ト違ヒ其方／頗ル煩雜
ナレバ該ノ生徒ニハ不適当ト考フ依テ本員／
p 167

ハ原案ヲ可トス／十番（荒井）曰 工業ハ悉皆
板ノ如キ平面的ノ者ノミナレハ敢／テ授ルニ及
バザレトモ箱等ヲモ造作セサル可ラサルモノナ
／レバ必ス工業ノ口授ヲ受ルモノニハ授ケ置カ
ザル／可ラザルナリ／三十番（徳木）曰 乞フ
眼ヲ放テ実況ヲ見ヨ開平ハ知ラザルモ／巧ミニ
工業ヲ能クスルハ到ル処ノ職工皆然リ豈敢テ／
困難ノ立法ヲ授ルヲ要セン／會長（瀨川）ハ審
議ノ末起立ヲ命ズルニ左ノ如シ／十番ノ説ニ起
立（之レハ十七番ノ説ヲ含有スルノ説ナルカ）
／（故先ツ十番エ合併セシモノト做シタルナリ）
／二十名／原案ニ起立 十名／過半数ノ故ヲ以
テ十番ノ説ニ決ス（此説行ハレシニ由リ／自然
十七番ノ説モ行ハレタリ）／會長（瀨川）今ヨ
リ尋常小学課目一覽表ヲ議スベ／シヤ否／八番
（宮野）曰 表ヲ議スルハ贅事ナリ議スルニ及
／バズ／二十一番（大津）曰 理屈ハ免モアレ
議スルハ益アリ議ス／ベシ議スベシ／共ニ賛成
アルヲ故テ會長（瀨川）ハ決ヲ起立ニ徵ス／八
番ノ説ニ起立 十四名／二十一番ノ説ニ起立
十六名／過半数ノ故ヲ以テ議スルニ決定ス／
p 168

依テ會長（瀨川）ハ書記ヲシテ尋常小学課目一
覽／表ヲ朗讀セシム／

○尋常小学課目一覽表

云々／四十一番（大島）曰 五級後期ノ讀本ハ
葉ヲ教授云々／ヲ削除シタシ而シテ又先達テ番

外ノ答弁ヲ聞ニ／矢張連語ノ初メニ変体仮字ヲ
加ルノ精神／ナレバ改メテ此所ヘ明記シタシ／
二十番（慶塚）四番（石川）之ヲ賛成ス／十七
番（芳野）曰 讀本ノ八葉云々ハ削除スベシ変
体仮／字ヲ授ル云々ハ明記スルニ及バズ／十番
（荒井）三十五番（奥濱）之レヲ賛成／ス／十
四番（奥高）曰 少々ニテモ此所ニテ教ヘ次級
ノ肩休／メスル大ニ可ナリ原案ノ俚ニテ宜シ／
四十五番（中村）三十二番（茶谷）之レヲ可ト
ス／審議ノ末起立ヲ命ズルニ左ノ如シ／四十一
番ノ説ニ起立 六名／十七番ノ説ニ起立 九名
／原案ニ起立 十五名／茲ニ於テ會長（瀨川）
ハ原案ヲ可トシ即チ屯名／ノ過半数ヲ以テ原案
ニ可決ス／夫ヨリ文学庶物指数ノ二科ヲ審議シ
原案ニ可決シテ／

p 169

地理科ニ及ブ／十八番（山下）曰 四級ノ能登
地誌略ヲ三級前期ヘ／組込地理小誌亨ノ卷前期
ノ餘トアルヲ削リ／タシ／十七番（芳野）八番
（宮野）之レヲ賛成ス／審議ノ末起立ヲ命ズル
／十八番ノ説ニ起立 満員／全會一致之レニ
可決ス／次ニ歴史科ヲ議スルニ種々討論ノ末原
案ニ可決ス／會長（瀨川）曰 本日ハ之レニテ
散會スベシ／撃柝一声衆員議堂ヲ退ク干時午後
四時／本日傍聴人午午後共九名／

鳳至珠洲郡教育協議會日誌第十五号／

明治十三年七月二十六日午前十時開議／

欠席 二番 三番 十一番 十二番 十三番
／二十二番 二十三番 二十九番 三十番 三
十三番／四十六番 五十番／
未着 五番 十六番 十九番 二十四番 二
十六番／三十七番 四十二番 四十三番 四十
九番／

出席會員 二十九名／

午前十時會長會員及勝山郡書記等各其席ニ着キ
一同正礼ス畢テ會長（瀨／川）ハ之ヨリ昨日ノ
續キニ取掛リ歴史ノ一科ヲ審議スベシト演述ス
／十八番（山下）曰 三級前后期ノ日本略史ヲ
削除皇國ノ部ヲ入／レタシ尤前後ノ二期ニ割リ

当テ前期ニハ十分ノ三内外后期ニハ十分ノ七ノ内外ノ目安ノ

p 170

十七番(芳野)之レヲ賛成スノ三十二番(茶谷)曰 不可ナリ史略皇国ノ部而已ニテハ輕キニ過キ且ハ不權衡ノ廉モアレバ本員ハ原案ノ俣ヲ可トスノ二十一番(大津)之レニ同意ノ會長(瀨川)ハ審議ノ末起立ヲ命スルニ左ノ如シノ十八番ノ説ヲ可トスル者 七名ノ原案ヲ可トスル者二十一名ノ過半数ノ故ヲ以テ原案ニ可決スノ會長(瀨川)ハ之ヨリ過般後ト廻シト決議シアル書取ノ及作文ノ項ヲ審議スベシト演述シ書記ヲシテ議案ヲ朗讀セシムノ

○尋常小学第二級前后期

書取及作文——ノ此時會長(瀨川)ハ意見アリトテ副會長(大津)ト交替シテ三十一番ノ席ニ着クノ四番(石川)曰 紀事文ハセメテ当期カラニテモ授ル事トシタシ故ニノ原案賛成ノ三十二番(茶谷)十番(荒井)之レニ同意ノ十四番(奥高)曰 此所モ亦機紀事文ヲ削リタシ生徒ニ彼モ是モ授ケタキハ腹一杯ノノコトナレトモ紀事文ニモ熟シ手簡文ニモ長スルコトハ到底兒童ノ能クシ難キ所依テ尤切近ニシテ尤必要ナル手簡文ノミノニカヲ專ハラニセシメタシ之レ乍毎度削除ヲ欲スル所以ナリノ十八番(山下)四十五番(中村)六番(河内)之レヲ賛成スノ副會長(大津)ハ審議ノ末起立ヲ命ズルニ左ノ如シノ十四番ノ説ニ起立 十八名ノ原案ニ起立 十名ノ

p 171

過半数ノ故ヲ以テ十四番ノ紀事文削除ノ動議ニ可決スノ依テ副會長(大津)ハ之レヨリ一級ノ書取及作文科ヲ議ス可シトノ述べ書記議案ヲ朗讀スノ

○尋常小学第一級前期

作文——ノ二十番(慶塚)二十八番(柿本)十八番(山下)十四番(奥高)三十二番(茶谷)ノ二十七番(林)續々原案ヲ可トスノ三十一番(瀨川)曰 此所コソ紀事文削除ノ場所ト存ズ何トナレハ前二期ニ於テ既ニ紀事文ヲ削除シ

来リ今更コノ温習期ニ至テ之レヲノ授ントスルハ実ニ奇妙ノ御思案ト存ズ削除々々ノ十五番

(小竹)之レヲ賛成スノ二十五番(生熊)曰 仮字遣ヒヲ加ヘテ如何ノ七番(喜田)之レヲ賛成スノ審議ノ末副會長ハ起立ヲ命ズルニ左ノ如シノ三十一番ノ説ヲ可トスル者 六名ノ二十五番ノ説ヲ可トスル者 二名ノ原案ヲ可トスル者二十名ノ過半数ノ故ヲ以テ原案ニ可決スノ依テ副會長(大津)ハ書記ヲシテ左ノ議案ヲ朗讀セシムノ

○尋常小学第一級后期

書取及作文——ノ全會一致原案ニ可決スノ依テ會長(瀨川)ハ其席ニ復シ副會長(大津)ハ二十一番ノ席ニ着クノ

p 172

會長(瀨川)曰 之ヨリ最初後ト廻シト決シアル石川縣尋常小学教則ノ一項ヲ討議サレタシノ八番(宮野)曰 石川縣鳳至珠洲郡尋常小学教則ト改メタシノ二十八番(柿本)二十番(慶塚)二十七番(林)十七番(芳野)之レヲ賛成スノ四十七番(室田)曰 原案ノ俣ニテ可ナリノ二十一番(大津)曰 此教則ハ模範教則ヲ修正シ云々トノ旨ヲ添ノエタシノ十八番(山下)之ヲ賛成スノ三十二番(茶谷)曰 本員ハ八番二十一番ノ兩説ヲ合併シテ一動議トナノサン何トナレハ修正モ要用ナリ添書モ亦要用ナレバナリノ四番(石川)十番(荒井)之レヲ賛成スノ會長(瀨川)ハ審議ノ末先三十二番ノ説ニ起立ヲ命スルニ二十五名ノ過半数ヲ得ノタリ依テ之レニ可決シ而シテ午食トナル于時正午ノ午后一時三十分再開議ノ欠席未着等午前ノ如シノ午后尅時三十分會長會員及勝山郡書記等例ニ依テ着席シ一同正ノ礼ス畢テ會長(瀨川)ハ午前ニテ全ク尋常小学教則ノ代二次會ノヲ了リタレバ之レヨリ直ニ第三次會ヲ開クベシ就テハ先ノツ修正委員三名ヲ選舉シ過日來修正ニ可決セシ条項ノ文字章句ヲ修正セシム可シト演述スノ各員投票書記之ヲ調査スルニノ二十点 十番會員荒井太郎吉ノ十五点 四十七番會員室田励聰ノ十三点 二十五番會員生熊金作ノ

(以下略) /

p 173

多数ニ依リ右三名ヲ当撰者ト定メ各承諾ス畢テ本日ノ會ヲ閉チ十五番 (小竹) 會員ノ求メニテ小會議ヲ開キ午ノ三時退散スノ本日傍聴人午前 午後共拾三名ノ

鳳至珠洲郡教育協議會日誌第十六号ノ

明治十三年七月二十八日午前九時三十分開議ノ
欠席 二番 三番 六番 十一番 十二番ノ
十三番 二十一番 二十二番 二十三番 四十六番ノ五十番ノ

未着 五番 十六番 十九番 二十四番 二十六番ノ三十七番 四十二番 四十三番 四十九番ノ

出席會員 三十名ノ

午前九時三十分分析鳴リ會長會員及勝山郡書記等例ノ如ク着席シ一同正礼ス畢テ會長 (瀬川) ハ二十九番會員四柳十寸雄氏病氣ニ付該組合ヨリ代員トシテ伊藤嘉久太郎氏ノ出會本日ヨリ其席へ着カレシ旨ヲ報告シ併セテ之ヨリ昨日ノ續キ即チ小會議ニ取掛ノル議案即チ修正案ヲ朗讀スノ此時 (修正案略之) 加藤郡長等臨會一同敬礼スノ四番 (石川) 曰 八級トアルヲ五級后期トシ本ノ原案ニ復シタシノ十五番 (小竹) 二十番 (慶塚) 二十五番 (生熊) 三十二番 (茶谷) 四十番 (河合) 四十五番ノ (中村) ノ

p 174

之ヲ賛成スノ會長 (瀬川) 曰 即チ五名以上ノ賛成ニ付之ヲ本會ノ問題トス可シノ十八番 (山下) 曰 二次會ニ可決セシコトヲ三次會ニテ破壊セントスルハ余程弊害アル者トノ見做スニ非レハ然カセヌ者ナリ今ヤ五級后期トアル名称ヲ八級ト修正シナバノ果シテ何程ノ弊害カアル敢テ四番ニ質問センノ四番 (石川) 曰 模範教則頒布以來ニ陰然之ニ改正セシ所モアレバ又●旧トノ八級ト稱ノルトキハ朝令暮改信ヲ生徒ニ失フ者ト云フ可シ且別級ノ名称甚タ不穩当之本員ガノ見テ弊害アリトスル所以ナリノ十七番 (芳野) 曰 仮令改正セシ校舍アリトナスモ此改正

ヤ日タル尚淺シ何ゾ人之ニ慣熟セノン矧ヤ毎期名ヲ更メ級ヲ進ムルハ大ニ生徒ノ厭倦ヲ防クニ足ルノ利アリ敢テ辯ヲ費ヤシテ修正案ヲ維持スノ三十二番 (茶谷) 曰 旧トノ原案ノ組立ニテハ一級ヲ卒業スル即チ之レ尋常小学ヲ卒ノリシモノナリ然ルヲ修正案ノ組立ニテハ一級ヲ卒業スルモ尚別級ヲ卒ルニ非レハ尋ノ常小学ヲ卒業セシ者ト云能ハズ●ス可ノ●●一級ヲ卒リシ全科ヲ卒ノ●●非ズト●●ノ組立アランヤ思ハザル可ラスノ八番 (宮野) 曰 異ナル哉三十二番ノ楊言ヤ旧トノ原案ノ組立ニテハ中程ノ二級ヨリ突再トシテ高等ニ入ルノ制ナリ天下何ノ処ノ教則カノ如此奇妙的ノモノアランヤ察セザル可ラスノ三十二番 (茶谷) 曰 八番ハ今ノ高等尋常ノ兩教科ヲ旧トノ一教科ニシテ上等待ノノ區別アリシモノト同一ト誤認サルル如シ何ソ其駁論ノ正鵠ヲ失セシヤ余カ本旨ハ当郡ノノ実況ヲ見ルニ尋常小学ヲ卒レハ退校スルモノヲケレバ修正案ノ俛ニ決シ置ノクトキハ別級ヲ修メズシテ之ニテ一級卒業トテ吾モ人モ退ノ校スルニ足ルベキ乎ヲ恐レ特ニ二級ト名称ヲ附シ置カントノ欲スルナリノ此時八番三十二番兩會員ノ間ニテ兩三回ノ論駁アリ且十四番 (奥高) 四十七番 (室田) 二ノ十番 (慶塚) 十七番 (芳埜) 等ヨリ色々議論モ出タレトモ大將前各説ヲ或ハ敷衍シノ或ハ駁撃スルニ過キザレハ之ヲ略スノ會長 (瀬川) ハ審議ノ末起立ヲ命ズルニ左ノ如シノ四番ノ動議ヲ可トスル者 拾六名ノ

p 175

原案即チ修正案ヲ可トスル者 拾三名ノ過半数ノ故ヲ以テ四番ノ動議ニ確定ス依テ直ニ次項ニ移リ逐次縫裁ノ科ニ及ブノ十番 (荒井) 曰 此縫裁ノ項ヘ但書ヲ加ヘ当分八才以上ノ生徒ニ授クトシタシノ尤級期ニ拘ラサルナリノ十八番 (山下) 二十番 (慶塚) 四十七番 (室田) 四番 (石川) 九番 (生島) 之ヲ賛成スノ會長 (瀬川) 曰 即チ五名以上ノ賛成ニ付之ヲ本會ノ問題トスヘシノ八番 (宮野) 曰 左様ノコトハ教則ニ記載セサルモ教授シテ差支ナシ故ニ原案ノ俛ヲ可トスノ十番 (荒井) 曰 果シテ教ルノ精神

ナレバ明記スルニ及カズ／四十五番（中村）曰
十番ノ説ニテハ敏オアリテ高級ニ上リシ生徒ト
雖ドモ年少ノナレハ教ヘサルノ幣アリ原案可ナ
リ／四十一番（大島）曰 当分ノ二字ヲ加ルハ
何ノ為ゾ／十番（荒井）曰 現今コソ年齢ヲ強
化ノ割合トニ差違アレトモ将来ハ必不／同ナキ
ニ至ランカ是当分ノ二字ヲ冠セシ所以／二十五
番（生熊）曰 教則編成ニ当テハ年齢相当ノ者
ト仮定シテ組立サル可／ラズ若シ然ラズシテ同
シ五級后期ト雖ドモ六オモアリ八オモアリ又十
オモ十二オ／モアルベケレハトテ深力心配ニテ
年齢ニ限ルノ動議ヲ出サバ豈独リ縫裁ノミ／然
ランヤ其極級期ノ制ヲ破壊シテ年齢ヲ以テ根本
トセサル可ラサルニ至ラン／モ亦計ル可ラス之
ヲ是考一考スレハ原案ヲ可トセサルヲ得ズ／十
八番（山下）曰 二十五番ノ説甚タ理ナリ然レ
トモ理ヲ以テ施行センカ為ナラハ豈／本會ノ開
設ヲ必要トセン之ヲ実ニ適セシメントテ諸君ヲ
共ニ二十数日間ノ審議ヲ尽／スナレハ各員乞フ理
ニ泥ム勿レ／會長（瀬川）ハ審議ノ末起立ヲ命
スルニ左ノ如シ／十番ノ動議ヲ可トスル者 十
二名／原案ヲ可トスル者 十七名／過半数ニ付
原案ノ俟ト確定ス依テ直ニ次項ニ移リ逐次書取
科ニ及ブ／

p 176

十番（荒井）曰 片仮字平仮字両様ニテ詞ヲ書
取ラスルコトトシタシ／十七番（芳埜）三十五
番（奥高）七番（喜田）二十番（慶塚）四十番
（河合）之ヲ賛成ス／會長（瀬川）曰 即チ五
名以上ノ賛成ニ付之ヲ本會ノ問題トスヘシ／十
八番（山下）曰 十番ノ説モ一應ハ尤ナレトモ
説明ニモアル通り平仮字ハ仮字／ノ始メタルノ
ミナラズ片仮字ヨリハ甚タ日用近要ノ者ナレハ
／原案ノ俟ニテ可ナリ固ヨリ両様トモ習熟スレ
ハ夫程ノ事ハナケレトモ／当一期間ニテハ其御
望ハ到底六ヶ敷ト考フ／四十七番（室田）三十
二番（茶谷）等交々之ヲ賛成シテ十番ヲ駁撃シ
其末ノ十番ノ賛成者タリシ二十番（慶塚）ノ前
賛成取消ニ依リ十番ノ動議ハ／遂ニ消滅シテ原
案ノ俟ニ確定シ直ニ次項ニ移リ體操科ニ及ブ／

三十二番（茶谷）曰 旧トノ原案通り運動ヲ加
ヘタシ／十五番（小竹）四番（石川）四十五番
（中村）三十五番（奥濱）二十五番（生熊）／
四十七番（室田）之ヲ賛成ス／會長（瀬川）曰
即チ五名以上ノ賛成ニ付之ヲ本會ノ問題トスベ
シ／四十四番（平田）曰 六オノ小兒ニ運動ト
ハ實際行レザルノ説ナリ原／按可ナリ／四十七
番（室田）曰 何カ故ニ行レザルカ若シ始テノ
コトナレハ六ヶ敷ト云フナラバ／当期ニハ何一
ツモ教ルモノ莫カルベシ三十二番ノ動議可ナリ
／會長（瀬川）ハ審議ノ末起立ヲ命ズルニ左ノ
如シ／三十二番ノ動議ヲ可トスル者 十五名／
原案ヲ可トスル者 十四名／半数ニ過ルコト尅
名ナルヲ以テ三十二番ノ動議ニ確定シ之亦旧ト
ノ原／案ニ復セリ其時午後四時三十分ナルヲ以
テ本日ノ會ヲ解散ス／本日傍聴人 午前／午後
共拾名／

p 177

珠洲郡教育協議會日誌第十九号／

明治十三年七月三十一日午前九時三十分開會／
欠席 二番 三番 六番 十一番 十二番
十三番／二十番 二十二番 三十三番 三十四
番 五十番／

未着 五番 十六番 十九番 二十四番／二
十六番 四十二番 四十三番 四十九番 出席
會員 三十一名／

會長會員及勝山郡書記等各其席ニ着キ一同正礼
ス 會長（瀬川）ハ／是ヨリ昨日ノ續キ第二級
前期ノ確定義ニ取掛ル旨ヲ演ブ／四番（石川）
曰 野画ノ標目ニ曲直線及ヒ方円形等ヲ授クト
アルニ單簡ノ二文字ノヲ冠セシメ旧ノ原案ニ復
シタシ／十五番（小竹）二十七番（林）三十二
番（茶谷）四十一番（大島）三十五番（奥濱）
之ヲ賛成／ス／會長（瀬川）曰 即チ五名以上
ノ賛成ニ付是ヲ本會ノ問題トスベシ／十番（荒
井）曰 曲直線ハ運筆ニ慣レシムルノミニ止リ
テ規ヲ用井サルノ精神ノナレハ今之ニ單簡ノ二
字ヲ加ルハ所謂無用ノ長物ナリ原案ヲ可トス／
十八番（山下）十七番（芳野）四十七番（室田）

各之レヲ敷衍シテ原案ヲ可トス／

p 178

四番（石川）曰 十番ノ説明ニテ一層自説ヲ深信ス何トナレハ曲線ナレハ曲ヲ重／ヌルハ難クシテ重ネザルハ易シ直線モ亦之ト同理ナリ故ニ云フ單簡ノ二／字冠セシメサル可ラズト／三十二番（茶谷）之ヲ可トス／會長（瀨川）ハ審議ノ末起立ヲ命スルニ左ノ如シ／四番ノ説ヲ可トスル者 九名／原案ヲ可トスル者 二十一名／過半数ノ故ヲ以テ原案即チ修正案ニ確定ス／十番（荒井）曰 裁縫科ニ附属シアル庖餅育児ヲ日用枢事ノ部ニ附属／セシメタシ／四十一番（大島）七番（喜田）三十五番（奥濱）四十四番（平田）三十二番（茶谷）之ヲ／賛成ス／會長（瀨川）曰 即チ五名以上ノ賛成ニ付之ヲ本會ノ問題トスベシ／十八番（山下）曰 理ハ固リ穩カナラサレトモ実ハ女教師ノ授クベキモノナレハ縫／裁ノ科ニ附属セシ立案ノ主旨ナリ故ニ原案ニテ宜シキト思フ／十番（荒井）曰 ソハ原案ニ泥ムノ説ナリタトヘ口授ニ附セシテ女教師ノ／授クルニ何カアラヌ且臨時男教師ヨリ授ルモ敢テ妨ケナクシテ却テ便宜／十七番（芳野）二十一番（大津）之ヲ賛成ス／四十七番（室田）曰 庖餅育児ハ女子ノ行フ所ナレバ女教師口授ノ周到●切ナル／ニハ如何ナル雄弁ノ男教師モ三舍ヲ避ルヤ必然ナリ且生徒ノ感情果シテ如／何ゾヤ請フ理論ニ偏シテ実益ヲ損セシムル勿レ本員ハ原案ニテ可／十四番（奥高）之ヲ賛成ス／會長（瀨川）ハ審議ノ末起立ヲ命スルニ左ノ如シ／十番ノ説ヲ可トスル者 十名／原案ヲ可トスル者 二十名／過半数ノ故ヲ以テ原案ニ確定ス依テ會長（瀨／川）ハ第壹級前期ニ取掛ル旨ヲ述ベ且意見アリトテ席ヲ副會／長（大津）ニ譲リテ三十一番へ着席ス／

p 179

三十一番（瀨川）曰 書取作文科中ノ紀事文ヲ削除シタシ／十四番（奥高）四十一番（大島）十八番（山下）四番（石川）十七番（芳野）之ヲ賛成／シ忽チ會場ノ問題トナル／十番（荒井）曰 削除スルハ不可ナリ何トナレバ此級ノ生徒

ハ高等へ入ル／ヲ得サルモノ而已ナレバセメテハ此所ニ於テ紀事文ヲ授ケザル可ラス／四十一番（大島）曰 作文ハ左様ニ速成スルモノニアラズ前一ヶ年即二期間／マルデ之ヲ課セズシテ今遽カニ課スルモ益ナシ寧ロ之ヲ削リテ全力ヲ／書牘文ニ注カシムルヲ可トス／三十一番（瀨川）三十二番（茶谷）ハ之ヲ敷衍シ精神ハ固ヨリ紀事文ノ要用ヲ知レトモ今ヤ／不幸ニシテ二期ニ於テ削除ニ決議シタレバ最早当期ニ存スルモ無／益ノ勞ニ過キズト述ベ十番（荒井）ハ尚前説ヲ主張ス／副會長（大津）ハ審議ノ末起立ヲ命ズルニ左ノ如シ／原案ヲ可トスル者 十番（荒井）三十五番（奥濱）四十四番（平田）／四十八番（永井）／三十一番ノ説ヲ可トスル者 右四名ノ外 惣起立／過半数ノ故ヲ以テ紀事文削除ノ議ニ確定シ此代三十一番（瀨川）十番／（荒井）ヨリ尚修正説ヲ提出シタレトモ到底賛成ヲ得ズシテ消滅シ十／二時三十分ニ至リ一先休憩ス／同日午後壹時三十分再開議／着席午前ノ如シ／二十一番（大津）曰 農業科ノ口授ヲ受ル者ニ地図ノ引方ヲ教エタシ／十四番（奥高）十八番（山下）之ヲ賛成ス／十番（荒井）曰 算術科ノ但工業トアル下へ農業ノ二字ヲ加ヘタシ／七番（喜田）十八番（山下）二十八番（柿本）三十五番（奥濱）三十番（徳木）之ヲ賛成シ忽チ問題トナル／三十二番（茶谷）曰 通常ノ農家ニ於テハ左ノミ測量ヤ実用幾何ヲ／要用トセズ原案ニテ充分ナリ／四十一番（大島）之ニ同意シ十番（荒井）ト討論ヲ重ヌ／會長（瀨川）ハ審議ノ末起立ヲ命ズルニ左ノ如シ／

p 180

十番ノ説ヲ可トスル者 十七名／原案ヲ可トスル者 十三名／過半数ノ意見ナルヲ以テ乃チ十番ノ説ニ確定ス依テ直ニ第一級／後期ニ移ル／七番（喜田）曰 利足算ハ農工商トモニ課スルコトトシタシ／二十一番（大津）二十八番（柿本）二十七番（林）四十一番（大島）三十五番（奥濱）之ヲ賛成ス／二十一番（大津）曰 且開平法ヲモ授ケタシ／七番（喜田）二十八番（柿

本) 四番(石川) 十番(荒井) 三十五番(奥濱)
之ヲ賛成シ/右二説トモ問題トナル 依テ會長
(瀨川) ハ先ツ七番ノ説ニ付可否ヲ述ベシ/ム
/十八番(山下) 四十七番(室田) 四番(石川)
等之ヲ非トシテ曰ク成程利息算モ授/ケテ悪キ
コトハナシ然レトモ彼モ是モ一時ニ授ルコトハ
到底能クシ得/サルコトナレハ須ク急ト不急ト
擇バザル可ラス尤利息算ヲ要スルニ急/ナルモ
ノハ工商二者ニシテ農ノ如キハ不急ト謂ワザル
可ラス且ツヤ日用ニ/必要ナル容易利息算ハ應
用ノ中ニ含蓄シ居ルト●●番外/ヨリ承リ及ビ
タレハ旁原案ノ俣ヲ可トス/十番(荒井) 之ヲ
駁シテ七番ノ説ヲ賛成ス/會長(瀨川) ハ審議
ノ末起立ヲ命ズルニ左ノ如シ/七番ノ説ヲ可ト
スル者 十五名/原案ヲ可トスル者 十四名/
各過半数ヲ以テ七番ノ説ニ確定ス干時四十七番
(室田) 會員/ヨリ献議ヲ出タシ會場多数ノ同
意ヲ得テ遂ニ之ニテ本日ノ會ヲ閉チ小/會議ニ
取掛リ五時退散/本日傍聴人 午前午後共拾名
/

p 181

珠洲郡教育協議會日誌第二十号/

明治十三年八月一日午前十時開會/

欠席 二番 三、 六、 十一、 十二、
十三、/二十、 二十一、 二十五、 三十
三、 四十七、 五十、/

未着 五、 十六、 十九、 二十四、 /
二十六、 四十二、 四十三、 四十九、/

出席會員 三十名/

會長會員及勝山郡書記等其席ニ着キ一同正礼ス
畢テ會長(瀨川) ハ是ヨリ/昨日問題トナリシ
二十一番(大津) 會員ノ開平法ヲ加ル説ニ付可
否ノ意見ヲ陳ベ/ラレタシト演述ス/十七番

(芳野) 曰 開平法ハ左ノミ農家ニ於テ要用ノ
モノニモアラザレハ加ルニ及バズ/二十一番
(大津) 曰 前期ニ其初歩ヲ学バシメ置タレバ
此期ニハ之カ活用カヲ与ヘシ為メ/授ケザルヲ
得ズト考フ/十七番(芳野) 曰 前期ニ其初歩
ヲ授クトハ即チ夫レダケノ活用ヲ与ヘ置ナリ豈
/法ノミヲ授ルニ止ランヤ果シテ然ラハ二十一

番ノ心配ヤ杞憂ニ属スルコト明瞭ナリ/會長
(瀨川) ハ審議ノ末起立ヲ命ズルニ左ノ如シ/
p 182

二十一番ノ説ヲ可トスル者 十六名/原案ヲ可
トスル者 十三名/過半数ノ故ヲ以テ開平法ヲ
加ル二十一番説ニ確定ス之ニテ第一級マデノ/
確定議ヲ完了シ更ニ二次會ノ手續ニ依リテ書目
表ニ及ブ/八番(宮埜) 曰 讀本八葉ヲ四級前
期ヘ送り込タシ/十七番(芳野) 二十八番(柿
本) 十八番(山下) 三十七番(林) 三十五番(奥
濱) 四十四番/ (平田) 四十五番(中村) ●續
之ヲ賛成シテ忽チ會場ノ問題トナル/三十二番
(茶谷) 四十番(荒井) 二十一番(大津) ハ今
ノ讀書ノ授ケ方/ハ句章ノ結構マデヲモ注意セ
シムルモノナレハ掛図ノ連語ヲ卒リテ/俄然讀
本ニ遷ラシムルハ緩急ノ順序宜キヲ失フト/云
フモ可ナリ故ニ前級ニ於テ連語ト讀本ト交々之
ヲ授ケテ書籍ニ/向フコトニ習レ初メサスル原
案ハ大ニ味ヒアル法ナリ尤/八葉トハ標準ニシ
テ適宜増減スルハ固リ可ナリト演ベテ原案ヲ維
持シ/四十四番(平田) 十八番(山下) ハ之ヲ
駁シテ八番ノ説ヲ主張ス/會長(瀨川) ハ審議
ノ末起立ヲ命ズルニ左ノ如シ/八番ノ説ヲ可ト
スル者 十一名/原案ヲ可トスル者 十八名/
過半数ノ故ヲ以テ原案ニ確定ス此時會場ニ教科
時間割/議否ノ論議起リ四番(石川) 十七番(芳
野) 八番(宮野) ハ議スルニ/及バズ唯体操容
儀ヲ時間外ニ置ヤ否可決スレハ足レリトシ十番
(荒井) /二十一番(大津) ハ是非審議セザル
可ラザル理由ヲ陳シ十七番(芳野) ト十番/ (荒
井) トノ間ニ壯快ナル一論戰ヲ開キ從テ議論湧
出容易ニ決セズ依テ/會長(瀨川) ハ午餐ヲ命
ジ一先退堂ス干時十二時/同日午后一時再開議
/着席午前ノ如シ/議事ハ午前ノ引續ニテ審議
ノ末修正異議アリ三級ノミ時間割ヲ/議スルコ
トニ決議シ直ニ之ニ取掛リ逐次第四級ニ及ブ/
十四番(奥高) 曰 裁縫ヲ時間外トシ毎週六時
ヲ課シタシ/

p 183

八番(宮埜) 曰 時間内ニテ一週一時トシ而シ

テ習字時間ヲ殺ヒテ之ニ充／テタシ裁縫ハ初歩ノコトナレハ之ニテ可ナリ／十番(荒井)曰 初歩トハ云ヘ一週一時ハアマリニ少シ依テ本員ハ一週二時トシ／而シテ固リ習字時間ヨリ割与シタシ尤習字ハ不急ト認ルニアラザレトモ他ニノ減殺スベキ所ナケレバナリ／十七番(芳野) 十八番(山下) 二十八番(柿本) 等ハ八番ヲ賛成シ四十五番(中村) 十五番(小竹) 等ハ十四番ヲ賛成シ二十一番(大津) 四十一番(大島) 七番(喜田) 等ハ十番ヲ賛成シ各自持説ヲ主張シテ一論／一駁一言一撃交々起テ得意ノ雄弁ヲ飾ヒイツ果ツベキトモ覺エズシ／テ議論称々沸騰セシカバ會長(瀨川) ハ臨機ノ処置ヲ以テ本會ヲ中／止シ暫時ノ會議ヲ開キテ説ヲ纏メ三時三十分再ヒ本會ニ復ス／十四番(奥高) ハ熟考ノ上感悟セシ所モアレバ前説ヲ取消シ更ニ二十番ノ賛成スト述べ依テ之カ賛成者タリシ四十五番(中村) 十五番(小竹) モ亦／十番ヲ賛成ス／會長(瀨川) ハ審議ノ末起立ヲ命スルニ左ノ如シ／十番ノ説ヲ可トスル者 十三名／八番ノ説ヲ可トスル者 十六名／過半数ノ故ヲ以テ八番ノ説ニ決シ直ニ第四級後期ニ及ブ／十番(荒井) 曰 此級ニテハ縫裁ハ毎週二時ヲ課セザル可ラス／三十九番(出野) 三十五番(奥濱) 二十七番(林) 四十一番(大島) 二十一番(大津)／七番(喜田) 之ヲ賛成ス／十七番(芳野) 曰 矢張一時間ニテ充分ナリ／八番(宮野) 二十八番(柿本) 十八番(山下) 四十四番(平田) 之ヲ賛成ス／會長(瀨川) ハ審議ノ末起立ヲ命ズルニ左ノ如シ／十番ノ説ヲ可トスル者 十四名／十七番ノ説ヲ可トスル者 十五名／一名ノ過半数ヲ以テ十七番ノ説ニ決定ス此時會長(瀨川)／

p 184

ハ五十番會員殿江勝太郎氏員ヲ辞シ脇成次郎氏代テ本／刻ヨリ出會ノ旨ヲ演述ス／十七番(芳野) 曰 算術ト地理ト時間ヲ交換シ算術ヲ一週五時トシ／地理ヲ一週四時トシタシ／全會一致之ニ可決シ直ニ第三級前期ニ及ブ／十番(荒井) 曰 地理ヘ一時ヲ加ヘ算術ヲ一時一時減ジタシ

／満場寂トシテ之ヲ非トスル者ナキニ依リ會長(瀨川) ハ起立ヲ命／ズルニ二十八番(柿本) 四十四番(平田) 五十番(脇) ヲ除クノ外惣起立／ヲ以テ之ニ決定ス依テ逐次第一級ニ及ブ／十七番(芳野) 曰 算術ハ一週六時女兒ハ一週五時口授ハ一週十時女兒ハ一週一時トシタシ／全會一致之ニ可決ス會長(瀨川) ハ之ニテ尋常小学教則ヲ完ク議了シタル旨／ヲ報道シ之ヨリ教則上申書説明立案ノ委員撰定法ヲ討／議アリタシト述べ審議ノ末會長ヨリ指名スルコトニ決定／シテ当日ノ會ヲ散ス干時午後四時三十分／本日傍聴人午前午後共十一名／

終わりに

日本近代教育の形成過程において、各地方の小学校のカリキュラムがどのように編成され、それについて教師たちがどのような議論を展開したのか、珠洲郡教育協議會日誌はそれを知るきわめて貴重な資料である。今後、議論の元になっている「石川県模範教則」と各学年・各教科ごとのカリキュラム表に照らし合わせながら、その内容を分析していかなければならない。本稿はそのための基本的な第1歩である。

輪島市教育委員会文化課に改めて謝意を表したい。

1880(明治 13)年「石川県鳳至・珠洲二郡教育協議会日誌」

2015 年 3 月発行

編集・発行 金沢大学人間社会学域学校教育系・教授

大久保 英 哲

印刷 田中昭文堂印刷株式会社
